

# VI

## 諸 規 程

---

- 福岡大学学則
- 授業科目及び単位・時間数(学則第31条(表))  
以上 新入生(令和6年度入学生)適用
- 福岡大学学科履修規程
- 年次別授業科目表(学科履修規程 第4条 別表)
- 福岡大学成績考査規程
- その他諸規程
  - 福岡大学における既修得単位等の取扱いに関する規程
  - 福岡大学における単位互換等の取扱いに関する規程
  - 福岡大学転部・転科に関する規程
  - 福岡大学授業料その他諸納入金規程
  - 学費等納入金一覧表

# 福岡大学学則〔新入生(令和6年度入学生)適用〕

## 第1章 総 則

### 第1節 目 的

第1条 本学は、学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条の規定に基づき、人文、法律、経済、商学、理学、工学、医学、薬学及びスポーツ科学に関する専門的研究及び教授を行い、学識深く教養高き人材を養成することを目的とする。

2 第2条第1項に定める各学部及び学科の人材の養成に関する目的及びその他教育研究上の目的は、次のとおりとする。

(1) **人文学部**は、広範な一般教養を身に付けると同時に、すべての学問の基礎となる人文学諸分野の専門知識を修得し、他者との関係への配慮や自由と責任に基づく倫理観を備えた人間を育むことを教育理念とする。この理念に基づき、社会人として人間の精神と社会のあり方を多様な価値観の中で総合的に捉え、高度技術社会において人間の原点に立って行動できる人材を養成すること、及び外国語学習を通して異文化を理解し、日本と世界を結ぶコミュニケーション能力を持った国際人を養成することを目的とする。

**文化学科**は、「文化の多角的、総合的理解」という学習・教育理念のもと、文化に広い関心を持つ人材を受け入れる。1年次の必修科目を通じて基本的な知識と研究方法とを修得させ、2年次以降は一つの専門領域に偏ることのない学際的なカリキュラムを通じて文化の多角的、総合的理解を身に付けた人材を育成する。文化学科は、多様な価値観が共存し、複雑化してゆく時代にあって、固定観念にとらわれない、広い視野と柔軟な発想力とを持つ有為な人材を社会に送り出すことを目的とする。

**歴史学科**は、古代以来国際交流の窓口であったという、本学が位置する地域の特性を生かして、九州から日本史、世界史を見直す地域に根ざす視点と、九州を東アジア史、世界史の中に位置づける国際的な視点を併せ持つ教育と研究の推進を理念とする。少人数教育を徹底して行い、導入教育において大学生としての基本的能力を涵養するとともに、専門教育では、日本史、東洋史、西洋史、考古学の各分野において高い専門性を身に付けた人材の育成を目指す。また、専門分野の枠を超えた横断的な科目履修を通じて歴史を総合的に理解する能力を涵養し、もって、専門的な知識・教養と複眼的な思考力を兼ね備えた人材の養成を目的とする。

**日本語日本文学科**は、日本の文化や社会の根幹をなす日本語と、その結実たる日本文学を広く深く学び、それらを国際的視点に立って捉え直すことにより、豊かな教養と深い洞察力を備え、日本語の高度なコミュニケーション能力を身に付けた広い視野を持つ人間を育むことを教育理念とする。この理念に基づき、日本語日本文学への深い理解を基盤として国際化社会で活躍し得る人材、及び専門的知識によって地域社会に貢献し得る人材の養成を目的とする。

**教育・臨床心理学科**は、教育と臨床心理の二つの分野の統合による人への支援や援助、人間形成とそのケアに貢献し得る総合的、実践的な力量を備えた人間を育むことを理念とする。この理念に基づき、具体的には、メンタルヘルスやストレスマネジメント、自己啓発や生涯学習、キャリア発達等の諸課題に対して、教育学と臨床心理学の知識や技法を用いてアプローチし得る能力を実社会の多様な場面で発揮できる人材を養成することを目的とする。

**英語学科**は、国際化や異文化との共生がますます進む状況下にあって、異文化を理解し、これに順応するとともに、国際社会、地域社会における諸問題を解決するために他者と協力しながら貢献できる人材を育むことを教育理念とする。この理念に基づき、英語については、4技能（話す・聞く・書く・読む）をバランス良く身に付けるとともに、英語以外の言語とその文化に関する知識を修得している人材、及び学術的専門分野については、深い知識を持つとともに、情報の収集・分析・考察をし、その結果を発信する力を有する人材の養成を目的とする。

**ドイツ語学科**は、多角的なカリキュラムにおいて、ドイツ語によるコミュニケーション能力を培うとともに、ドイツをはじめとするドイツ語圏の国々の文化と社会、その思考方法と価値観を様々な側

面から理解するための充実した教育を実施することを目指す。すなわち、複眼的思考力を身に付けることにより、国際社会において文化の枠組みを越えて他者との関係を構築し、多様な価値観を顧慮しながら人間の原点に立って行動できる人材、及び深い学識を有し、異文化間の相互理解に貢献できる国際人を育成することを目的とする。

**フランス語学科**は、多角的なカリキュラムにおいて、フランス語によるコミュニケーション能力を培うとともに、フランスをはじめとするフランス語圏の国々の文化と社会、その思考方法と価値観を様々な側面から理解することを教育研究の目的とする。すなわち、複眼的思考力を身に付けることにより、国際社会において文化の枠組みを越えて他者との関係を構築し、多様な価値観を顧慮しながら人間の原点に立って行動できる人材、及び異文化間の相互理解に貢献できる広い教養と深い学識をそなえた国際人を養成することを目的とする。

**東アジア地域言語学科**は、確実な言語運用能力の習得を基礎とし、東アジアの社会や伝統、文化、地域事情を深く洞察することで、日本を含めた東アジアを足場とした広い視野と洞察力を併せ持つ人間を育むことを教育理念とする。この理念に基づき、東アジアで有用な各種の語学力とそれを用いた地域事情の知識を通して問題の発見と解決ができる人材、地域のバランス感覚に富んだ人材、他者を尊重し様々な問題にも柔軟に対応できる人材、そして卒業後その更新が可能な人材の養成を目的とする。

- (2) **法学部**は、法学（政治学を含む。）の学修及び研究を通じて、現代社会の諸問題に積極的に取り組み、地域社会、企業活動、公共分野及び国際社会に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、広範な一般教養を身に付け、法学の専門的知識及び法的思考力を有する人材を養成することを目的とする。

**法律学科**は、憲法・民法・政治学などの科目の基礎的知識の習得を前提とした上で、将来の目標に向けて必要な専門科目を効果的に履修することを可能にするため、法律総合コース、公共法務コース又は総合政策コースのいずれか一つを選択できるようにし、これらのコースの授業、演習等による教育研究を通じて、法的思考力及び政策的思考力を身に付け、法曹その他の法律専門職並びに公共分野、企業及び地域社会において指導的役割を担う人材を養成することを目的とする。

**経営法学科**は、民法などの私法系科目の基礎的知識の習得を前提とした上で、将来の目標に向けて必要な専門科目を効果的に履修することを可能にするため、企業法コース又は国際コースのいずれかを選択できるようにし、これらのコースの授業、演習等による教育研究を通じて、法的思考力並びに企業法制に関する専門的知識及び国際的視野を身に付け、企業、地域社会及び国際社会において指導的役割を担う人材を養成することを目的とする。

- (3) **経済学部**は、経済学的知の伝承と創造により、社会の調和ある発展と人類の福祉の向上に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、経済学における論理的思考力と実証的分析能力及び歴史的理解力を向上させ、経済学的知性と豊かな人間性、国際的な視野、旺盛な行動力によって社会の進歩と繁栄に貢献できる人材を養成することを目的とする。

**経済学科**は、伝統的な経済学の知識と経済学的思考方法の教育により、経済全般に対する理解力を有するゼネラリストを育成することを教育理念とする。この理念に基づき、今日の経済情勢と経済学の理論と応用、経済の歴史的発展に関する学習を通して、現代社会とその背後にあるメカニズムとダイナミクスに対する理解力と洞察力を養い、近世代を担う総合力ある経済人を養成することを目的とする。

**産業経済学科**は、学際的実学教育により、現実社会における問題の発見と原因究明を行い、その解決策を立案し実行できるスペシャリストを育成することを教育理念とする。この理念に基づき、経済学とその関連諸学の学習を通して論理的思考力と実証的分析力を高め、さらにフィールドスタディによって地域社会や企業経営に対する洞察力を養い、実践的な問題解決力を有する人材を養成することを目的とする。

- (4) **商学部**は、大きく変化する社会的・経済的環境のもとで、商学研究を深化させ、研究成果を社会に還元することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、商学の知識及び理論を身に付け、これらを活用して問題の発見・解決に当たる能力を持ち、他者と協働して企業、地域等の発展を担う人材を

養成することを目的とする。

**商学科**は、商学、特に流通・マーケティング、情報・サービス、交通、金融・保険、商業史の広範な分野の理論を学ぶことを通して、時代の変化を多面的な視点から考察し、実務に対応できる基礎力を身に付けることで、地域や社会の発展に貢献できる人材を養成することを目的とする。

**経営学科**は、企業をはじめとする各種組織のマネジメントリーダー又は職業会計人として強い責任感を有し、問題発見及び問題解決の能力を持ち、協働して社会や組織の発展に貢献できる人材を養成することを目的とする。

**貿易学科**は、世界情勢の変化に適応し、これを先取りできるビジネスマインドを持った国際教養人の養成を目指す。すなわち、様々な個人、団体、組織による国際的な活動の内容及びこれらのグローバルな関係を理解する能力を有するとともに、世界で活躍できる人材又は地域と世界をつなぐ能力を持った人材を養成することを目的とする。

(5) **商学部第二部商学科**は、勤労学生、社会人学生、シニア層等の多様な学生を教育の対象とすることから、商学部の教育研究の理念に加えて、リカレント教育や生涯教育の場を提供することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、商学の広範な内容について学ぶことを通して、地域社会を動かすリーダーシップを備えた人材を養成することを目的とする。

(6) **理学部**は、自然科学と数理科学に関する分野の探究を通して社会の健全な発展に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、既知の事実と理論を学びながら、自然現象や数理を幅広い視野から理解し、論理力、分析力、創造力を修得し、総合的な視野から知識の活用ができ、豊かな人間性、社会性及び国際性を兼ね備えた活力ある人材を養成することを目的とする。

**応用数学科応用数学コース及び応用数学科社会数理・情報インスティテュートコース**は、数学や情報数理の理論と応用を学ぶことを通して、論理的な分析力、思考力を養うことを教育の理念とする。この理念に基づき、探求心、向上心を持ち、柔軟な発想力、豊かな創造力のもと、数学を通して社会における諸問題を解決する力を備え、社会の健全な発展に寄与する人材を養成することを目的とする。

**物理科学科**は、物理学とそれに関連する分野の探究を通して社会の健全な発展に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、力学・電磁気学・波動・熱力学・量子力学などに代表される物理学と、それに関連する幅広い応用分野の既知の事実と理論を学びながら、物理現象を幅広い視野から理解し、論理力、分析力、創造力及び未知の現象を解明する力を修得し、総合的な視野から知識の活用ができ、豊かな人間性、社会性及び国際性を兼ね備えた活力ある人材を養成することを目的とする。

**化学科**は、化学の探求を通して社会の健全な発展に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、新たな機能性物質の開発を目指す物質化学の分野及び分子レベルでの生命現象の解明を目指す生命化学の分野において、化学的現象の摂理や物質の機能性発現の原理を種々の観点から理解し、化学の知識と技術を実社会で活用し、21世紀に国内外で活躍できる人材を養成することを目的とする。

**地球圏科学科**は、幅広い視野と知識から地球とそこに生息する生物に関する多様な現象・問題に対処できる能力を養い、健全な未来社会の発展に貢献することを教育研究の理念とする。その実現のために、自然科学の基礎となる数学、物理、化学、生物学及び地学を幅広く学び、さらに固体地球、大気、生物のいずれかを専門的に学ぶことにより、自然現象を幅広い視野から理解し、論理力、分析力、創造力及び未知の現象を解明する力を発揮し、国内外で活躍できる人材を養成することを目的とする。

(7) **工学部**は、良心に基づいた社会的責任感を有し、時代に即応した判断力と科学技術をもって社会の持続的発展に貢献する人材を養成することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、工学・技術に求められる豊かな創造性と実務に即した応用力を育成するために、十分な基礎学力に加えて深い専門の科学技術と、幅広い教養を修得させて調和のとれた人格の発達を促すことを目的とする。

**機械工学科**は、幅広い教養と高度な専門知識を備え、ものづくり（機械の創造）を通して、指導的立場から、実践的な応用力と豊かな創造性を発揮して、人類の幸福と社会の福祉に貢献できる技術者を養成することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、確実な観察力を備え、幅広い知識により問題を的確に分析し、解決に向かって果敢に行動できる技術者を育てることを人材育成の目的とする。

る。

**電気工学科**は、日々進歩する技術レベルに対応できる創造性及び課題の探求能力に優れ、かつ、コミュニケーション能力を有する人材の育成を教育研究の理念とする。この理念を達成するため、科学及び工学全般にわたる問題の理解力、判断力、解決力を養うことにより、情報・制御・環境などの分野を含めた広範囲にわたる基礎知識を修得し、社会的責務を果たすことのできる技術者を育てることを教育の目的とする。

**電子情報工学科**は、時代の要求に応じた新しい電子情報システムを構築することのできる技術者を養成することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、社会の変化を正しく理解するための教養と判断力、理性を備えた技術者を養成することを目的とする。専門分野においては、電子工学と情報工学の基礎を理解し、それらを応用して電子・情報工学の技術開発に寄与できる技術者を養成することを目的とする。

**化学システム工学科**は、化学技術者としての幅広い教養と健全な倫理観を身に付けるとともに、化学工学分野の知識を修得し、持続可能な社会の発展に貢献する人材を養成することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、基礎及び専門知識を修得し、それを問題解決に応用する能力、技術者として社会に対する責任を自覚する能力及び社会の進展に伴って自己変革する能力を有し、国内外での化学技術・環境技術に関連する広い分野で活躍できる柔軟な思考力と総合力を兼ね備えたエンジニアを養成することを目的とする。

**社会デザイン工学科**は、自然環境と調和した生活環境の創造に貢献する人材を養成することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、地球及び地域の環境問題を直視して自然と調和しながら地震や洪水などの災害に強い社会資本整備を行う建設技術者を養成する。さらに、強い責任感と倫理感を持って次世代に豊かな生活や文化を継承し続けられる社会デザインに取り組める人材を養成することを目的とする。

**建築学科**は、美しく、快適で、安全で、豊かな建築空間・都市空間を創造できる人材の育成を教育研究の理念とする。この理念に基づき、建築分野に要求される社会的・技術的ニーズに適切に応えられる建築技術者としての十分な基礎学力を身に付け、高度で実践的な専門性を獲得すると同時に、調和のとれた教養を有する人格を有し、社会において指導力を発揮して、幅広く活躍・貢献できる人材を養成することを目的とする。

- (8) **医学部**は、生命の尊厳に基づいた全人教育を基盤として、社会のニーズや医療・福祉・地域に貢献できる人間性豊かな医療専門職者（医師・看護師・保健師・養護教諭・医学及び医療研究者）を養成することを目的とする。

**医学科**は、生命の尊厳に基づいた全人教育を基盤として、人間性豊かな臨床医の育成、地域社会への医療奉仕、重点的総合研究体系の確立を教育研究の理念とする。この理念に沿って、豊かな人間性と指導力・協調性を備え、総合的臨床能力を発揮して広く社会の医療と福祉に貢献できる医師及び高度な知識と国際的・学際的視野を持ち医学の発展に貢献できる医学研究者を養成することを目的とする。

**看護学科**は、生命の尊厳に基づいた心豊かで総合的な人間教育を基盤として、創造的で国際的・学際的視野に立った論理的・倫理的な看護実践能力を育成し、看護学の発展及び地域・国際社会に貢献できる高い能力を有する看護専門職者を養成することを目的とする。

- (9) **薬学部薬学科**は、医薬品の開発や安全使用に関する基礎的、臨床的先端研究の推進をもって国民の健康と福祉に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、医療技術の高度化、医薬分業の進展に伴う医薬品の安全使用及び医療の担い手としての質の高い薬剤師の育成という社会的要請に応えるため、基礎科学の総合を基盤としながら、医療人としての使命感と倫理観を十分に理解し、高度な薬学の知識を身に付け、臨床に係る高い実践的な能力を備えた薬剤師、並びに教育・研究者を養成することを目的とする。

- (10) **スポーツ科学部**は、スポーツ・運動に関する人文科学、社会科学、自然科学及び各分野を融合した総合科学的研究を深め、それによって得られた知識を実践に生かすことを教育研究の理念とする。この理念に基づき、スポーツ界、教育界、産業界、官界、地域社会、医療分野等において、貢献し得る

優秀な人材を養成することを目的とする。

**スポーツ科学科**は、スポーツ競技力や運動能力の向上を目指したスポーツ医科学分野の知識を有し、スポーツ界、教育界、産業界、官界等において、スポーツ医科学の知識に基づいた適切なスポーツの実践と論理的指導ができる人材を中心に、科学的トレーニング法のみならず、施設や用具等の開発、スポーツイベント等の企画・運営を含めたスポーツマネジメント等ができる人材も養成することを目的とする。

**健康運動科学科**は、健康運動やレクリエーション活動による心身の健康の回復、保持、増進を目指した医科学分野の知識を有し、地域社会、教育界、産業界、医療分野等において、創造的・実践的な指導を行うことができる人材を中心に、企業や地域及び医療とも連携した健康づくりマネジメント等ができる人材も養成することを目的とする。

第1条の2 本学の教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行うものとする。

2 自己点検・評価に関する規程は、別に定める。

第1条の3 本学は、組織的かつ継続的な教育内容、教育方法等の改善を実施するものとする。

## 第2節 組 織 等

第2条 本学に人文学部、法学部、経済学部、商学部、商学部第二部、理学部、工学部、医学部、薬学部及びスポーツ科学部を置く。

2 人文学部に文化学科、歴史学科、日本語日本文学科、教育・臨床心理学科、英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科及び東アジア地域言語学科、法学部に法律学科及び経営法学科、経済学部には経済学科及び産業経済学科、商学部に商学科、経営学科及び貿易学科、商学部第二部に商学科、理学部に応用数学科、物理科学科、化学科及び地球圏科学科、工学部に機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、化学システム工学科、社会デザイン工学科及び建築学科、医学部に医学科及び看護学科、薬学部には薬学科、スポーツ科学部にスポーツ科学科及び健康運動科学科を置く。

第3条 本学に大学院を置く。

2 大学院学則は、別にこれを定める。

第4条 本学に次の附属学校を置く。

- (1) 福岡大学附属大濠高等学校
- (2) 福岡大学附属若葉高等学校
- (3) 福岡大学附属大濠中学校

2 附属学校に関する規程は、別にこれを定める。

第5条 本学に学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他の職員を置く。

2 職員の職務は、学校教育法その他法令の定めあるもののほか、別に定めるところによる。

第6条 本学の各学部には教授会を置く。

2 教授会の構成員、審議事項その他教授会に関し必要な事項は、別に定める。

第7条 本学に本学の運営及び教学に関する重要事項を審議するため、大学協議会を置く。

2 大学協議会の構成員、審議事項その他大学協議会に関し必要な事項は、別に定める。

第8条 本学に図書館を置く。

2 図書館に関する規程は、別にこれを定める。

第9条 本学に研究推進部を置く。

2 研究推進部に関する規程は、別にこれを定める。

第10条 本学の医学部に附属病院を置く。

2 附属病院に関する規程は、別にこれを定める。

第11条 本学に留学生別科を置く。

2 留学生別科に関する規程は、別にこれを定める。

第11条の2 学長は、本学の教育研究に関する重要な事項について、教授会等の審議を経て、最終的な決定を行う。

## 第2章 履 修

### 第1節 修業年限、学年、学期及び休業日

第12条 修業年限は、4年とする。ただし、医学部医学科及び薬学部については、6年とする。

2 学生は、8年を超えて在学することができない。ただし、医学部医学科及び薬学部については、12年を超えて在学することができない。

3 前項の規定のほか、医学部医学科及び薬学部にあつては、同一学年に在学できる年数は2年を限度とする。ただし、医学部医学科にあつて、同一学年に2年在学した後に退学し又は除籍された者が、退学し又は除籍された学年への再入学を許可された場合には、再入学を許可された学年に限り、さらに1年を限度として在学することができる。

第12条の2 第49条に基づく科目等履修生が本学における授業科目の単位を修得し、その後に本学に入学した場合、教授会は、第34条の4の規定により本学における授業科目の単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認めるときに、その単位数等に応じて、相当期間を修業年限の2分の1を超えない範囲で修業年限に通算することができる。

2 前項の規定は、第49条に基づく科目等履修生が本学において第33条第2項の規定により授業時間の履修をもって単位の修得に代える授業科目を修了した場合に、これを準用する。

3 前2項の規定は、再入学の場合に、これを準用する。

第13条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第14条 学年を2期に分け、学年の始めから9月13日までを前期とし、9月14日から学年の終わりまでを後期とする。

第15条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 春季休業 4月1日から4月7日まで

(4) 夏季休業 8月4日から9月13日まで

(5) 冬季休業 12月27日から翌年1月4日まで

2 学長は、教授会の議を経て前項に定める休業日を変更することができる。

3 第1項に定めるほか、学長は特に必要があると認めるときは、臨時の休業日を定めることができる。

4 第1項に定める休業日であっても、教授会が教育上必要と認める場合には、学長は、教務委員会の議を経て、授業を行うことを決定することができる。

### 第2節 定員、入学、転入学、編入学、転部・転科、留学、休学、退学、除籍、復学及び再入学

第16条 入学を許可する時期は、学年の始めとする。

第17条 本学の学部及び学科の入学定員及び収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

学 部	学 科	入学定員 (人)	収容定員 (人)
人 文 学 部	文 化 学 科	100	400
	歴 史 学 科	70	280
	日 本 語 日 本 文 学 科	70	280
	教 育 ・ 臨 床 心 理 学 科	110	440
	英 語 学 科	90	360
	ド イ ツ 語 学 科	50	200
	フ ラ ン ス 語 学 科	50	200
	東 ア ジ ア 地 域 言 語 学 科	65	260
	計	605	2,420
法 学 部	法 律 学 科	430	1,720
	経 営 法 学 科	200	800
	計	630	2,520
経 済 学 部	経 済 学 科	460	1,840
	産 業 経 済 学 科	200	800
	計	660	2,640
商 学 部	商 学 科	245	980
	経 営 学 科	240	960
	貿 易 学 科	180	720
	計	665	2,660
商学部第二部	商 学 科	165	660
理 学 部	応 用 数 学 科	65	260
	物 理 科 学 科	60	240
	化 学 科	65	260
	地 球 圏 科 学 科	60	240
	計	250	1,000
工 学 部	機 械 工 学 科	110	440
	電 気 工 学 科	110	440
	電 子 情 報 工 学 科	150	600
	化 学 シ ス テ ム 工 学 科	110	440
	社 会 デ ザ イン 工 学 科	110	440
	建 築 学 科	110	440
	計	700	2,800
医 学 部	医 学 科	110	660
	看 護 学 科	110	440
	計	220	1,100
薬 学 部	薬 学 科	230	1,380
スポーツ科学部	ス ポ ー ツ 科 学 科	225	900
	健 康 運 動 科 学 科	70	280
	計	295	1,180
合 計		4,420	18,360

第18条 本学に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者



2 入学願書提出の年の3月末日までに前項の資格を得る見込みの者は、当該学校長の提出する調査書又はその資格を証明する書類を添えて出願することができる。

第19条 入学を志願する者は、本学所定の入学願書及び入学試験に必要な提出書類に別表Iの(1)に定める入学検定料を添えて所定の期日までに学長に提出しなければならない。

2 既に納入した入学検定料は、これを返還しない。

第20条 入学志願者については、選考の上、合格者を決定する。

第21条 合格の通知を受けた者は、本学の承認する保証人連署の入学誓書及び所定の書類に授業料等納入金（新生にあつては入学金及び第1期分の納入金）を添えて、所定の期日までに学長に提出しなければならない。ただし、本学の留学生別科を修了し入学する者の入学金については、留学生別科入学時の入学金相当額を免除する。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

3 正当な理由なくして第1項の手続を怠る者は、入学を許可しない。

4 入学手続完了後において、やむを得ず入学を辞退する場合、別に定める期日までに入学辞退届を学長に提出し受理された者に限り、入学金以外の授業料等納入金を返還することができる。

第22条 本学に転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、学長は、転入学を許可することがある。

2 本学に転入学することができる者は、他の大学に2年以上在学し、本学の定める単位数を修得している者とする。

3 転入学の時期は、学年始又は学期始とし、本人の既修の授業科目及び単位・時間数並びに在学年数については、その一部又は全部を本学において認定し、今後履修すべき授業科目及び単位・時間数並びに在学年数を決定する。

第23条 本学に編入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、学長は、編入学を許可することがある。

2 本学に編入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 学士の学位を有する者

(2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者

(3) 専修学校の専門課程（文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者

3 編入学の時期並びに履修すべき授業科目、単位・時間数及び在学年限については、前条の規定に準ずる。

第23条の2 学生が他の学部転部を志願するときは、欠員のある場合に限り、選考の上、学長は、転部を許可することがある。

2 学生が当該学部の他学科に転科を志願するときは、欠員のある場合に限り、選考の上、学長は、転科を許可することがある。

3 転部・転科に関する規程は、別に定める。

第24条 学生が他の大学に転学又は受験しようとするときは、学長に届け出るものとする。

第24条の2 学生が外国の大学又は短期大学に留学しようとするときは、学長は教授会の議を経てこれを許可することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、本学の修業年限に算入することができる。

3 留学に関し必要な事項については、別に定める。

第25条 学生が病気その他のやむを得ない理由で長期にわたり欠席しようとするときは、保証人連署をもって、所定の期日までに学長に届け出て、休学することができる。ただし、入学年度の前期については、原則として休学することができない。

2 休学の1期間は、当該年度内の前期、後期又は1年間とする。ただし、医学部医学科及び薬学部は、原則として当該年度1年間とする。

3 休学の開始の時期は、前期又は後期の始めとする。

4 休学は、通算して4年を超えることができない。

5 休学期間は、在学期間に算入しない。

第26条 学生が結核性その他感染性の疾患により療養の必要ありと認められるときは、学長は、教授会の議を経て、これに休学を命ずることがある。

第27条 休学している者は、休学期間満了までに復学、休学又は退学のいずれかの所定の手続をしなければならない。

第27条の2 休学している者が復学をしようとするときは、保証人連署をもって、所定の期日までに学長に届け出て、復学することができる。

2 復学の時期は、学期の始めとする。

第28条 学生が退学しようとするときは、その理由を具し、保証人連署をもって、学長に届け出るものとする。ただし、疾病による場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

第29条 学長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して除籍を行う。

- (1) 第42条の定めるところにより、授業料等納入金を納入しない者
- (2) 成績不振等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなく、出席が常でない者
- (4) 死亡した者
- (5) 休学期間満了時に、正当な理由がなく復学、休学又は退学のいずれの手続も行わない者

第30条 退学した者が再入学を願い出たときは、学長は、教授会の議を経て、これを許可することができる。

2 再入学を願い出た者には、必要に応じて学力検査、面接を行う。

3 前2項の規定は、除籍された者が再入学を願い出た場合に、これを準用する。

4 前3項に基づく再入学の取扱いについては、別にこれを定める。

### 第3節 教育課程

第31条 学部・学科の授業科目及び単位・時間数は、次の表に掲げるとおりとする。

(※印は必修科目、△印及び▲印は選択必修科目とする。)

学部・学科授業科目等については p. 147～152に掲載

2 前項に掲げる授業科目のほかに学部留学生の授業科目として日本語（8単位）を置く。

3 第1項のほかに自由履修単位として換算できる授業科目は、次のうちから学部が指定するものとする。

- (1) 共通教育科目又は専門教育科目のうち、卒業に必要な単位数を超えて修得した科目
- (2) 関連教育科目
- (3) その他、教授会が適当と認める科目

4 第1項及び第2項に掲げる授業科目のほかに随意科目を設けることができる。随意科目については別に定め、卒業に必要な単位数に算入しない。

5 第1項、第2項及び第4項に掲げる授業科目のほかに、人文学部、工学部及びスポーツ科学部にあっては大学院授業科目を、法学部にあっては法科大学院授業科目を設けることができる。大学院及び法科大学院授業科目については別に定め、卒業に必要な単位数に算入しない。

第32条 各授業科目の単位数は、授業の方法に応じ、次の各基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業演習、卒業計画等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定める。

第32条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより、又はこれらの併用により

行うものとする。

- 2 各学部が教育上有益と認めるときは、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

第33条 学生は、福岡大学学科履修規程（以下「学科履修規程」という。）第4条の定めるところにより授業科目を履修し、次条に定める単位数を修得しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、医学部医学科において修得すべき専門教育科目の単位の修得については、これに相当する授業時間の履修をもって代えることができる。
- 3 前2項の規定により修得すべき単位数のうち、前条第2項の授業の方法により修得する単位数は、60単位（教授会において、前項の規定により授業時間の履修をもって単位の修得に代える授業科目の授業時間数に相当すると認められた単位数を含む。）を超えないものとする。

第34条 **人文学部各学科**の学生が修得しなければならない単位数は、次のとおりとする。

- (1) **文化学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び自然科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、また、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計24単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語8単位以上、計16単位以上、保健体育科目として4単位、単位互換科目を含め合計44単位以上、専門教育科目については、必修科目20単位、選択必修科目及び選択科目から計52単位以上（選択必修科目8単位以上及び選択科目36単位以上を含む。）、合計72単位以上、自由履修単位については12単位以上、総計128単位以上修得しなければならない。
- (2) **歴史学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び自然科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、また、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計20単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語8単位以上、計16単位以上、保健体育科目として4単位、単位互換科目を含め合計40単位以上、専門教育科目については、必修科目16単位、選択必修科目40単位以上、選択科目20単位以上、計76単位以上、自由履修単位については12単位以上、総計128単位以上修得しなければならない。
- (3) **日本語日本文学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び自然科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、また、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計20単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語8単位以上、計16単位以上、保健体育科目として4単位、単位互換科目を含め合計40単位以上、専門教育科目については、必修科目24単位、選択必修科目24単位以上、選択科目28単位以上、計76単位以上、自由履修単位については12単位以上、総計128単位以上修得しなければならない。
- (4) **教育・臨床心理学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び自然科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、また、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計20単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語8単位以上、計16単位以上、保健体育科目として4単位、単位互換科目を含め合計40単位以上、専門教育科目については、必修科目24単位、選択必修科目12単位以上、選択科目30単位以上、計66単位以上、自由履修単位については22単位以上、総計128単位以上修得しなければならない。
- (5) **英語学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び自然科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、また、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計20単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語8単位以上、計16単位以上、保健体育科目として4単位、単位互換科目を含め合計40単位以上、専門教育科目については、必修科目40単位、選択必修科目8単位以上、選択科目28単位以上、計76単位以上、自由履修単位については12単位以上、総計128単位以上修得しなければならない。
- (6) **ドイツ語学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び自然科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、また、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計20単位以上、外国語科目として第1外国語8単位、第2外国語8単位以上、計16単位以上、保健体育科目として4単位、単位互換科目を含め合計40単位以上、専門教育科目については、ドイツ語圏コースの学生は必修科目24単位、選択必修科目24単位以上、選択科目16単位以上、計64単位以上、ヨーロッパ特別コースの学生は必修科目32単位、選択必修科目22単位以上、選択科目14単位以上、計68単位以上、自由履

修単位については、ドイツ語圏コースの学生は20単位以上、ヨーロッパ特別コースの学生は16単位以上、総計124単位以上修得しなければならない。

- (7) **フランス語学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び自然科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、また、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計20単位以上、外国語科目として第1外国語8単位、第2外国語8単位以上、計16単位以上、保健体育科目として4単位、単位互換科目を含め合計40単位以上、専門教育科目については、フランス語圏コースの学生は必修科目24単位、選択必修科目24単位以上、選択科目16単位以上、計64単位以上、ヨーロッパ特別コースの学生は必修科目32単位、選択必修科目22単位以上、選択科目14単位以上、計68単位以上、自由履修単位については、フランス語圏コースの学生は20単位以上、ヨーロッパ特別コースの学生は16単位以上、総計124単位以上修得しなければならない。
- (8) **東アジア地域言語学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び自然科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、また、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計20単位以上、外国語科目として16単位以上、保健体育科目として4単位、単位互換科目を含め合計40単位以上、専門教育科目については、必修科目6単位、選択必修科目34単位、選択科目20単位以上、計60単位以上、自由履修単位については28単位以上、総計128単位以上修得しなければならない。
- 2 **法学部**の学生は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び自然科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語4単位以上（なお、第2外国語4単位以上を修得しない者は総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目から4単位以上）、保健体育科目として4単位、専門教育科目については、学科別の規定に従い72単位以上、自由履修単位については24単位以上、総計124単位以上を修得しなければならない。
- 3 **経済学部各学科**の学生が修得しなければならない単位数は、次のとおりとする。
  - (1) **経済学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学及び社会科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、自然科学分野から6単位以上、また、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計20単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、保健体育科目として4単位、専門教育科目については計76単位以上、自由履修単位については計20単位以上、総計128単位以上を修得しなければならない。
  - (2) **産業経済学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学及び社会科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、自然科学分野から6単位以上、また、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計20単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、保健体育科目として4単位、専門教育科目については計66単位以上、自由履修単位については計30単位以上、総計128単位以上を修得しなければならない。
- 4 **商学部**の学生は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び自然科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、また、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計20単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語4単位以上（なお、第2外国語4単位以上を修得しない者は総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目から4単位以上）、保健体育科目として4単位、専門教育科目については、学科別の規定に従い72単位以上、自由履修単位については20単位以上、総計128単位以上を修得しなければならない。
- 5 **商学部第二部**の学生は、共通教育科目については、総合教養科目として20単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語4単位以上（なお、第2外国語4単位以上を修得しない者は総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目から4単位以上）、保健体育科目として3単位以上、専門教育科目については、商学部第二部の規定に従い60単位以上、自由履修単位については29単位以上、総計124単位以上を修得しなければならない。
- 6 **理学部各学科**の学生が修得しなければならない単位数は、次のとおりとする。
  - (1) **応用数学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び自然科学の各分野にわたってそれぞれ6単位以上、また、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計20単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目として2単位以上、単位互換科目を含め合計34単位以上、専門教育科目については、学科履修規程に従い

応用数学コースの学生は必修科目31単位、選択必修科目31単位以上、合計82単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は必修科目33単位、選択必修科目28単位以上、合計82単位以上、自由履修単位については両コースとも12単位以上、総計128単位以上を修得しなければならない。

- (2) **物理科学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学及び社会科学の各分野にわたってそれぞれ6単位以上、自然科学分野から4単位以上、また、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計20単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目として2単位以上、単位互換科目を含め合計34単位以上、専門教育科目については、学科履修規程に従い必修科目34単位、必修実験科目10単位、選択必修科目20単位以上、選択科目22単位以上、合計86単位以上、自由履修単位については、8単位以上、総計128単位以上を修得しなければならない。
- (3) **化学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び自然科学の各分野にわたってそれぞれ6単位以上、また、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計20単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目として2単位以上、単位互換科目を含め合計34単位以上、専門教育科目については、学科履修規程に従い必修科目30単位、選択必修科目24単位以上、選択必修実験・実習科目18単位以上、選択科目12単位以上、合計84単位以上、自由履修単位については、10単位以上、総計128単位以上を修得しなければならない。
- (4) **地球圏科学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学及び社会科学の各分野にわたってそれぞれ6単位以上、自然科学分野から4単位以上、また、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計20単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目として2単位以上、単位互換科目を含め合計34単位以上、専門教育科目については、学科履修規程に従い必修科目16単位、選択必修科目(A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目)8単位以上、選択科目60単位以上、合計84単位以上、自由履修単位については10単位以上、総計128単位以上を修得しなければならない。

7 **工学部各学科**の学生が修得しなければならない単位数は、次のとおりとする。ただし、共通教育科目の単位互換科目については、その修得単位を卒業及び学科履修規程第6条の6に規定する必要な修得単位数に算入しない。

- (1) **機械工学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学及び社会科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、また、自然科学、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計12単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目として2単位、合計26単位以上、工学共通科目については、計24単位以上（必修科目18単位、選択科目6単位以上）、専門教育科目については、計80単位以上（必修科目39単位、選択科目41単位以上）、総計130単位以上を修得しなければならない。
- (2) **電気工学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学及び社会科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、また、自然科学、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計12単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目として2単位、合計26単位以上、工学共通科目については、計20単位以上（必修科目14単位、選択科目6単位以上）、専門教育科目については、計84単位以上（必修科目60単位、選択科目24単位以上）、総計130単位以上を修得しなければならない。
- (3) **電子情報工学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学及び社会科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、また、自然科学、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計12単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目として2単位、合計26単位以上、工学共通科目については、計18単位以上（必修科目14単位、選択科目4単位以上）、専門教育科目については、計86単位以上（必修科目及びコース別必修科目として電子通信コース36単位、情報コース34単位、情報システムコース62単位、選択科目及びコース別選択科目として電子通信コース50単位以上、情報コース52単位以上、情報システムコース24単位以上）、総計130単位以上を修得しなければならない。

- (4) **化学システム工学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学及び社会科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、また、自然科学、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計12単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目として2単位、合計26単位以上、工学共通科目については、計20単位以上（必修科目14単位、選択科目6単位以上）、専門教育科目については、計84単位以上（必修科目及びコース別必修科目として化学工学コース75単位、分子工学コース75単位、選択科目及びコース別選択科目として化学工学コース9単位以上、分子工学コース9単位以上）、総計130単位以上を修得しなければならない。
- (5) **社会デザイン工学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学及び社会科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、また、自然科学、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計12単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目として2単位、合計26単位以上、工学共通科目については、計18単位以上（必修科目16単位、選択科目2単位以上）、専門教育科目については、計86単位以上（必修科目73単位、選択科目13単位以上）、総計130単位以上を修得しなければならない。
- (6) **建築学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学及び社会科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、また、自然科学、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計12単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目として2単位、合計26単位以上、工学共通科目については、計18単位以上（必修科目4単位、選択科目14単位以上）、専門教育科目については、計86単位以上（必修科目63単位、選択科目23単位以上）、総計130単位以上を修得しなければならない。
- 8 **医学部医学科**の学生は、次に掲げる要件を満たしていなければ進級し、卒業することができない。
- (1) 各学年においては、当該学年の専門教育科目の全授業科目の単位又は時間数を修得していること。
- (2) 第4学年及び第6学年においては、前号の要件に加え、全国共用試験において一定以上の成績を修めていること。
- 9 **医学部各学科**の学生が修得しなければならない単位数、時間数は次のとおりとする。ただし、単位互換科目については、その修得単位を卒業及び進級に必要な修得単位数に算入しない。
- (1) **医学科**は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目から6単位以上、自然科学から6単位以上、計12単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、保健体育科目として2単位、第2外国語を含め合計34単位以上、専門教育科目については18単位と4,261時間を修得しなければならない。
- (2) **看護学科**は、共通教育科目については、総合教養科目の人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、外国語科目より10単位以上、保健体育科目より2単位以上、計28単位以上、専門基礎科目については、必修科目27単位、専門教育科目については、必修科目68単位、選択必修科目2単位以上、計70単位以上、総計125単位以上を修得しなければならない。
- 10 **薬学部**の学生は、共通教育科目については、総合教養科目として計12単位以上、外国語科目として第1外国語8単位以上、保健体育科目として2単位以上を含め合計28単位以上、専門教育科目については、学科履修規程に従い、必修科目72単位、選択必修科目の1年次科目から計15単位以上、2年次科目から計27単位以上、3年次科目から計25単位以上、4年次科目から計14単位以上を含め計81単位以上、選択科目の6年次科目から5単位以上、合計158単位以上、総計186単位以上を修得しなければならない。
- 11 **スポーツ科学部**の学生は、共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び自然科学の各分野にわたってそれぞれ4単位以上、また、総合系列科目及び学修基盤科目を含め計20単位以上、外国語科目として8単位、保健体育科目として4単位、合計32単位以上、専門教育科目については、スポーツ科学部の規定に従い、合計82単位以上「スポーツ科学科（必修科目34単位、選択必修科目6単位以上、選択科目42単位以上）、健康運動科学科（必修科目39単位、選択必修科目2単位以上、選択科目41単位以上）」、自由履修単位については、10単位以上、総計124単位以上を修得しなければならない。ただし、単位互換科目については、その修得単位を卒業に必要な修得単位数に算入しない。

第34条の2 学部留学生が第31条第2項の規定により開設された授業科目の単位を修得したときは、別に

定めるところにより、これを卒業に必要な修得単位数に算入することができる。

第34条の3 学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、教育上有益と認めるときは、学長は、教授会の議を経て、第34条の3の3の規定に従って60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、第33条第2項の規定により授業時間の履修をもって単位の修得に代える授業科目について、60単位に相当する授業時間数を超えない範囲において、これを準用する。

3 第1項に基づいて本学における授業科目の履修により単位を修得したものとみなす授業科目が共通教育科目であるときは、教授会に先立って教務委員会の議を経るものとする。

4 前3項の規定は、第24条の2の規定により学生が外国の大学又は短期大学において履修した授業科目について、これを準用する。

第34条の3の2 学生が行う短期大学又は高等専門学校等の専攻科における学修その他別に定める学修を、教育上有益と認めるときは、学長は、教授会の議を経て、第34条の3の3の規定に従って60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修とみなし、単位を認定することができる。

2 前項の規定は、第33条第2項の規定により授業時間の履修をもって単位の修得に代える授業科目について、60単位に相当する授業時間数を超えない範囲において、これを準用する。

3 第1項に基づいて本学における授業科目の履修とみなし、単位を認定することができる授業科目が共通教育科目である場合については、前条第3項の規定を準用する。

4 前3項の規定は、本学との協定等により学生が外国の大学又は短期大学において行った学修について、これを準用する。

第34条の3の3 第34条の3第1項により修得したものとみなし、又は前条第1項により認定することのできる単位数は、合わせて60単位を限度とする。ただし、第33条第2項の規定により授業時間の履修をもって単位の修得に代える授業科目にあって、第34条の3第2項により修了したものとみなし、又は前条第2項により修了を認定することのできる授業時間数は、合わせて60単位に相当する授業時間数を限度とする。

第34条の4 学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(大学設置基準第31条又は短期大学設置基準第17条により科目等履修生として修得した単位を含む。)を、教育上有益と認めるときは、学長は、教授会の議を経て、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 学生が本学に入学する前に行った第34条の3の2第1項に規定する学修を、教育上有益と認めるときは、学長は、教授会の議を経て、本学における授業科目の履修とみなし、単位を認定することができる。

3 前2項の規定は、第33条第2項の規定により授業時間の履修をもって単位の修得に代える授業科目について、これを準用する。

4 第1項又は第2項により単位を修得したものとみなし、又は認定することのできる単位数は、本学において修得した単位以外のものについては、編入学及び転入学の場合を除き、合わせて30単位を限度とする。ただし、第33条第2項の規定により授業時間の履修をもって単位の修得に代える授業科目にあって、前項により修了したものとみなし、又は修了を認定することのできる授業時間数は、本学において履修した授業時間以外のものについては、編入学及び転入学の場合を除き、合わせて30単位に相当する授業時間数を限度とする。

5 第1項又は第2項により単位を修得したものとみなし、又は単位を認定することのできる授業科目が共通教育科目である場合については、第34条の3第3項の規定を準用する。

6 前各項の規定は、外国の大学又は短期大学を卒業又は退学した場合及び本学に再入学した場合に、これを準用する。

第34条の4の2 第34条の3第1項若しくは第34条の4第1項により単位を修得したものとみなし、又は第34条の3の2第1項若しくは第34条の4第2項により単位を認定することができる単位数は、合わせて60単位を限度とする。ただし、第33条第2項の規定により授業時間の履修をもって単位の修得に代える授業科目にあって、第34条の3第1項若しくは第34条の4第1項により修了したものとみなし、又は第34条の3の2第1項若しくは第34条の4第2項により修了を認定することのできる授業時間数は、合

わせて60単位に相当する授業時間数を限度とする。

2 前項の場合において、本学において修得した単位及び履修した授業時間については、これを算入しないものとする。

3 前2項の規定にかかわらず、編入学及び転入学の場合については、別にこれを定める。

第34条の4の3 第34条の3から前条までの規定に基づき修得したものとみなし、又は認定することのできる単位（医学部医学科の専門科目にあっては授業時間）について必要な事項は、別に定める。

第34条の5 教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第5条、別表第1及び別表第2に基づいて教育職員の免許状の授与を受けるための資格の取得を目的として、本学に教職課程を置く。

2 教育職員の免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な授業科目（以下「教職課程科目」という。）及び修得すべき単位等については、次の表に掲げる免許状の種類及び免許教科に応じ、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）の定めるところに従い、別にこれを定める。

教育職員免許法別表第1（第5条関係）

学部・学科の名称 (正規の課程)		免許状の種類及び免許教科	
		中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
人文学部	文化学科	社 会	地 理 歴 史 民
	歴史学科		
	日本語日本文学科	国 語	国 語
	教育・臨床心理学科	社 会	公 民
	英語学科	外国語（英語）	外国語（英語）
	ドイツ語学科	外国語（ドイツ語）	外国語（ドイツ語）
	フランス語学科	外国語（フランス語）	外国語（フランス語）
	東アジア地域言語学科	外国語（中国語） 外国語（朝鮮語）	外国語（中国語） 外国語（朝鮮語）
	法学部	社 会	地 理 歴 史 民
経営法学科			
経済学部	経済学科	社 会	地 理 歴 史 民
	産業経済学科		
商学部	商学科	社 会	地 理 歴 史 民
	経営学科		
	貿易学科		
商学部第二部	商学科	社 会	地 理 歴 史 民
理学部	応用数学科	数 学	数 情 報 学 報
	物理科学科	理 科	理 情 報 科 報
	化学科		理 科
	地球圏科学科		
工学部	機械工学科	社 会	工 業
	電気工学科		工 業 報
	電子情報工学科		工 業
	化学システム工学科		
	社会デザイン工学科		
	建築学科		
医学部	看護学科		看 護
スポーツ科学部	スポーツ科学科	保 健 体 育	保 健 体 育
	健康運動科学科		



教育職員免許法別表第2（第5条関係）

学部・学科の名称（正規の課程）		免許状の種類
医 学 部	看 護 学 科	養護教諭1種免許状

第34条の6 博物館法（昭和26年法律第285号）第5条第1項第1号に基づいて学芸員となる資格の取得を目的として、本学に博物館学芸員課程を置く。

2 学芸員となる資格の取得に必要な授業科目（以下「博物館学芸員課程科目」という。）及び修得すべき単位等については、博物館法及び博物館法施行規則（昭和30年文部省令第24号）の定めるところに従い、別にこれを定める。

第34条の7 社会教育法（昭和24年法律第207号）第9条の4第1項第3号に基づいて社会教育主事となる資格の取得を目的として、本学に社会教育主事課程を置く。

2 社会教育主事となる資格の取得に必要な授業科目（以下「社会教育主事課程科目」という。）及び修得すべき単位等については、社会教育法及び社会教育主事講習等規程（昭和26年文部省令第12号）の定めるところに従い、別にこれを定める。

第34条の8 日本語教育施設の運営に関する基準（昭和63年文部省制定）第11項第2号に基づいて日本語教育施設における教員の資格の取得を目的として、本学に日本語教員課程を置く。

2 日本語教育施設における教員の資格の取得に必要な授業科目（以下「日本語教員課程科目」という。）及び修得すべき単位等については、日本語教育施設の運営に関する基準の定めるところに従い、別にこれを定める。

#### 第4節 学習修了の認定及び卒業

第35条 各授業科目の学習修了の認定は、試験等によるものとし、成績の評価は60点以上を合格、59点以下を不合格とする。

2 60点以上の成績の評価を得た学生には、その授業科目所定の単位を与える。

第36条 試験は、定期試験、追試験及び再試験とする。

第36条の2 定期試験は、各学期末にこれを行う。ただし、医学部医学科の時間制の授業科目について所定の期日に行う場合も同様に取り扱う。

第37条 病気その他やむを得ない理由によって定期試験を受けることのできなかった者に対しては、成績考査規程の定めるところにより追試験を行うことがある。

第37条の2 第2年次生（理学部の学生に限る。）及び第4年次以上の卒業見込者に対しては、成績考査規程の定めるところにより、不合格科目につき再試験を行うことがある。

第37条の3 医学部及び薬学部の学生に対しては、成績考査規程の定めるところにより、不合格科目につき再試験を行うことがある。

第38条 学士の学位の授与は、本学の人文学部、法学部、経済学部、商学部、商学部第二部、理学部、工学部、医学部看護学科及びスポーツ科学部にあつては4年以上、医学部医学科及び薬学部にあつては6年以上在学し、所定の授業科目を履修して、所定の課程を修め、卒業と認める者に対し、教授会の議を経て、学長がこれを決定する。ただし、人文学部又は法学部の学生として3年以上在学した者が、卒業の要件として当該学部の定める単位を優秀な成績で修得したと認められ、かつ、本学大学院へ進学する場合には、その卒業を認めることができる。

2 前項の学位記の様式は別に定め、卒業証書を兼ねるものとする。

第39条 第36条に定める試験の実施及び成績の評価に関する規程は、別にこれを定める。

#### 第5節 賞 罰

第40条 学業成績並びに品行の特に優秀な者、その他業績顕著な者は、これを表彰することがある。

第41条 本学の規則に違反し、学内の秩序を乱し、又は学生の本分に反する者は、学長が定める手続に基づき、これを懲戒する。

2 前項の規定による懲戒は、訓告、停学及び退学とする。ただし、退学は、次の各号のいずれかに該当

する者に対してこれを行うことができる。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

## 第6節 授業料その他諸納入金

第42条 学生は、別に定める期日までに、別表Ⅰの(2)に定める授業料等納入金を納入しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）の定めるところに従い、特に優れた者であって経済的理由により極めて修学に困難があると認められるものとして認定を受けた学生（以下「修学支援学生」という。）が所定の授業料等納入金を納入したときは、前項の納入を行ったものとみなす。

第43条 次の各号に掲げる授業科目であって、その修得単位を卒業要件単位に算入することのできない授業科目を履修する者は、別表Ⅱに定めるところに従い、受講料を納入しなければならない。

- (1) 教職課程科目
- (2) 博物館学芸員課程科目
- (3) 社会教育主事課程科目
- (4) 日本語教員課程科目

2 前項の規定にかかわらず、博物館学芸員課程科目を履修する者については、当該授業科目がその所属する学部のいずれかの学科に関して学則第31条に掲げる表に定められている場合において、その受講料を免除する。

3 前2項の規定にかかわらず、科目等履修生として第1項の各号に掲げる授業科目を履修する者は、別表Ⅲに定めるところに従い、受講料を納入するものとする。

第43条の2 実習又は研修など特別の費用を必要とする授業科目を履修する者は、別に定めるところに従い、実習・研修費等としてこれら諸費用を納入しなければならない。

第44条 削除

第45条 削除

第46条 学生が所定の期日までに第42条に定める授業料等納入金を完納しなかったときは、除籍する。

第47条 授業料等納入金及び受講料に関する細部については、別に定める。

第48条 特殊の事情ある学生に対しては、その事情により授業料等納入金の減免を行うことがある。

2 前項に規定する学生及び修学支援学生に対する授業料等納入金の減免に関し必要な事項は、別に定める。

## 第7節 科目等履修生、研究生、特別聴講学生及び外国人留学生

第49条 本学において、特定の授業科目を受講することを志願する者があるときは、学長は、選考の上、科目等履修生として受入れを許可することができる。

第50条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、学長は、選考の上、研究生として受入れを許可することができる。

第51条 他の大学又は短期大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該大学又は短期大学との協議に基づき、特別聴講学生として受け入れることができる。

第52条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、学長は、選考の上、外国人留学生として受入れを許可することができる。

第53条 科目等履修生、研究生、特別聴講学生及び外国人留学生に関する取扱いについては、別にこれを定める。

2 科目等履修生及び研究生の受講料等については、別表Ⅲに掲げるとおりとする。

## 第8節 公開講座

第54条 本学における教育研究を広く社会に開放し、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

## VI. 諸 規 程

- 2 公開講座に関し必要な事項については、別に定める。

### 第9節 厚 生 施 設

第55条 本学に厚生施設として学生寮その他の施設を置く。

- 2 前項の厚生施設に関する規程は、別にこれを定める。

#### 附 則

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 第32条の2及び第33条の規定は、令和3年3月31日以前から引き続き在籍する学生にも適用する。
- 3 第42条第1項の規定は、令和3年3月31日以前から引き続き在籍する学生にも適用する。

別表Ⅰ 入学検定料及び授業料等納入金

- (1) 入学検定料（第19条第1項）  
 (略)  
 (2) 授業料等納入金（第21条第1項・第42条）  
 (平成31年度入学以降)

(単位 円)

学 部	区 分 (年額)	入 学 金	特別教育充実費	計	毎 年 納 付 金		計
					授 業 料	教 育 充 実 費	
人 文 学 部 法 学 部 経 済 学 部 商 学 部		190,000		190,000	730,000	180,000	910,000
商学部第二部		60,000		60,000	310,000	80,000	390,000
理 学 部 工 学 部		240,000		240,000	1,000,000	380,000	1,380,000
医 学 部	医 学 科	1,000,000	3,000,000	4,000,000	3,912,000	688,000	4,600,000
	看 護 学 科	270,000		270,000	1,040,000	470,000	1,510,000
薬 学 部		400,000		400,000	1,350,000	290,000	1,640,000
スポーツ科学部		300,000		300,000	800,000	350,000	1,150,000

備考

- この表にかかわらず、平成31年3月31日以前に入学し引き続き在学する者にかかる授業料等納入金については、なお従前の例による。
- 入学金については、入学時に限り納入すべき額とする。ただし、第21条第1項ただし書の規定に該当し、その適用を受ける者については、この限りではない。
- 特別教育充実費については、入学初年度（1年次）から3年次までの各年次において納入すべき額とする。
- 薬学部の教育充実費については、入学初年度（1年次）に納入すべき額とし、2年次から6年次までの各学年において720,000円を納入しなければならない。
- 第42条第2項に定める修学支援学生の所定の授業料等納入金は、当該各学生につき、別に定める額とする。

別表Ⅱ その修得単位を卒業要件単位に算入することのできない授業科目の受講料（第43条第1項）

- (1) 教職課程科目

受 講 料	その修得単位を卒業要件単位に算入することのできない教職課程科目	全科目につき 36,000円
-------	---------------------------------	----------------

※ ただし、当該授業科目を博物館学芸員課程科目又は社会教育主事課程科目としてのみ履修する場合については(2)を適用する。

- (2) 博物館学芸員課程科目及び社会教育主事課程科目

受 講 料	その修得単位を卒業要件単位に算入することのできない博物館学芸員課程科目	全科目につき 12,000円
	その修得単位を卒業要件単位に算入することのできない社会教育主事課程科目	全科目につき 16,000円

※ ただし、博物館学芸員課程科目を履修する者については、当該授業科目がその所属する学部のいずれかの学科に関して第31条に掲げる表に定められている場合において、その受講料を免除する。

- (3) 日本語教員課程科目

受 講 料	その修得単位を卒業要件単位に算入することのできない日本語教員課程科目	1単位につき 1,000円
-------	------------------------------------	---------------

## VI. 諸規程

### 別表Ⅲ 科目等履修生及び研究生の受講料等（第43条第3項・第53条第2項）

#### (1) 単位又は授業時間の認定を必要とする科目等履修生

選考料		15,000円
受講料	第31条に掲げる表において、理学部、工学部、医学部看護学科又は薬学部の専門教育科目（工学部については、工学共通科目を、医学部看護学科については、専門基礎科目を含む。）としてのみ定められている授業科目	1単位につき 18,000円
	第31条に掲げる表において、医学部医学科の専門教育科目としてのみ定められている授業科目	1単位につき又は15時間につき 40,000円
	第31条に掲げる表に定められている上記以外の授業科目	1単位につき 12,000円
	第31条に掲げる表において、商学部第二部の専門教育科目のうち別に定められている授業科目	20単位まで 110,000円
	第31条に掲げる表に定められていない授業科目	本学の卒業生 1単位につき 7,000円 その他 1単位につき 12,000円

#### (2) 単位の認定を必要としない科目等履修生

選考料		15,000円
受講料	第31条に掲げる表に定められている授業科目（医学部医学科を除く。）	1単位につき 9,000円

#### (3) 研究生

選考料	医学部医学科	20,000円
	その他の学部・学科	15,000円
研究指導料		月額 15,000円

# 授業科目及び単位・時間数 (学則第31条 (表))

令和6年度入学生 (24台)

工学部 機械工学科

(※印は必修科目 △印は選択必修科目とする。)

科目分野		授業科目(単位)									
共通教育科目 (114単位)	人文科学	哲学A (2)	哲学B (2)	論理学A (2)	論理学B (2)	倫理学A (2)	倫理学B (2)	宗教学A (2)	宗教学B (2)		
		日本史A (2)	日本史B (2)	東洋史A (2)	東洋史B (2)	日本文学A (2)	日本文学B (2)	西洋文学A (2)	西洋文学B (2)		
		アジアの文学A (2)	アジアの文学B (2)	西洋文学A (2)	西洋文学B (2)	芸術A (2)	芸術B (2)	日本教育史 (2)	西洋教育史 (2)		
	社会科学	法学A (2)	法学B (2)	日本国憲法 (2)	政治学A (2)	政治学B (2)	経済学A (2)	経済学B (2)	商学A (2)	商学B (2)	
		商学B (2)	社会学A (2)	社会学B (2)	教育学論A (2)	教育学論B (2)	教育の原理・課程論 (2)	地理学A (2)	地理学B (2)	文化人類学A (2)	文化人類学B (2)
		心理学A (2)	心理学B (2)	文化人類学A (2)	文化人類学B (2)	地球圏科学入門 (2)	新しい地球観 (2)	ミクロの生物科学 (2)	マクロの生物科学 (2)	自然科学入門 (2)	自然科学と人間 (2)
		自然科学入門 (2)	自然科学と人間 (2)	自然地理学 (2)	総合系科目 (2)	福岡大学で考える現代社会 (2)					
	学修基盤科目	福岡大生のためのキャリアデザイン (2)	アカデミックスキルズゼミⅠ (2)	アカデミックスキルズゼミⅡ (2)	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか (2)						
		データサイエンス・AI入門 (2)									
	外国語科目 (48単位)	第1	※フレッシュマン・イングリッシュ (4)		※インターメディアイト・イングリッシュ (4)		海外英語研修 (2)	アドバンスト・イングリッシュ (2)			
第2		△ドイツ語Ⅰ (4)	ドイツ語Ⅱ (2)	△フランス語Ⅰ (4)	フランス語Ⅱ (2)	△中国語Ⅰ (4)	中国語Ⅱ (2)	△ロシア語Ⅰ (4)	ロシア語Ⅱ (2)		
		△朝鮮語Ⅰ (4)	朝鮮語Ⅱ (2)	△スペイン語Ⅰ (4)	スペイン語Ⅱ (2)						
保健体育科目 (2単位)	※生涯スポーツ演習 (2)										
単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目										
工学共通科目 (42単位)	※微分積分Ⅰ (2)		※微分積分Ⅱ (2)		※線形代数Ⅰ (2)		※線形代数Ⅱ (2)				
	※統計 (2)		※力学A (2)		力学B (2)		物理学A (2)				
	※物理学C (2)		※化学A (2)		化学B (2)		図学Ⅰ (2)				
	※物理学実験 (2)		※化学実験 (2)		微分積分Ⅲ (2)		微分積分Ⅳ (2)				
関数論 (2)		数理統計Ⅰ (2)		数理統計Ⅱ (2)		物理学D (2)					
基礎防災学 (2)											
専門教育科目	必修科目 (39単位)	材料力学Ⅰ (4)	材料試験 (1)	流体工学Ⅰ (2)	流体工学Ⅱ (2)	流体工学実験 (1)	工業熱力学Ⅰ (2)	工業熱力学Ⅱ (2)	熱工学実験 (1)		
		機械工作実習 (1)	機械加工法 (2)	機械要素設計Ⅰ (2)	機械制御工学Ⅰ (2)	機械力学Ⅰ (2)	機械力学・制御実験 (1)	機械製図法 (1)	金属材料学 (2)		
		工業力学Ⅰ (2)	工業力学Ⅱ (2)	技術者リテラシーⅠ (1)	卒業論文 (6)						
	選択科目 (69単位)	材料力学Ⅱ (4)	固体力学 (2)	流体力学Ⅰ (2)	流体力学Ⅱ (2)	流体機械 (2)	ターボ機械 (2)	伝熱工学Ⅰ (2)	伝熱工学Ⅱ (2)	ヒートポンプ・空調工学 (2)	
		熱エネルギー変換工学 (2)	熱エネルギー変換工学 (2)	機械工作法 (2)	機構学 (2)	機械要素設計Ⅱ (2)	工作機械 (2)	機械制御工学Ⅱ (2)	機械制御工学Ⅲ (2)	ロボット工学 (2)	
		機械力学Ⅱ (2)	△機械工学設計演習A (1)	△機械工学設計演習B (1)	△機械工学設計演習C (1)	△機械工学設計演習D (1)	△機械工学設計演習E (1)	計測工学 (2)	機械材料学 (2)	複合材料学 (2)	
		複合材料学 (2)	機械情報処理 (2)	情報処理入門 (2)	トライボロジー (2)	工業経営 (2)	数値解析 (2)	電気工学通論 (2)	電子工学通論 (2)	化学工学通論 (2)	
		化学工学通論 (2)	技術者リテラシーⅡ (1)	技術者リテラシーⅢ (1)	総合工業論 (2)						

令和6年度入学生 (24台)

工学部 電気工学科

(※印は必修科目 △印は選択必修科目とする。)

科 目		授 業 科 目 (単 位)	
分 野			
共 通 教 育 科 目	総合 教 養 科 目	人文科学	機 械 工 学 科 に 同 じ
		社会科学	
		自然科学	
		総合系列 科 目	
		学修基盤 科 目	
	外国 語 科 目	第1	
		第2	
保健体育科目			
単位互換科目			
工学共通科目 (38単位)		※微分積分Ⅰ(2) ※微分積分Ⅱ(2) ※線形代数Ⅰ(2) ※線形代数Ⅱ(2) 統 計(2) ※力 学A(2) ※力 学B(2) 力 学C(2) 化 学A(2) 化 学B(2) 図 学Ⅰ(2) ※物 理 学 実 験(2) 化 学 実 験(2) 微 分 積 分Ⅲ(2) 微 分 積 分Ⅳ(2) 関 数 論(2) 物 理 学A(2) 物 理 学B(2) 基 礎 防 災 学(2)	
専 門 教 育 科 目	(必修科目 60単位)	電気磁気学Ⅰ(2) 電気磁気学Ⅱ(2) 電気磁気学Ⅲ(2) 電気磁気学Ⅳ(2) 電気回路Ⅰ(2) 電気回路Ⅱ(2) 電気回路Ⅲ(2) 電気回路Ⅳ(2) 基礎電気工学(1) 電気入門Ⅰ(1) 電気入門Ⅱ(1) 電気計測Ⅰ(2) 電気計測Ⅱ(2) 電気物性論Ⅰ(2) 電気物性論Ⅱ(2) 電気機器Ⅰ(2) 電気機器Ⅱ(2) 電気基礎実験Ⅰ(2) 電気基礎実験Ⅱ(2) 発変電工学Ⅰ(2) 発変電工学Ⅱ(2) 制御工学Ⅰ(2) 制御工学Ⅱ(2) 電力伝送工学Ⅰ(2) 電力伝送工学Ⅱ(2) 電気材料Ⅰ(2) 電気材料Ⅱ(2) パワーエレクトロニクスⅠ(2) パワーエレクトロニクスⅡ(2) デジタル制御工学(2) 卒業論文(3)	
	(選択科目 48単位)	コンピュータ基礎Ⅰ(2) コンピュータ基礎Ⅱ(2) 情報処理Ⅰ(2) 情報処理Ⅱ(2) 電子回路Ⅰ(2) 電子回路Ⅱ(2) 高電圧工学(2) 電力システム工学(2) 照明電熱工学(2) 通信工学(2) 数値解析(2) プログラム技法(2) 電子工学Ⅰ(2) 電子工学Ⅱ(2) △電気工学実験Ⅰ(2) △電気工学実験Ⅱ(2) △電気工学実験Ⅲ(2) システム工学(2) 電気機器設計学(2) 電気法規及び施設管理(2) 応用電気化学大意(2) 電気設計製図(2) 技術者倫理・安全管理(2) 総合工業論(2)	

令和6年度入学生(24台)

工学部 電子情報工学科

(※印は必修科目 △及び▲印は選択必修科目とする。)

科 目		授 業 科 目 (単 位)			
分 野					
共通教育科目	人文科学	機械工学科に同じ			
	社会科学				
	自然科学				
	総合系科目 総合系科目 総合系科目				
	外国語科目 第1 第2				
	保健体育科目 単位互換科目				
工学共通科目 (34単位)		※微分積分I (2) ※微分積分II (2) ※線形代数I (2) ※線形代数II (2)	※力学A (2) ※力学B (2) ※物理学実験 (2) 図学I (2)	※力学A (2) ※力学B (2) 力学C (2) 物理学A (2)	※統計 (2) ※化学実験 (2) 基礎防災学 (2) 数理統計I (2)
専門科目	必修	電気回路I (2) 電気回路II (2) プログラミングI (2) プログラミングII (2)	情報通信機器概論 (2) 電子情報工学特論 (2) 論理回路 (2) 電子情報工学実験 (2)	電子情報基礎演習 (1) データ構造とアルゴリズムI (2) 電子情報工学特別演習 (1) 計算機工学I (2)	電子磁気学 (2) 半導体工学 (2) 電子回路 (2) デジタル信号処理 (2)
	電子通信 コース (14単位)	電気回路I (2) 電気回路II (2) プログラミングI (2) プログラミングII (2)	情報通信機器概論 (2) 電子情報工学特論 (2) 論理回路 (2) 電子情報工学実験 (2)	電子情報基礎演習 (1) データ構造とアルゴリズムI (2) 電子情報工学特別演習 (1) 計算機工学I (2)	電子磁気学 (2) 半導体工学 (2) 電子回路 (2) デジタル信号処理 (2)
	情報 コース (12単位)	情報理論 (2) プログラミング演習I (1) プログラミング演習II (1) マイクロコンピュータ (2)	オペレーティングシステム (2) 計算機ネットワーク (2) 情報工学実験A (1) 情報工学実験B (1)	情報理論 (2) プログラミング演習I (1) プログラミング演習II (1) データベースシステム (2)	情報処理システム開発 (2) オペレーティングシステム (2) 情報セキュリティ (2) 卒業論文 (6)
	情報システム コース (40単位)	オートマトンと言語理論 (2) 情報数学 (2) データ構造とアルゴリズムII (2) 情報理論 (2)	プログラミング演習I (1) プログラミング演習II (1) データベースシステム (2) 情報処理システム開発 (2)	マイクロコンピュータ (2) オブジェクト指向プログラミング (2) プロジェクト型ソフトウェア開発演習 (2) オペレーティングシステム (2)	計算機ネットワーク (2) ネットワークシステム (2) 情報系のための確率・統計 (2) 情報セキュリティ (2)
	情報工学実験A (1) 情報工学実験B (1) 情報職業論 (2) 卒業論文 (6)	情報工学実験A (1) 情報工学実験B (1) 情報職業論 (2) 卒業論文 (6)	情報系のための確率・統計 (2) 情報セキュリティ (2) 情報職業論 (2) 卒業論文 (6)	情報系のための確率・統計 (2) 情報セキュリティ (2) 情報職業論 (2) 卒業論文 (6)	
	選択	△数値計算法 (2) △制御工学 (2) △アナログ回路 (2) △通信工学II (2)	▲計算機工学II (2) 計算機工学III (2) センサーと計測 (2) 通信・放送システム (2)	工業英語 (2) ロボティクス (2) マルチメディア概論 (2) 工業経営 (2)	情報化社会論 (2) 総合工業論 (2) デジタル電子回路 (2) 半導体デジタルグリインターンシップ (1)
	電子通信 コース (51単位)	△電磁波理論 (2) △情報理論 (2) △電子物性 (2) 電気回路III (2)	関数論 (2) 微分積分III (2) 微分積分IV (2) プログラミング演習I (1)	△電子系のための情報処理 (2) △集積回路プロセス (2) △通信応用 (2) △半導体デバイス (2)	△光エレクトロニクス (2) マイクロコンピュータ (2) オペレーティングシステム (2) 計算機ネットワーク (2)
	情報 コース (44単位)	電気磁気学 (2) オートマトンと言語理論 (2) 情報数学 (2) データ構造とアルゴリズムII (2)	電子回路 (2) デジタル信号処理 (2) 通信工学I (2) コンパイラ構成法 (2)	データベースシステム (2) オブジェクト指向プログラミング (2) 情報処理システム開発 (2) ▲ネットワークシステム (2)	情報系のための確率・統計 (2) 情報セキュリティ (2) 知識工学 (2) 画像処理工学 (2)
	情報システム コース (18単位)	電気磁気学 (2) 電子回路 (2) デジタル信号処理 (2) 通信工学I (2)	コンパイラ構成法 (2) △知識工学 (2) △画像処理工学 (2) △自然言語処理工学 (2)	自然言語処理工学 (2) 音声情報処理工学 (2) 情報職業論 (2) 卒業論文 (6)	電気磁気学 (2) 電子回路 (2) デジタル信号処理 (2) 通信工学I (2)
	情報システム コース (18単位)	電気磁気学 (2) 電子回路 (2) デジタル信号処理 (2) 通信工学I (2)	コンパイラ構成法 (2) △知識工学 (2) △画像処理工学 (2) △自然言語処理工学 (2)	自然言語処理工学 (2) 音声情報処理工学 (2) 情報職業論 (2) 卒業論文 (6)	電気磁気学 (2) 電子回路 (2) デジタル信号処理 (2) 通信工学I (2)



令和6年度入学生 (24台)

工学部 化学システム工学科

(※印は必修科目 △印は選択必修科目とする。)

科 目		授 業 科 目 (単 位)				
分 野						
共 通 教 育 科 目	人文科学	機械工学科に同じ				
	社会科学					
	自然科学					
	総合系科目					
	学修基盤科目					
	外国語科目					第1
	保健体育科目					
	単位互換科目					
工学共通科目 (36単位)		※ 微分積分I (2)	微分積分II (2)	※線形代数I (2)	線形代数II (2)	
		統 計 (2)	※力 学A (2)	力 学B (2)	力 学C (2)	
		※基礎物理化学A (2)	※基礎物理化学B (2)	※物理学実験 (2)	※化学実験 (2)	
		物 理 学A (2)	物 理 学C (2)	数 理 統 計 I (2)	微 分 積 分 IV (2)	
		関 数 論 (2)	基 礎 防 災 学 (2)			
専 門 教 育 科 目	必 修 科 目	両 コ ー ス 共 通 (57単位)	キャリアデザイン (1)	化学工学と社会 (2)	基礎無機化学 (2)	基礎有機化学I (2)
			基礎有機化学II (2)	分 析 化 学 (2)	化学工学計算法 (2)	化学工学演習I (1)
			化学工学実験I (4)	技 術 者 倫 理 (2)	生 物 科 学 (2)	情 報 処 理 基 礎 (2)
			化学工学プログラミング (2)	応 用 物 理 化 学 (2)	化学反応速度論 (2)	流 体 工 学 (2)
			化学工学演習II (3)	化学工学実験II (6)	外書講読・コミュニケーション (2)	反 応 工 学 (2)
		研究開発序論 (2)	地 球 環 境 科 学 (2)	化学工学演習III (1)	化学工学演習IV (1)	
		化学工学特別講義 (2)	卒 業 論 文 (4)			
		化学工学数学 (2)	粉 粒 体 工 学 (2)	伝 熱 工 学 (2)	拡 散 分 離 工 学 (2)	
		物質移動工学I (2)	輸 送 現 象 (2)	化学プロセス工学 (2)	プロセスシステム工学 (2)	
		化学装置設計 (2)				
	選 択 科 目	両 コ ー ス 共 通 (22単位)	工業有機化学 (2)	環境安全工学 (2)	工業無機化学 (2)	無機製造化学 (2)
触媒プロセス工学 (2)			工業有機材料 (2)	物質移動工学II (2)	応用物性工学 (2)	
高分子化学 (2)						
	選 択 科 目	両 コ ー ス 共 通 (18単位)	グラフィックデザイン (2)	工業無機材料 (2)	機 器 分 析 (2)	量子化学概論 (2)
工業微生物学概論 (2)			機械的分離工学 (2)	電 気 工 学 通 論 (2)	医 療 薬 理 化 学 (2)	
生物化学工学 (2)			エネルギー工学概論 (2)	綜 合 工 業 論 (2)		
	選 択 科 目	両 コ ー ス 共 通 (18単位)	工業有機化学 (2)	環境安全工学 (2)	工業無機化学 (2)	無機製造化学 (2)
触媒プロセス工学 (2)			工業有機材料 (2)	物質移動工学II (2)	応用物性工学 (2)	
高分子化学 (2)						
	選 択 科 目	両 コ ー ス 共 通 (18単位)	化学工学数学 (2)	粉 粒 体 工 学 (2)	伝 熱 工 学 (2)	拡 散 分 離 工 学 (2)
物質移動工学I (2)			輸 送 現 象 (2)	化学プロセス工学 (2)	プロセスシステム工学 (2)	
化学装置設計 (2)						

令和6年度入学生(24台)

工学部 社会デザイン工学科

(※印は必修科目 △印は選択必修科目とする。)

科 目		授 業 科 目 (単 位)				
分 野						
共 通 教 育 科 目	総合 教 養 科 目	人文科学	機械工学科に同じ			
		社会科学				
		自然科学				
		総合系列 科 目				
		学修基盤 科 目				
	外国 語 科 目	第1				
		第2				
保健体育科目						
単位互換科目						
工学共通科目 (30単位)		※微分積分Ⅰ(2) ※微分積分Ⅱ(2) ※線形代数Ⅰ(2) ※線形代数Ⅱ(2) ※統計(2) ※力学A(2) ※力学C(2) 化学A(2) 図学(2) ※物理学実験(2) 化学実験(2) 物理学A(2) 微分積分Ⅲ(2) 微分積分Ⅳ(2) 基礎防災学(2)				
専 門 教 育 科 目	必修科目 (73単位)	建設景観学(2) 建設材料学(2) 環境工学概論(2) 測量学(2) 測量実習(2) 社会デザインの力学基礎(2) 工業数学(2) 社会デザインとの出会い(1) 静定構造力学及び演習(3) 不静定構造力学及び演習(3) 基礎水理学及び演習(3) 応用水理学及び演習(3) 基礎地盤力学及び演習(3) 応用地盤力学及び演習(3) 社会基盤計画学(2) 交通計画学(2) コンクリート工学(2) 鉄筋コンクリート(2) 建設施工学(2) 地球環境工学(2) 上下水道学(2) 水理・環境実験(2) 情報処理演習(1) 橋梁工学(2) 河川工学(2) 地盤工学(2) 都市計画(2) 環境アセスメント(2) 構造・空間デザイン演習(2) 材料・地盤実験(2) キャリアデザイン(2) キャリア演習(1) 技術者倫理(2) 卒業論文(4)				
		選択科目 (21単位)	耐震工学・地震防災(2) 水資源工学(2) 防災・環境地盤工学(2) 景観デザイン論(2) 建設マネジメント(2) 廃棄物資源循環工学(2) 実践測量実習(1) 建設CAD(2) 社会基盤の維持管理(2) 工業火薬学(2) 総合工業論(2)			

令和6年度入学生 (24台)

工学部 建築学科

(※印は必修科目 △印は選択必修科目とする。)

科 目		授 業 科 目 (単 位)
分 野		
共 通 教 育 科 目	人文科学	機械工学科に同じ
	社会科学	
	自然科学	
	総合系列科目	
	学修基盤科目	
	外国語科目 第1	
	第2	
保健体育科目		
単位互換科目		
工学共通科目 (28単位)		微分積分I (2) 微分積分II (2) 線形代数I (2) 線形代数II (2) 統計 (2) 力学A (2) 力学B (2) 力学C (2) 化学A (2) 化学B (2) ※図 学I (2) ※図 学II (2) 物理学実験 (2) 化学実験 (2)
専 門 教 育 科 目	必修科目 (63単位)	静定構造力学I (2) 静定構造力学II (2) 不静定構造力学I (2) 建築構法 (2) 建築設計概論 (2) 建築設計計画 (2) 建築環境学概論 (2) 情報処理演習 (1) 建築構造材料 (2) 建築仕上材料 (2) 建築設計基礎 (3) 建築設計演A (3) 建築設計演習B (3) 建築計画I (2) 建築計画II (2) 意匠論I (2) 建築環境学基礎 (2) 建築総合実験 (2) 建築法規 (2) 空気調和設備 (2) 都市計画I (2) 都市計画II (2) 建築生産 (2) 建築学特別演習 (1) 耐震工学 (2) 建築の構造I (2) 建築の構造II (2) 技術者倫理 (2) 卒業計画 (6)
	選択科目 (55単位)	構造力学演習I (2) 構造力学演習II (1) 構造力学演習III (1) 造形実習I (1) 造形実習II (1) 建築光環境 (2) 建築音環境 (2) 建築CAD (2) 建築キャリアデザイン (1) 建築情報 (2) プログラミング基礎 (2) 測量実習 (2) △建築史概論 (2) △近代建築史 (2) 日本建築史 (2) 不静定構造力学II (2) 建築材料性能計画 (2) 建築衛生設備 (2) 建築実務演習 (2) 建築構造設計 (2) 意匠論II (2) 総合設計演習A (3) 総合設計演習B (3) 木質構造 (2) ランドスケープデザイン論 (2) 総合工業論 (2) 建築マネジメント (2) 建築構造設計演習 (2) 建築の防災と維持保全 (2)

# 福岡大学学科履修規程

## 第1章 総 則

第1条 卒業資格を得るための履修は、学則第31条から第34条までの規定及びこの履修規程の定めるところによる。

## 第2章 科目の履修

第2条 (抜粋)

### 令和6年度入学生(24台)

7 工学部(機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、化学システム工学科、社会デザイン工学科、建築学科)の学生は、次の単位を修得しなければならない。(学則第34条参照)

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計12単位以上	}	合計26単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学			
		総合系列科目			
外国語科目	学修基盤科目	計12単位以上	}		
	第1外国語…………… 8 単位以上				
		第2外国語…………… 4 単位以上			
	保健体育科目	…………… 2 単位			
(2) 工学共通科目					
	機械工学科	必修科目18単位、選択科目 6 単位以上……………	計24単位以上		
	電気工学科	〃 14単位、 〃 6 単位以上……………	計20単位以上		
	電子情報工学科	〃 14単位、 〃 4 単位以上……………	計18単位以上		
	化学システム工学科	〃 14単位、 〃 6 単位以上……………	計20単位以上		
	社会デザイン工学科	〃 16単位、 〃 2 単位以上……………	各々計18単位以上		
	建築学科	〃 4 単位、 〃 14単位以上……………			
(3) 専門教育科目					
	機械工学科	必修科目39単位、選択科目41単位以上……………	計80単位以上		} 総計130単位以上
	電気工学科	〃 60単位、 〃 24単位以上……………	計84単位以上		
	電子情報工学科	必修科目及びコース別必修科目	各々計86単位以上		
		電子通信コース 36単位			
		情報コース 34単位			
		情報システムコース 62単位			
		選択科目及びコース別選択科目	各々計86単位以上		
		電子通信コース 50単位以上			
		情報コース 52単位以上			
		情報システムコース 24単位以上			
	化学システム工学科	必修科目及びコース別必修科目	各々計84単位以上		
		化学工学コース 75単位			
		分子工学コース 75単位			
		選択科目及びコース別選択科目			
		化学工学コース 9 単位以上			
		分子工学コース 9 単位以上			
	社会デザイン工学科	必修科目73単位、選択科目13単位以上	各々計86単位以上		
	建築学科	必修科目63単位、選択科目23単位以上			

※イメージ図

(注) 共通教育科目の単位互換科目については、その修得単位数を卒業要件130単位のなかに算入しない。  
学科履修規程第6条の6に規定する必要な修得単位数についても同様とする。

令和 5 年度入学生 (23台)

7 工学部 (機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、化学システム工学科、社会デザイン工学科、建築学科) の学生は、次の単位を修得しなければならない。(学則第34条参照)

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	}	計12単位以上	
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	自然科学	}	計12単位以上	合計26単位以上
		総合系列科目			
		学修基盤科目			
		第1 外国語…………… 8 単位以上			
		第2 外国語…………… 4 単位以上			
	保健体育科目	…………… 2 単位			
(2) 工学共通科目	機械工学科	必修科目18単位、選択科目 6 単位以上……………		計24単位以上	
	電気工学科	〃 14単位、 〃 6 単位以上……………		計20単位以上	
	電子情報工学科	〃 14単位、 〃 4 単位以上……………		計18単位以上	
	化学システム工学科	〃 14単位、 〃 6 単位以上……………		計20単位以上	
	社会デザイン工学科	〃 16単位、 〃 2 単位以上……………	}	各々計18単位以上	
	建築学科	〃 4 単位、 〃 14単位以上……………			
(3) 専門教育科目	機械工学科	必修科目39単位、選択科目41単位以上……………		計80単位以上	} 総計130単位以上
	電気工学科	〃 60単位、 〃 24単位以上……………		計84単位以上	
	電子情報工学科	必修科目及びコース別必修科目	}	各々計86単位以上	
		電子通信コース 36単位			
		情報コース 34単位			
		情報システムコース 62単位	}	各々計86単位以上	
		選択科目及びコース別選択科目			
		電子通信コース 50単位以上			
		情報コース 52単位以上	}	各々計84単位以上	
		情報システムコース 24単位以上			
	化学システム工学科	必修科目及びコース別必修科目			
		化学工学コース 75単位	}	各々計84単位以上	
		分子工学コース 75単位			
		選択科目及びコース別選択科目	}	各々計86単位以上	
		化学工学コース 9 単位以上			
		分子工学コース 9 単位以上			
	社会デザイン工学科	必修科目73単位、選択科目13単位以上		各々計86単位以上	
	建築学科	必修科目63単位、選択科目23単位以上		各々計86単位以上	

(注) 共通教育科目の単位互換科目については、その修得単位数を卒業要件130単位のなかに算入しない。学科履修規程第 6 条の 6 に規定する必要な修得単位数についても同様とする。

令和4年度入学生(22台)

7 工学部(機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、化学システム工学科、社会デザイン工学科、建築学科)の学生は、次の単位を修得しなければならない。(学則第34条参照)

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	}	計12単位以上	}	合計26単位以上					
		社会科学…………… 4 単位以上									
		自然科学									
(1) 共通教育科目	外国語科目	総合系列科目	}	計12単位以上	}						
		学修基盤科目									
		第1外国語…………… 8 単位以上									
(1) 共通教育科目	保健体育科目	第2外国語…………… 4 単位以上	}	計12単位以上	}						
		…………… 2 単位									
(2) 工学共通科目	機械工学科	必修科目18単位、選択科目 6 単位以上……………		計24単位以上	}	総計130単位以上					
	電気工学科	〃 14単位、 〃 6 単位以上……………		計20単位以上							
	電子情報工学科	〃 14単位、 〃 4 単位以上……………		計18単位以上							
	化学システム工学科	〃 14単位、 〃 6 単位以上……………		計20単位以上							
	社会デザイン工学科	〃 16単位、 〃 2 単位以上……………		各々計18単位以上							
	建築学科	〃 12単位、 〃 6 単位以上……………									
	(3) 専門教育科目	機械工学科	必修科目33単位、選択科目47単位以上……………				計80単位以上	}			
		電気工学科	〃 60単位、 〃 24単位以上……………				計84単位以上				
		電子情報工学科	必修科目及びコース別必修科目							}	各々計86単位以上
			電子通信コース	36単位							
情報コース			34単位								
電子情報工学科		情報システムコース		62単位	}	各々計86単位以上					
		選択科目及びコース別選択科目									
		電子通信コース	50単位以上								
電子情報工学科		情報コース		52単位以上	}	各々計84単位以上					
		情報システムコース		24単位以上							
	化学システム工学科	必修科目及びコース別必修科目		}			各々計84単位以上				
化学システム工学科	化学工学コース	75単位									
	分子工学コース	75単位									
化学システム工学科	選択科目及びコース別選択科目			}	各々計86単位以上						
	化学工学コース	9 単位以上									
	分子工学コース	9 単位以上									
社会デザイン工学科	必修科目73単位、選択科目13単位以上			}	各々計86単位以上						
	建築学科	必修科目及びコース別必修科目				}	各々計86単位以上				
		総合コース	77単位								
設計・計画コース		76単位									
建築学科	構造コース		82単位	}	各々計86単位以上						
	選択科目及びコース別選択科目										
	総合コース	9 単位以上									
建築学科	設計・計画コース		10単位以上	}	各々計86単位以上						
	構造コース		4 単位以上								

※イメージ図

(注) 共通教育科目の単位互換科目については、その修得単位数を卒業要件130単位のなかに算入しない。学科履修規程第6条の6に規定する必要な修得単位数についても同様とする。

令和3年度入学生 (21台)

7 工学部 (機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、化学システム工学科、社会デザイン工学科、建築学科) の学生は、次の単位を修得しなければならない。(学則第34条参照)

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計12単位以上	合計26単位以上	
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学			
(1) 共通教育科目	外国語科目	総合系列科目	計12単位以上	合計26単位以上	
		学修基盤科目			
		第1 外国語…………… 8 単位以上			
(1) 共通教育科目	保健体育科目	第2 外国語…………… 4 単位以上	計12単位以上	合計26単位以上	
		…………… 2 単位			
(2) 工学共通科目	機械工学科	必修科目18単位、選択科目 6 単位以上……………	計24単位以上	各々計18単位以上	
	電気工学科	〃 14単位、 〃 6 単位以上……………	計20単位以上		
	電子情報工学科	〃 14単位、 〃 4 単位以上……………	計18単位以上		
	化学システム工学科	〃 14単位、 〃 6 単位以上……………	計20単位以上		
	社会デザイン工学科	〃 16単位、 〃 2 単位以上……………			
	建築学科	〃 12単位、 〃 6 単位以上……………			
(3) 専門教育科目	機械工学科	必修科目33単位、選択科目47単位以上……………	計80単位以上	総計130単位以上	
	電気工学科	〃 60単位、 〃 24単位以上……………	計84単位以上		
	電子情報工学科	必修科目及びコース別必修科目			各々計86単位以上
		電子通信コース	36単位		
		情報コース	34単位		
		情報システムコース	62単位		
	電子情報工学科	選択科目及びコース別選択科目			各々計86単位以上
		電子通信コース	50単位以上		
		情報コース	52単位以上		
		情報システムコース	24単位以上		
	化学システム工学科	必修科目及びコース別必修科目			各々計84単位以上
		化学工学コース	75単位		
		分子工学コース	75単位		
		選択科目及びコース別選択科目			
	化学システム工学科	化学工学コース	9 単位以上		各々計86単位以上
分子工学コース		9 単位以上			
社会デザイン工学科		必修科目73単位、選択科目13単位以上	各々計86単位以上		
建築学科		必修科目及びコース別必修科目			
	総合コース	77単位			
	設計・計画コース	76単位			
	構造コース	82単位			
建築学科	選択科目及びコース別選択科目		各々計86単位以上		
	総合コース	9 単位以上			
	設計・計画コース	10単位以上			
	構造コース	4 単位以上			

(注) 共通教育科目の単位互換科目については、その修得単位数を卒業要件130単位のなかに算入しない。学科履修規程第6条の6に規定する必要な修得単位数についても同様とする。

令和2年度入学生(20台)

7 工学部(機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、化学システム工学科、社会デザイン工学科、建築学科)の学生は、次の単位を修得しなければならない。(学則第34条参照)

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	}	計12単位以上	}	合計26単位以上	
		社会科学…………… 4 単位以上					
		自然科学					
(1) 共通教育科目	外国語科目	総合系列科目	}	計12単位以上	}		
		学修基盤科目					
		第1外国語…………… 8 単位以上					
(1) 共通教育科目	保健体育科目	第2外国語…………… 4 単位以上	}	計12単位以上	}		
		…………… 2 単位					
(2) 工学共通科目	機械工学科	必修科目18単位、選択科目6 単位以上……………		計24単位以上	}	各々計18単位以上	
	電気工学科	〃 14単位、 〃 6 単位以上……………		計20単位以上			
	電子情報工学科	〃 14単位、 〃 4 単位以上……………		計18単位以上			
	化学システム工学科	〃 14単位、 〃 6 単位以上……………		計20単位以上			
	社会デザイン工学科	〃 16単位、 〃 2 単位以上……………					
	建築学科	〃 12単位、 〃 6 単位以上……………					
(3) 専門教育科目	機械工学科	必修科目33単位、選択科目47単位以上……………		計80単位以上	}	総計130単位以上	
	電気工学科	〃 60単位、 〃 24単位以上……………		計84単位以上			
	電子情報工学科	必修科目及びコース別必修科目					
		電子通信コース	36単位	}			各々計86単位以上
		情報コース	34単位				
	情報システムコース	62単位					
	電子情報工学科	選択科目及びコース別選択科目					
		電子通信コース	50単位以上	}			各々計84単位以上
		情報コース	52単位以上				
	情報システムコース	24単位以上					
	化学システム工学科	必修科目及びコース別必修科目					
		化学工学コース	75単位	}			各々計86単位以上
		分子工学コース	75単位				
	選択科目及びコース別選択科目						
	化学システム工学科	化学工学コース	9 単位以上	}			各々計86単位以上
分子工学コース		9 単位以上					
選択科目及びコース別選択科目							
社会デザイン工学科	必修科目73単位、選択科目13単位以上						
	建築学科	必修科目及びコース別必修科目					
		総合コース	77単位	}	各々計86単位以上		
設計・計画コース		76単位					
構造コース	82単位						
建築学科	選択科目及びコース別選択科目						
	総合コース	9 単位以上	}	各々計86単位以上			
	設計・計画コース	10単位以上					
構造コース	4 単位以上						

(注) 共通教育科目の単位互換科目については、その修得単位数を卒業要件130単位のなかに算入しない。学科履修規程第6条の6に規定する必要な修得単位数についても同様とする。



平成31年度入学生（19台）

7 工学部（機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、化学システム工学科、社会デザイン工学科、建築学科）の学生は、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計12単位以上	合計26単位以上	
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学			
(1)共通教育科目	外国語科目	総合系列科目	計12単位以上	合計26単位以上	
		学修基盤科目			
		第1外国語…………… 8 単位以上			
(1)共通教育科目	保健体育科目	第2外国語…………… 4 単位以上	計12単位以上	合計26単位以上	
		…………… 2 単位			
		…………… 2 単位			
(2)工学共通科目	機械工学科	必修科目18単位、選択科目 6 単位以上……………	計24単位以上	各々計18単位以上	
	電気工学科	〃 14単位、 〃 6 単位以上……………	計20単位以上		
	電子情報工学科	〃 14単位、 〃 4 単位以上……………	計18単位以上		
	化学システム工学科	〃 14単位、 〃 6 単位以上……………	計20単位以上		
	社会デザイン工学科	〃 16単位、 〃 2 単位以上……………	計18単位以上		
	建築学科	〃 12単位、 〃 6 単位以上……………	計18単位以上		
	……………	……………	……………		
(3)専門教育科目	機械工学科	必修科目33単位、選択科目47単位以上……………	計80単位以上	総計130単位以上	
	電気工学科	〃 60単位、 〃 24単位以上……………	計84単位以上		
	電子情報工学科	必修科目及びコース別必修科目			
		電子通信コース	36単位		各々計86単位以上
		情報コース	34単位		
		情報システムコース	62単位		
	選択科目及びコース別選択科目				
	化学システム工学科	必修科目及びコース別必修科目			各々計84単位以上
		電子通信コース	50単位以上		
		情報コース	52単位以上		
		情報システムコース	24単位以上		
	社会デザイン工学科	必修科目及びコース別必修科目			各々計86単位以上
		化学工学コース	75単位		
		分子工学コース	75単位		
		選択科目及びコース別選択科目			
建築学科	必修科目73単位、選択科目13単位以上		各々計86単位以上		
	必修科目及びコース別必修科目				
	総合コース	77単位			
	設計・計画コース	79単位			
(3)専門教育科目	建築学科	構造コース	82単位	各々計86単位以上	
		選択科目及びコース別選択科目			
		総合コース	9 単位以上		
		設計・計画コース	7 単位以上		
(3)専門教育科目	建築学科	構造コース	4 単位以上	各々計86単位以上	
		……………	……………		
		……………	……………		

(注) 共通教育科目の単位互換科目については、その修得単位数を卒業要件130単位のなかに算入しない。学科履修規程第6条の6に規定する必要な修得単位数についても同様とする。

平成30年度入学生（18台）

7 工学部（機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、化学システム工学科、社会デザイン工学科、建築学科）の学生は、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計12単位以上	合計26単位以上	
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学			
(1)共通教育科目	外国語科目	総合系列科目	計12単位以上	合計26単位以上	
		学修基盤科目			
		第1外国語…………… 8 単位以上			
(1)共通教育科目	保健体育科目	第2外国語…………… 4 単位以上	計12単位以上	合計26単位以上	
		…………… 2 単位			
		…………… 2 単位			
(2)工学共通科目	機械工学科	必修科目18単位、選択科目 6 単位以上……………	計24単位以上	各々計18単位以上	
	電気工学科	〃 14単位、 〃 6 単位以上……………	計20単位以上		
	電子情報工学科	〃 14単位、 〃 4 単位以上……………	計18単位以上		
	化学システム工学科	〃 14単位、 〃 6 単位以上……………	計20単位以上		
	社会デザイン工学科	〃 16単位、 〃 2 単位以上……………	計18単位以上		
	建築学科	〃 12単位、 〃 6 単位以上……………	計18単位以上		
	……………	……………	……………		
(3)専門教育科目	機械工学科	必修科目34単位、選択科目46単位以上……………	計80単位以上	総計130単位以上	
	電気工学科	〃 60単位、 〃 24単位以上……………	計84単位以上		
	電子情報工学科	必修科目及びコース別必修科目			
		電子通信コース	38単位		各々計86単位以上
		情報コース	36単位		
		情報システムコース	62単位		
	選択科目及びコース別選択科目				
	化学システム工学科	必修科目及びコース別必修科目			各々計84単位以上
		電子通信コース	48単位以上		
		情報コース	50単位以上		
		情報システムコース	24単位以上		
	社会デザイン工学科	必修科目及びコース別必修科目			各々計86単位以上
		化学工学コース	75単位		
		分子工学コース	75単位		
		選択科目及びコース別選択科目			
建築学科	必修科目73単位、選択科目13単位以上		各々計86単位以上		
	必修科目及びコース別必修科目				
	化学工学コース	9 単位以上			
	分子工学コース	9 単位以上			
建築学科	必修科目及びコース別必修科目		各々計86単位以上		
	総合コース	76単位			
	設計・計画コース	78単位			
	構造コース	81単位			
建築学科	必修科目及びコース別必修科目		各々計86単位以上		
	選択科目及びコース別選択科目				
	総合コース	10単位以上			
	設計・計画コース	8 単位以上			
建築学科	必修科目及びコース別必修科目		各々計86単位以上		
	構造コース	5 単位以上			

(注) 共通教育科目の単位互換科目については、その修得単位数を卒業要件130単位のなかに算入しない。学科履修規程第6条の6に規定する必要な修得単位数についても同様とする。

平成29年度入学生 (17台)

7 工学部 (機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、化学システム工学科、社会デザイン工学科、建築学科) の学生は、次の単位を修得しなければならない。(学則第34条参照)

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	}	計12単位以上	}	合計26単位以上	
		社会科学…………… 4 単位以上					
		自然科学					
(1)共通教育科目	外国語科目	総合系列科目	}	計12単位以上	}		
		学修基盤科目					
		第1外国語…………… 8 単位以上					
(1)共通教育科目	保健体育科目	第2外国語…………… 4 単位以上	}	計12単位以上	}		
		…………… 2 単位					
(2)工学共通科目	機械工学科	必修科目18単位、選択科目 6 単位以上……………		計24単位以上	}	各々計18単位以上	
	電気工学科	〃 14単位、 〃 6 単位以上……………		計20単位以上			
	電子情報工学科	〃 14単位、 〃 4 単位以上……………		計18単位以上			
	化学システム工学科	〃 16単位、 〃 4 単位以上……………		計20単位以上			
	社会デザイン工学科	〃 16単位、 〃 2 単位以上……………					
	建築学科	〃 12単位、 〃 6 単位以上……………					
(3)専門教育科目	機械工学科	必修科目34単位、選択科目46単位以上……………		計80単位以上	}	総計130単位以上	
	電気工学科	〃 60単位、 〃 24単位以上……………		計84単位以上			
	電子情報工学科	必修科目及びコース別必修科目					
		電子通信コース	36単位	}			各々計86単位以上
		情報コース	36単位				
		情報システムコース	62単位				
	選択科目及びコース別選択科目						
	化学システム工学科	必修科目及びコース別必修科目					
		電子通信コース	50単位以上	}			各々計84単位以上
		情報コース	50単位以上				
		情報システムコース	24単位以上				
	選択科目及びコース別選択科目						
	社会デザイン工学科	必修科目及びコース別必修科目					
		化学システム工学コース	57単位	}			各々計86単位以上
		化学プロセス工学コース	75単位				
選択科目及びコース別選択科目							
化学システム工学コース	27単位以上						
建築学科	必修科目及びコース別必修科目						
	化学プロセス工学コース	9 単位以上	}	各々計86単位以上			
	総合コース	76単位					
	設計・計画コース	78単位					
構造コース	81単位						
(3)専門教育科目	選択科目及びコース別選択科目						
	総合コース	10単位以上	}	各々計86単位以上			
	設計・計画コース	8 単位以上					
	構造コース	5 単位以上					

(注) 単位互換科目については、その修得単位数を卒業要件130単位のなかに算入しない。  
また、進級する場合に必要な修得単位数についても同様とする。

## 令和6年度入学生(24台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

## VI. 諸規程

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
  - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
  - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
  - 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
    - (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
    - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
  - 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次49単位、第4年次38単位、第5年次37単位、第6年次29単位を超えてはならない。
  - 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
  - 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。
- 第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、原級の年次において修得した専門教育科目は無効とし、再度、原級の年次に配当している専門教育科目の全てを履修し、合格点の成績評価を得なければならない。
- 第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。
- 2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。
- 第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。
- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A及びドイツ語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
  - (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A及びフランス語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
  - (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。
- 2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科及び東アジア地域言語学科の学生は、多言語強化プログラムを履修することができる。
  - 3 多言語強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。多言語強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。
- 2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。
  - 3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

- 2 商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 4 商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
  - (2) 物理科学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上
  - (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上
  - (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。
- 2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。
- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
  - (2) 物理科学科の学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理科学研究の2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
  - (3) 化学科の学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験・実習科目から18単位以上及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
  - (4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目から6単位以上、自然科学から6単位以上、計12単位以上、必修の外国語科目8単位、保健体育科目2単位、合計34単位以上、専門教育科目については18単位、総計52単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、50単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より10単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計18単位以上、専門基礎科目について必修科目の17単位、専門教育科目について必修科目の8単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の26単位、専門教育科目について必修科目の34単位、合計88単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、第3年次前期に開講する専門基礎科目について必修科目の1単位、専門教育科目について必修科目の13単位及び選択必修科目の1単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の27単位、専門教育科目について必修科目の60単位及び選択必修科目の1単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計20単位以上、専門教育科目について、1年次の必修科目1単位、1年次の選択必修科目のうち、基礎薬学から9単位以上、臨床薬学から3単位以上を含め計15単位以上、合計36単位以上を修得していなければならない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目16単位以上、2年次の必修科目5単位、2年次の選択必修科目のうち、基礎薬学から16単位以上、衛生薬学から2単位以上、医療薬学から4単位以上、臨床薬学から1単位以上を含め計27単位以上、合計48単位以上、総計74単位以

上を修得していなければならない。

- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目16単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択必修科目のうち、基礎薬学から4単位以上、衛生薬学から4単位以上、医療薬学から10単位以上、臨床薬学から3単位以上を含め計25単位以上、合計80単位以上、総計108単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目16単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目32単位以上、4年次の必修科目13単位、4年次の選択必修科目のうち、衛生薬学から2単位以上、医療薬学から8単位以上、臨床薬学から2単位以上を含め計14単位以上、合計107単位以上、総計135単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目16単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目32単位以上、4年次科目27単位以上、5年次の必修科目32単位、計139単位以上、合計167単位以上を修得していなければならない。

2 薬学部のクリニカルファーマシスト養成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第9項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。



**卒業見込者の定義について**（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

## 令和5年度入学生(23台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

## VI. 諸規程

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
  - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
  - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
  - 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
    - (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
    - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
  - 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
  - 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
  - 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。
- 第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、原級の年次において修得した専門教育科目は無効とし、再度、原級の年次に配当している専門教育科目の全てを履修し、合格点の成績評価を得なければならない。
- 第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。
- 2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。
- 第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。
- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A及びドイツ語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
  - (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A及びフランス語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
  - (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。
- 2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科及び東アジア地域言語学科の学生は、多言語強化プログラムを履修することができる。
  - 3 多言語強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。多言語強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。
- 2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。
  - 3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

- 2 商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 4 商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
  - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
  - (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
  - (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。
- 2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。
    - (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
    - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理科学研究の2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目16単位及び選択必修実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
    - (3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験・実習科目から18単位以上及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目20単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目から6単位以上、自然科学から7単位以上、計13単位以上、必修の外国語科目8単位、保健体育科目2単位、合計35単位以上、専門教育科目については18単位、総計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より10単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計18単位以上、専門基礎科目について必修科目の17単位、専門教育科目について必修科目の8単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の26単位、専門教育科目について必修科目の34単位、合計88単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、第3年次前期に開講する専門基礎科目について必修科目の1単位、専門教育科目について必修科目の13単位及び選択必修科目の1単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の27単位、専門教育科目について必修科目の60単位及び選択必修科目の1単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計

20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。

- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

**卒業見込者の定義について**（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

## 令和4年度入学生(22台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。



## VI. 諸 規 程

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
  - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
  - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
  - 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
    - (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
    - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
  - 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
  - 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
  - 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。
- 第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、原級の年次において修得した専門教育科目は無効とし、再度、原級の年次に配当している専門教育科目の全てを履修し、合格点の成績評価を得なければならない。
- 第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。
- 2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。
- 第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。
- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A及びドイツ語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
  - (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A及びフランス語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
  - (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。
- 2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。
  - 3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。
- 2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。
  - 3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

2 商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

4 商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目16単位及び選択必修実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験・実習科目から18単位以上及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目20単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目から6単位以上、自然科学から7単位以上、計13単位以上、必修の外国語科目8単位、保健体育科目2単位、合計35単位以上、専門教育科目については18単位、総計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より10単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計18単位以上、専門基礎科目について必修科目の17単位、専門教育科目について必修科目の8単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の26単位、専門教育科目について必修科目の34単位、合計88単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、第3年次前期に開講する専門基礎科目について必修科目の1単位、専門教育科目について必修科目の13単位及び選択必修科目の1単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の27単位、専門教育科目について必修科目の60単位及び選択必修科目の1単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計

20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。

- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

**卒業見込者の定義について**（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

## 令和3年度入学生(21台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

## VI. 諸規程

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
  - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
  - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
  - 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
    - (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
    - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
  - 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
  - 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
  - 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。
- 第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、原級の年次において修得した専門教育科目は無効とし、再度、原級の年次に配当している専門教育科目の全てを履修し、合格点の成績評価を得なければならない。
- 第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。
- 2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。
- 第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。
- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A及びドイツ語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
  - (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A及びフランス語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
  - (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。
- 2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。
  - 3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。
- 2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。
  - 3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

- 2 商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 4 商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
  - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
  - (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。
  - (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。
- 2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。
- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
  - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
  - (3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単



位及び共通教育科目の外国語科目 8 単位を含む100単位以上を修得していなければ、第 4 年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

- (4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目） 8 単位及び共通教育科目の外国語科目 8 単位を含む100単位以上を修得していなければ、第 4 年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第 6 条の 6 工学部の学生は、2 年以上在学し、60 単位以上を修得していなければ、第 3 年次開講科目の登録をすることはできない。

- 2 工学部の学生は、3 年以上在学し、第 1・2 年次必修の第 1 外国語科目 6 単位、選択必修の第 2 外国語科目 4 単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第 4 年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第 1 項の60単位・第 2 項の100単位に算入する総合教養科目、第 1 外国語科目、第 2 外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

- (1) 総合教養科目は、12 単位までとする。  
 (2) 第 1 項の60単位に算入するのは、第 1 外国語科目の必修科目 6 単位、第 2 外国語科目の選択必修科目 4 単位までとする。また、第 2 項の100単位に算入するのは、第 1 外国語科目の必修科目 8 単位、第 2 外国語科目の選択必修科目 4 単位までとする。  
 (3) 工学共通科目は、機械工学科は24 単位まで、電気工学科は20 単位まで、電子情報工学科は18 単位まで、化学システム工学科は20 単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18 単位までとする。

第 6 条の 7 医学部医学科の学生は、第 1 学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より 6 単位以上、自然科学より 15 単位以上、計 21 単位以上、外国語科目の第 1 外国語 8 単位、第 2 外国語 4 単位以上、計 12 単位以上、保健体育科目の 2 単位、専門教育科目については 18 単位、合計 53 単位以上を修得しなければ、第 2 学年に進級することができない。ただし、51 単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第 2 学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第 2 学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は 3 年次後期の実習科目を履修することができない。

- (1) 第 1 年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より 10 単位以上、自然科学より 2 単位以上、必修の外国語科目 4 単位、必修の保健体育科目 2 単位、計 18 単位以上、専門基礎科目について必修科目の 17 単位、専門教育科目について必修科目の 8 単位、合計 43 単位以上を修得していなければ第 2 年次に進級することができない。  
 (2) 第 2 年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より 12 単位以上、自然科学より 4 単位以上、必修の外国語科目 8 単位、選択必修の外国語科目より 2 単位以上、必修の保健体育科目 2 単位、計 28 単位以上、専門基礎科目について必修科目の 26 単位、専門教育科目について必修科目の 34 単位、合計 88 単位以上を修得していなければ第 3 年次に進級することができない。  
 (3) 第 3 年次前期終了時において、第 3 年次前期に開講する専門基礎科目について必修科目の 1 単位、専門教育科目について必修科目の 13 単位及び選択必修科目の 1 単位を修得していなければ、第 3 年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第 3 年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。  
 (4) 第 3 年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より 12 単位以上、自然科学より 4 単位以上、必修の外国語科目 8 単位、選択必修の外国語科目より 2 単位以上、必修の保健体育科目 2 単位、計 28 単位以上、専門基礎科目について必修科目の 27 単位、専門教育科目について必修科目の 60 単位及び選択必修科目の 1 単位、合計 116 単位以上を修得していなければ第 4 年次に進級することができない。

第 6 条の 8 薬学部の学生は、第 1 年次から第 5 年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。
- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

## VI. 諸 規 程

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

### 附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

### 卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

## 令和2年度入学生(20台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
  - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
  - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
  - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。

第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。

- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A 及びドイツ語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A 及びフランス語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。

2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。

3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。

2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。

3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。  
第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

2 商学部のクリエイティブ・マネジメントプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。

(4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

## VI. 諸 規 程

(4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計

20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。

- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。



附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

**卒業見込者の定義について**（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

## 平成31年度入学生 (19台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
  - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
  - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
  - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。

第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。

- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A及びドイツ語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A及びフランス語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。

2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。

3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。

2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。

3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。  
第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

2 商学部のクリエイティブ・マネジメントプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。

(4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

## VI. 諸 規 程

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含

め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。

- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

#### 附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

**卒業見込者の定義について**（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

## 平成30年度入学生 (18台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。



## VI. 諸 規 程

- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
  - (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
  - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
  - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
  - (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
  - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。

第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。

- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A 及びドイツ語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A 及びフランス語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。

2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。

3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。

2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。

3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。  
第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

2 商学部のクリエイティブ・マネジメントプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。

(4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

## VI. 諸 規 程

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。ただし、学則第23条第2項第1号の規定に該当し編入学する者（以下「学士入学者」という。）は、共通教育科目については、計18単位以上の修得をもって足りる。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科

目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計26単位以上の修得をもって足りる。

- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員

は20人を原則とする。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

### 卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

## 平成29年度入学生 (17台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
  - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
  - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部看護学科の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。

第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。

- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A及びドイツ語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A及びフランス語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。

2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。

3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。

2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。

3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この条において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目11単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
- (2) 物理数学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
- (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。
- (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目25単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
- (2) 物理数学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- (3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- (4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

- (1) 総合教養科目は、12単位までとする。



- (2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。
- (3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。
- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。
- (3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。
- (4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。ただし、学則第23条第2項第1号の規定に該当し編入学する者（以下「学士入学者」という。）は、共通教育科目については、計18単位以上の修得をもって足りる。
- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計26単位以上の修得をもって足りる。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、

3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

(4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

(5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

(1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合

(2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

### 卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

# 年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

令和6年度入学生 (24台)

工学部 機械工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 倫理A 西洋史A アジアの文化A 芸術学A	2 2 2 2 2	哲学B 倫理B 西洋史B アジアの文化B 芸術学B	2 2 2 2 2	論理学A 東洋文芸史A 日本教育史A 西日本文学A	2 2 2 2	論理学B 東洋文芸史B 日本教育史B 西日本文学B	2 2 2 2
		社会科学	法政商学 政治学 教育心理学	2 2 2	法経社学 経済学 教育の原理・課程論	2 2 2	日経社学 社会学 文化人類学	2 2 2	政商教地学 政治学 教育心理学 文化人類学	2 2 2 2
	自然科学	地球科学入門 自然科学入門 福岡大学で考える現代社会	2 2 2	新しい地球観 自然科学と人間	2	ミクロの生物科学 自然地理学	2	マクロの生物科学	2	
	総合系科目	福岡大学でのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2	
	学修基盤科目	データサイエンス・AI入門	2							
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアエト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアエト・イングリッシュⅢ	1		
			※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアエト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアエト・イングリッシュⅣ	1		
		第2	△ドイツ語Ⅰ	2	海外英語研修Ⅰ	2				
			△フランス語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2				
	保健体育科目	単位互換科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1						
※生涯スポーツ演習Ⅱ			1							
他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目										
工学共通科目		必修科目	微積分Ⅰ	2	物理学Ⅰ	2				
			微積分Ⅱ	2	物理学Ⅱ	2				
			線形代数	2						
	力学Ⅰ		2							
小計		14		4						
専門教育科目	必修科目	工業力学Ⅰ	2	材料力学Ⅰ	4	材料試験Ⅰ	1	流体力学Ⅰ	1	
		工業力学Ⅱ	1	材料力学Ⅱ	2	機械要素設計Ⅰ	1	熱工学Ⅰ	6	
				熱力学Ⅰ	2					
				熱力学Ⅱ	2					
小計		3		24		4		8		
専門教育科目	選択科目	機械工作法	2	機械制御工学Ⅱ	2	固体力学Ⅰ	2			
		機械情報処理入門	2	△機械工学設計演習A	1	流体機械Ⅰ	2			
				計測工学Ⅱ	2	流体力学Ⅱ	2			
				材料力学Ⅱ	4	流体熱工学Ⅰ	2			
				[技術者リテラシーⅡ]	1	伝熱工学Ⅱ	2			
						ヒートポンプ・空調工学Ⅱ	2			
						機械要素設計Ⅱ	2			
						機械制御工学Ⅲ	2			
						ロボット工学Ⅱ	2			
						機械力学Ⅱ	2			
						△機械工学設計演習B	1			
						△機械工学設計演習C	1			
						△機械工学設計演習D	1			
						△機械工学設計演習E	1			
		小計		6		10		53		
合計		9		34		57		8		

(注) (1) △印の機械工学設計演習は5科目中、3科目以上修得すること。  
(2) [ ] 内は今年度休講。

令和 5 年度入学生 (23台)

工学部 機械工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第 1・2・3・4 年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲倫理学A 2 西洋史A 2 アジアの文化A 2	2	哲倫理学B 2 西洋史B 2 アジアの文化B 2	2	論理科学A 2 宗東日西文A 2 本日西日西文A 2	2	論理科学B 2 宗東日西文B 2 本日西日西文B 2	2
		社会科学	政治学A 2 法政教心学B 2 教育論学A 2	2	法経社会学A 2 済会学A 2 教育の原理・課程論学B 2	2	日経社会学A 2 社会心理学A 2 文化人類学A 2	2	政商治学A 2 商教地学A 2 文化人類学B 2	2
		自然科学	地球圏科学入門 2 自然科学入門 2 福岡大学で考える現代社会 2	2	新しい地球観 2 自然科学と人間 2	2	文化人類学A 2 ミクロの生物科学 2 自然地理学 2	2	文化人類学B 2 マクロの生物科学 2	2
		総合系科目 学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザインデータサイエンス・AI入門 2	2	アカデミックスキルズゼミⅠ 2	2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか 2	2
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ 1 ※インターメディアイト・イングリッシュⅡ 1	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ 1 ※インターメディアイト・イングリッシュⅣ 1 アドバンスト・イングリッシュⅠ 1 アドバンスト・イングリッシュⅡ 1	1		
			△〔ドイツ語ⅠA 2 △〔ドイツ語ⅠB 2 △〔フランス語ⅠA 2 △〔フランス語ⅠB 2 △〔中国語ⅠA 2 △〔中国語ⅠB 2 △〔ロシア語ⅠA 2 △〔ロシア語ⅠB 2 △〔スペイン語ⅠA 2 △〔スペイン語ⅠB 2 △〔朝鮮語ⅠA 2 △〔朝鮮語ⅠB 2	2	海外英語研修Ⅱ 2 ドイツ語Ⅱ 2 フランス語Ⅱ 2 中国語Ⅱ 2 ロシア語Ⅱ 2 スペイン語Ⅱ 2	2				
		第2								
		保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1 ※生涯スポーツ演習Ⅱ 1	1						
	単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目							
	工学共通科目	必修科目	微積分Ⅰ 2 微積分Ⅱ 2 行列と行列式Ⅰ 2 行列と行列式Ⅱ 2 学実学A 2 学実学B 2	2	物理学実験Ⅰ 2 物理学実験Ⅱ 2	2				
		小計	14	4						
		選択科目	力物化図 学A 2 学B 2 学I 2	2	統微分積Ⅲ 2 統微分積Ⅳ 2 関数論 2	2	数理統計Ⅰ 2 数理統計Ⅱ 2 数理統計Ⅲ 2 基礎防災学 2	2		
小計		8	8							
専門教育科目	必修科目	工業力学Ⅰ 2 技術者リテラシーⅠ 1	2	材料力学Ⅰ 2 材料力学Ⅱ 2 流体工学Ⅰ 2 流体工学Ⅱ 2 工業熱力学Ⅰ 2 工業熱力学Ⅱ 2 機械制御工学Ⅰ 2 機械制御工学Ⅱ 2 機械材料力学Ⅰ 2 機械材料力学Ⅱ 2 機械工学実習Ⅰ 2 機械工学実習Ⅱ 1	2	材料試験Ⅰ 2 材料試験Ⅱ 2 機械要素設計Ⅰ 2 機械力学・制御実験 1	2	流体工学実験Ⅰ 1 流体工学実験Ⅱ 6	1	
	小計	3	24							
	選択科目	機械工作法 2 機械情報処理入門 2	2	△機械工学設計演習Ⅱ 2 計測工学Ⅱ 4 〔技術者リテラシーⅡ〕 1	2	固体力学Ⅰ 2 固体力学Ⅱ 2 ボット力学Ⅰ 2 ボット力学Ⅱ 2 流体熱工学Ⅰ 2 流体熱工学Ⅱ 2 ヒートポンプ・空調工学Ⅱ 2 機械要素設計Ⅱ 2 機械制御工学Ⅲ 2 ロボット工学Ⅱ 2 機械力学Ⅱ 2 △機械工学設計演習Ⅲ 1 △機械工学設計演習Ⅳ 1 △機械工学設計演習Ⅴ 1 △機械工学設計演習Ⅵ 1 工業経営学Ⅱ 2 数値解析Ⅱ 2 熱エネルギー変換工学Ⅱ 2 〔トロボロジ〕 2 機械材料学Ⅱ 2 複合材料学Ⅱ 2 機械情報処理学Ⅱ 2 電気工学Ⅱ 2 電子工学Ⅱ 2 〔技術者リテラシーⅢ〕 1 機械工学実習Ⅲ 2 総合工業論 2	2			
	小計	6	10							
小計		9	34							

(注) (1) △印の機械工学設計演習は5科目中、3科目以上修得すること。  
(2) [ ]内は今年度休講。

令和4年度入学生 (22台)

工学部 機械工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次									
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲倫理学A 2 理学A 2 日西歴史A 2 アジェの文A 2 芸術学A 2	2	哲倫理学B 2 理学B 2 日西歴史B 2 アジェの文B 2 芸術学B 2	2	論理科学A 2 宗東日西文A 2 本洋文A 2 日西文A 2 本教育史A 2	2	論理科学B 2 宗東日西文B 2 本洋文B 2 日西文B 2 本教育史B 2	2	
		社会科学	法政学A 2 治政学B 2 商教論B 2 育理学A 2	2	経済学A 2 経済学B 2 社会論A 2 教育・課程論B 2	2	日経社地文A 2 本教育史B 2 本教育史B 2 本教育史B 2	2	政商治政学A 2 政商治政学B 2 政商治政学B 2 政商治政学B 2	2	
		自然科学	地球科学入門A 2 自然科学入門B 2 地球環境学A 2 文化と教育A 2	2	新しい地球観A 2 自然科学と人間B 2 生命・健康と医療A 2 現代を生きるB 2	2	文化人類学A 2 ミクロの生物科学B 2 国際化と日本A 2 アカデミックスキルズゼミI 2	2	文化人類学B 2 マクロの生物科学B 2 [科学・技術・情報と社会] 2 福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか 2	2	
		総合科目	福大生のためのキャリアデザインA 2 データサイエンス・AI入門A 2	2	アカデミックスキルズゼミI 2	2	アカデミックスキルズゼミII 2	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか 2	2	
	教育科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次			
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
	科目	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI 1 ※フレッシュマン・イングリッシュII 1 ※フレッシュマン・イングリッシュIII 1 ※フレッシュマン・イングリッシュIV 1	1	※インターメディアイト・イングリッシュI 1 ※インターメディアイト・イングリッシュII 1	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII 1 ※インターメディアイト・イングリッシュIV 1 アドバンス・イングリッシュI 1 アドバンス・イングリッシュII 1	1		
			第2	△ドイツ語I A 2 △ドイツ語II A 2 △フランス語I A 2 △フランス語II A 2 △中国語I A 2 △中国語II A 2 △ロシア語I A 2 △ロシア語II A 2 △スペイン語I A 2 △スペイン語II A 2 △朝鮮語I A 2 △朝鮮語II A 2	2	海外英語研修II 2 ドイツ語II 2 フランス語II 2 中国語II 2 ロシア語II 2	2				
		保健体育科目	※生涯スポーツ演習I 1 ※生涯スポーツ演習II 1	1							
		単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目								
工学共通科目		必修科目	微積分I 2 微積分II 2 行列と行列式I 2 行列と行列式II 2 力学実学A 2 力学実学B 2	2	物理学実験C 2 物理学実験D 2	2					
		小計	14	4							
		選択科目	力物化図学A 2 力物化図学B 2 力物化図学I 2	2	統微分積分III 2 統微分積分IV 2 関数論 2	2	数理統計I 2 数理統計II 2 数理統計D 2 物基礎防災学 2	2			
		小計	8	8							
専門教育科目		必修科目	工業力学I 2 技術者リテラシーI 1	2	材料力学I 2 材料力学II 2 流体工学 2 工業熱力学I 2 工業熱力学II 2 機械制御工学I 2 機械制御工学II 2 金属材料力学I 2 金属材料力学II 2 機械工学実習 1	2	材料試験 1 材料要素設計I 2 材料力学・制御実験 1	2	流体工学実験 1 熱工学実験 1	1	
			小計	3	24						
	選択科目	機械工作法 2 機構情報処理入門 2	2	機械制御工学II 2 機械工学設計演習 1 計測工学II 2 材料力学II 4 [技術者リテラシーII] 1	2	固体力学I 2 固体力学II 2 工作機械 2 流体熱工学I 2 流体熱工学II 2 伝熱工学I 2 伝熱工学II 2 ヒートポンプ・空調工学II 2 機械要素設計II 2 機械制御工学III 2 ロボット工学II 2 機械力学II 2 △機械工学設計演習B 1 △機械工学設計演習C 1 △機械工学設計演習D 1 △機械工学設計演習E 1 工業経営分析 2 数値解析 2 熱エネルギー変換工学 2 [トイボロジ] 2 複合材料学 2 機械情報処理論 2 電気工学通論 2 電子工学通論 2 化学工学通論 2 [技術者リテラシーIII] 1 機械総合工学 2	2	卒業論文 6	6		
		小計	6	10							
		合計	9	34							

(注) (1) △印の機械工学設計演習は5科目中、3科目以上修得すること。  
(2) [ ]内は今年度休講。

令和3年度入学生 (21台)

工学部 機械工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本文学A 2 西アジアの文学A 2 芸術学A 2	2	哲学B 2 倫理学B 2 日本文学B 2 西アジアの文学B 2 芸術学B 2	2	論理学A 2 宗教学A 2 東洋文学A 2 日本文学A 2 本邦文化学A 2	2	論理学B 2 宗教学B 2 東洋文学B 2 日本文学B 2 本邦文化学B 2	2
		社会科学	政治学A 2 法政学A 2 商学A 2 教育論A 2	2	経済学A 2 経社論A 2 教育の原理・課程論A 2 心身学A 2	2	文化人類学A 2 社会学A 2 社会心理学A 2 心理学A 2	2	政治学A 2 商学A 2 教育論A 2 文化人類学B 2	2
		自然科学	地球科学入門A 2 自然科学入門B 2 地球環境教育C 2 文化と教育D 2	2	新しい地球観測科学と人間生活E 2 生命・健康と医療F 2 現代を生きるG 2 アカデミックスキルズゼミI 2	2	微生物学H 2 国際化と日本I 2	2	マクロの生物科学J 2 [科学・技術・情報と社会]K 2 福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶかL 2	2
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI 1 ※フレッシュマン・イングリッシュII 1 ※フレッシュマン・イングリッシュIII 1 ※フレッシュマン・イングリッシュIV 1	1	※インターメディアト・イングリッシュI 1 ※インターメディアト・イングリッシュII 1	1	※インターメディアト・イングリッシュIII 1 ※インターメディアト・イングリッシュIV 1 アドバンスト・イングリッシュI 1 アドバンスト・イングリッシュII 1	1		
		第2	△[ドイツ語I A 2 △[ドイツ語II B 2 △[フランス語I A 2 △[フランス語II B 2 △[中国語I A 2 △[中国語II B 2 △[ロシア語I A 2 △[ロシア語II B 2 △[スペイン語I A 2 △[スペイン語II B 2 △[朝鮮語I A 2 △[朝鮮語II B 2	2	海外英語研修II 2 ドイツ語II 2 フランス語II 2 ロシア語II 2 中国語II 2	2				
	保健体育科目	※生涯スポーツ演習I 1 ※生涯スポーツ演習II 1	1							
	単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目								
	工学共通科目	必修科目	微分積分I 2 微分積分II 2 微分積分III 2 微分積分IV 2 行列と行列式A 2 行列と行列式B 2 力学実学A 2	2	物理学C 2 物理学実験 2	2				
		小計	14		4					
		選択科目	力学B 2 物理学A 2 物理学B 2 図学I 2	2	統微積分 2 統微積分 2 関数 2	2	数理統計I 2 数理統計II 2 数理統計III 2 数理統計IV 2 基礎防災学 2	2		
小計		8		8						
専門教育科目	必修科目	工業力学I 2 技術者リテラシーI 1	2	材料力学I 4 流体力学I 2 工業熱力学I 2 機械制御工学I 2 機械制御工学II 2 金属材料学I 2 金属材料学II 2 機械工作実習 2	24	材料要素試験 1 機械力学・制御実験 1	2	流体工学実験 1 熱工学実験 1	2	
	小計	3		24		4		2		
	選択科目	機械工作法 2 機械情報処理入門 2	2	機械制御工学II 2 △機械工学設計演習学A 1 計測工学学II 2 [技術者リテラシーII] 4	10	固体力学I 2 固体力学II 2 工作機械学I 2 工作機械学II 2 流体熱工学I 2 流体熱工学II 2 伝熱工学II 2 ヒートポンプ・空調工学II 2 機械要素設計II 2 機械制御工学III 2 ロボット工学II 2 機械力学II 2 △機械工学設計演習B 1 △機械工学設計演習C 1 △機械工学設計演習D 1 △機械工学設計演習E 1 工業経営 2 数値解析 2 熱エネルギー変換工学 2 [トロボロジ] 2 機械材料学 2 複合材料学 2 機械情報処理論 2 電気工学 2 電子工学 2 [技術者リテラシーIII] 1 機械流体力学 2 総合工業論 2	55	卒業論文 6	6	
	小計	6		10		55		6		
合計	9		34		59		8			

(注) (1) △印の機械工学設計演習は5科目中、3科目以上修得すること。  
(2) [ ]内は今年度休講。

令和2年度入学生 (20台)

工学部 機械工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合教養科目	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2	
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2	
		本史A	2	本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2	
		西文A	2	西文B	2	日本文学A	2	日本文学B	2	
		アジアの文学A	2	アジアの文学B	2	日本文学A	2	日本文学B	2	
	社会科学	芸術学A	2	芸術学B	2	日本教育史	2	西洋教育史	2	
		政治学A	2	経済学A	2	日本国憲	2	政治学A	2	
		商学B	2	社会学A	2	経済学B	2	商学B	2	
		教育論B	2	教育の原理・課程論	2	社会学B	2	教育論A	2	
		心理学A	2	心理学B	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2	
自然科学	地球科学入門	2	新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2		
	自然科学入門	2	自然科学と人間	2	自然地理学	2				
総合系列科目	地球環境	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	[科学・技術・情報と社会]	2		
学修基礎科目	文化と教育	2	現代を生きる	2						
	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2		
教育	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
科目	外国語科目	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1			アドバンス・イングリッシュⅠ	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1			アドバンス・イングリッシュⅡ	1			
				海外英語研修	2					
	第2	△[ドイツ語ⅠA]	2	ドイツ語Ⅱ	2					
		△[ドイツ語ⅠB]	2	フランス語Ⅱ	2					
		△[フランス語ⅠA]	2	中国語Ⅱ	2					
		△[フランス語ⅠB]	2	ロシア語Ⅱ	2					
		△[中国語ⅠA]	2	朝鮮語Ⅱ	2					
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1								
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1								
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目									
工学共通科目	必修科目	微分積分Ⅰ	2	物理学C	2					
		微分積分Ⅱ	2	物理学実験	2					
		行列と行列式Ⅰ	2							
		行列と行列式Ⅱ	2							
		力学実験	2							
小計	14									
選択科目	必修科目	物理学B	2	統計Ⅰ	2	数理統計Ⅰ	2			
		物理学A	2	統計Ⅱ	2	数理統計Ⅱ	2			
小計	必修科目	物理学B	2	統計Ⅲ	2	物理基礎	2			
		物理学I	2	統計Ⅳ	2	防災学	2			
小計	8									
小計	22									
専門教育科目	必修科目	工業力学Ⅰ	2	材料力学Ⅰ	4	材料試験	1	流体工学実験	1	
		技術者リテラシーⅠ	1	流体力学Ⅰ	2	機械要素設計Ⅰ	1	熱工学実験	1	
				流体力学Ⅱ	2	機械力学・制御実験	1			
				工業熱力学Ⅰ	2					
				工業熱力学Ⅱ	2					
	選択科目	必修科目	機械制御工学Ⅰ	2	機械加工法	2				
			機械制御工学Ⅱ	2	機械制御工学Ⅰ	2				
			金属材料学Ⅰ	2	機械制御工学Ⅱ	2				
			金属材料学Ⅱ	2	金属材料学Ⅰ	2				
			機械工学Ⅱ	2	金属材料学Ⅱ	2				
小計	3		24							
選択科目	必修科目	機械工作法	2	機械制御工学Ⅱ	2	固体力学Ⅰ	2	卒業論文	6	
		機構情報処理入門	2	△機械工学設計演習A	1	固体力学Ⅱ	2			
				計測工学Ⅱ	2	タボ機械	2			
				材料力学Ⅱ	4	工作機械	2			
				[技術者リテラシーⅡ]	1	流体力学Ⅰ	2			
						流体力学Ⅱ	2			
						伝熱工学Ⅰ	2			
						伝熱工学Ⅱ	2			
						蒸気工学Ⅱ	2			
						機械要素設計Ⅱ	2			
				機械制御工学Ⅲ	2					
				ロボット工学	2					
				機械力学Ⅱ	2					
				△機械工学設計演習B	1					
				△機械工学設計演習C	1					
				△機械工学設計演習D	1					
				△機械工学設計演習E	1					
				工業経営	2					
				数値解析	2					
				内燃機	2					
				[トライボロジー]	2					
				機械材料学	2					
				複合材料学	2					
				機械情報処理論	2					
				電気工学通論	2					
				電子工学通論	2					
				化学工学通論	2					
				[技術者リテラシーⅢ]	1					
				流体機械論	2					
				流総合工業論	2					
小計	6		10		55		6			
計	9		34		59		8			

(注) (1) △印の機械工学設計演習は5科目中、3科目以上修得すること。  
(2) [ ]内は今年度休講。



平成31年度入学生 (19台)

工学部 機械工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 年 次																			
		授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位												
共 通 教 育	総合教養科目	人文科学	哲学A 2	哲学B 2	論理学A 2	論理学B 2	宗教学A 2	宗教学B 2	東洋史A 2	東洋史B 2	日本文学A 2	日本文学B 2	西アジアの文学A 2	西アジアの文学B 2	芸術学A 2	芸術学B 2	日本教育史 2	西洋教育史 2			
		社会科学	政治学A 2	政治学B 2	経済学A 2	経済学B 2	日経社会学A 2	日経社会学B 2	社会学A 2	社会学B 2	文化人類学A 2	文化人類学B 2	マクロの生物科学 2	マクロの生物科学 2	地球圏科学入門 2	地球圏科学入門 2	自然環境文化と教育 2	自然環境文化と教育 2			
		自然科学	地球圏科学入門 2	地球圏科学入門 2	自然環境文化と教育 2	自然環境文化と教育 2	福大生のためのキャリアデザイン 2	福大生のためのキャリアデザイン 2	アカデミックスキルズゼミⅠ 2	アカデミックスキルズゼミⅠ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか 2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか 2							
		総合系列科目 学修基礎科目																			
	外 国 語 科 目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ 1	アドバンス・イングリッシュⅠ 1	アドバンス・イングリッシュⅡ 1									
			海外英語研修 2																		
		第2	△[ドイツ語ⅠA 2]	△[ドイツ語ⅠB 2]	△[フランス語ⅠA 2]	△[フランス語ⅠB 2]	△[中国語ⅠA 2]	△[中国語ⅠB 2]	△[ロシア語ⅠA 2]	△[ロシア語ⅠB 2]	△[スペイン語ⅠA 2]	△[スペイン語ⅠB 2]	△[朝鮮語ⅠA 2]	△[朝鮮語ⅠB 2]							
			保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1	※生涯スポーツ演習Ⅱ 1																
			単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目																	
			工 学 共 通 科 目	必修科目	微分積分Ⅰ 2	微分積分Ⅱ 2	行列と行列式Ⅰ 2	行列と行列式Ⅱ 2	物理学Ⅰ 2	物理学Ⅱ 2	物理学Ⅲ 2	物理学Ⅳ 2									
文化実学Ⅰ 2	文化実学Ⅱ 2																				
小計	14					4															
選択科目	物理学Ⅰ 2	物理学Ⅱ 2		物理学Ⅲ 2	物理学Ⅳ 2	基礎防災学Ⅰ 2	基礎防災学Ⅱ 2														
小計	8				8																
計	22				12				8												
専 門 教 育 科 目	必修科目	工業力学Ⅰ 2	工業力学Ⅱ 1	材料力学Ⅰ 4	材料力学Ⅱ 2	流体力学Ⅰ 2	流体力学Ⅱ 2	工業熱力学Ⅰ 2	工業熱力学Ⅱ 2	機械加工法Ⅰ 2	機械加工法Ⅱ 2	機械制御工学Ⅰ 1	機械制御工学Ⅱ 1	金属材料学Ⅰ 2	金属材料学Ⅱ 2	工業力学Ⅰ 2	工業力学Ⅱ 2	材料力学Ⅰ 2	材料力学Ⅱ 2		
		技術者リテラシーⅠ 1																			
	小計	3				24				4											
	選択科目	機械工学Ⅰ 2	機械工学Ⅱ 2	△機械工学設計演習Ⅰ 2	△機械工学設計演習Ⅱ 2	計測工学Ⅰ 2	計測工学Ⅱ 2	材料力学Ⅰ 4	材料力学Ⅱ 1	工業経営学Ⅰ 2	工業経営学Ⅱ 2	数値解析Ⅰ 2	数値解析Ⅱ 2	燃工Ⅰ 2	燃工Ⅱ 2	[トライボロジー] 2	機械材料学Ⅰ 2	機械材料学Ⅱ 2	機械情報処理Ⅰ 2	機械情報処理Ⅱ 2	
		情報処理入門 2																			
小計	6				10				55												
計	9				34				59												

(注) (1) △印の機械工学設計演習は5科目中、3科目以上修得すること。  
(2) [ ] 内は今年度休講。

平成30年度入学生 (18台)

工学部 機械工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2	哲学B 2	論理科学A 2	論理科学B 2	宗東日西中芸史学A 2	宗東日西中芸史学B 2	論理科学A 2	論理科学B 2
		社会科学	政治学A 2	経済学A 2	日本教育史A 2	日本教育史B 2	西日西中芸史学A 2	西日西中芸史学B 2	政治学A 2	政治学B 2
		自然科学	地球科学入門A 2	新しい地球観A 2	ミクロの生物科学A 2	マクロの生物科学A 2	地球科学入門B 2	新しい地球観B 2	ミクロの生物科学B 2	マクロの生物科学B 2
		総合系列科目	地球環境学A 2	生命・健康と医療A 2	国際化と日本A 2	(科学・技術・情報と社会)A 2	地球環境学B 2	生命・健康と医療B 2	国際化と日本B 2	(科学・技術・情報と社会)B 2
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI 1	※インターメディア・イングリッシュI 1	※インターメディア・イングリッシュIII 1	※インターメディア・イングリッシュIV 1	※フレッシュマン・イングリッシュII 1	※インターメディア・イングリッシュII 1	アドバンスト・イングリッシュI 1	アドバンスト・イングリッシュII 1
		第2	△[ドイ ツ語IA 2	海外英語研修II 2			△[ドイ ツ語IB 2	海外英語研修II 2		
	保健体育科目	単位互換科目	他大学(短期大学を含む)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目							
		単位互換科目	他大学(短期大学を含む)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目							
	工学共通科目	必修科目	微分積分I 2	物理学C 2			微分積分II 2	物理学実験 2		
		小計	14	4			14	4		
選択科目		力学B 2	統計III 2	数理統計I 2	数理統計II 2	力学A 2	統計IV 2	数理統計D 2	基礎防災学 2	
小計		8	8	8	8	8	8	8	8	
専門教育科目	必修科目	機械工学基礎演習I 1	材料力学I 2	材料力学II 2	材料力学III 2	機械要素設計実験 1	材料力学IV 2	材料力学V 2	流体工学実験 1	
	小計	4	24	4	4	1	4	4	1	
	選択科目	機械工学設計演習I 2	機械制御工学II 2	固体力学I 2	流体工学I 2	卒業論文 3	機械工学設計演習II 2	固体力学II 2	流体工学II 2	
	小計	6	10	53	3	6	10	53	3	
計		10	34	57	5	10	34	57	5	

(注) (1) △印の機械工学設計演習は5科目中、3科目以上を修得すること。  
(2) [ ] 内は今年度休講。

平成29年度入学生 (17台)

工学部 機械工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 年 次								
		授 業 科 目		単 位	授 業 科 目		単 位	授 業 科 目		単 位
共 通 教 育 科 目	総合教養科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2
			倫理科学A	2	倫理科学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
		西史A	2	西史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2	
		西中法文A	2	西中法文B	2	日本文学A	2	日本文学B	2	
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	社会学A	2	社会学B	2	
		法政商学A	2	法政商学B	2	経済学A	2	経済学B	2	
	自然科学	地球科学A	2	地球科学B	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2	
		自然科学A	2	自然科学B	2	国際化と日本	2	国際化と日本	2	
	総合系列科目	地球環境文化と教育	2	生命・健康と医療	2	現代を生きる	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	
	学修基礎科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ福岡大学でいかに学ぶか	2	
外国語科目	第 1 年次		第 2 年次		第 3 年次		第 4 年次			
	授 業 科 目		授 業 科 目		授 業 科 目		授 業 科 目			
工 学 共 通 科 目	第 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1			
	第 2	△ドイツ語ⅠA	2	海外英語研修Ⅱ	2	アドバンスト・イングリッシュⅠ	1			
		△ドイツ語ⅠB	2	ドイツ語ⅡⅡ	2	アドバンスト・イングリッシュⅡ	1			
		△フランス語ⅠA	2	フランス語ⅡⅡ	2					
		△フランス語ⅠB	2	中国語ⅡⅡ	2					
		△中国語ⅠA	2	ロシア語ⅡⅡ	2					
		△中国語ⅠB	2	シベリア語ⅡⅡ	2					
		△ロシア語ⅠA	2	朝鮮語ⅡⅡ	2					
		△ロシア語ⅠB	2							
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1								
単位互換科目	※生涯スポーツ演習Ⅱ 1									
工 学 共 通 科 目	必修科目	微積分Ⅰ	2	物理学C	2					
		微積分Ⅱ	2	物理学実験	2					
	小計	微積分Ⅲ	2							
		微積分Ⅳ	2							
	選択科目	物理学A	2	統計Ⅲ	2	数理統計Ⅰ	2			
		物理学B	2	微積分Ⅲ	2	数理統計Ⅱ	2			
	小計	物理学C	2	微積分Ⅳ	2	数理統計Ⅲ	2			
		物理学D	2	関数	2	基礎防災学	2			
	小計	8	8	8	8	8	8	8		
	専 門 教 育 科 目	必修科目	機械工学基礎演習Ⅰ	1	材料力学Ⅰ	2	材料試験Ⅰ	1	流体工学実験Ⅰ	1
機械工学基礎演習Ⅱ			1	材料力学Ⅱ	2	材料試験Ⅱ	1	流体工学実験Ⅱ	1	
小計		機械工学基礎演習Ⅲ	1	材料力学Ⅲ	2					
		機械工学基礎演習Ⅳ	1	材料力学Ⅳ	2					
選択科目		機械工学基礎演習Ⅴ	1	材料力学Ⅴ	2					
		機械工学基礎演習Ⅵ	1	材料力学Ⅵ	2					
小計		機械工学基礎演習Ⅶ	1	材料力学Ⅶ	2					
		機械工学基礎演習Ⅷ	1	材料力学Ⅷ	2					
小計		機械工学基礎演習Ⅸ	1	材料力学Ⅸ	2					
		機械工学基礎演習Ⅹ	1	材料力学Ⅹ	2					
小計	6	10	53	3						
小計	10	34	57	5						

(注) (1) △印の機械工学設計演習は5科目中、3科目以上を修得すること。  
(2) [ ] 内は今年度休講。

令和6年度入学生(24台)

工学部 電気工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本文学史A 2 西洋史A 2 アジアの文学A 2 芸術A 2	哲学B 2 倫理学B 2 日本文学史B 2 西洋史B 2 アジアの文学B 2 芸術B 2	論理学A 2 宗教学A 2 宗東日本文学A 2 日本文学A 2 西日本文学A 2 本教育史A 2	論理学B 2 宗教学B 2 宗東日本文学B 2 日本文学B 2 西日本文学B 2 本教育史B 2	政治学A 2 政商学A 2 教育論A 2 地育理A 2 文化人類学A 2	政治学B 2 政商学B 2 教育論B 2 地育理B 2 文化人類学B 2	政治学C 2 政商学C 2 教育論C 2 地育理C 2 文化人類学C 2	
		社会科学	法政学A 2 治商学B 2 教心育理A 2	法政学B 2 治商学B 2 教心育理A 2	日本国憲法 2 経済学A 2 社社会学A 2 教育の原理・課程論 2 心理学B 2	日本国憲法 2 経済学B 2 社社会学B 2 教育の原理・課程論 2 心理学B 2	文化人類学A 2 文化人類学B 2 文化人類学C 2	文化人類学A 2 文化人類学B 2 文化人類学C 2	文化人類学A 2 文化人類学B 2 文化人類学C 2	
		自然科学	地球圏科学入門 2 自然科学入門 2	新しい地球観 2 自然科学と人間 2	ミクロの生物科学 2 自然地理学 2	ミクロの生物科学 2 自然地理学 2	ミクロの生物科学 2 自然地理学 2	ミクロの生物科学 2 自然地理学 2	ミクロの生物科学 2 自然地理学 2	ミクロの生物科学 2 自然地理学 2
		総合系列科目	福岡大学で考える現代社会 2	アカデミックスキルズゼミⅠ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	アカデミックスキルズゼミⅢ 2	アカデミックスキルズゼミⅣ 2	アカデミックスキルズゼミⅤ 2	アカデミックスキルズゼミⅥ 2	アカデミックスキルズゼミⅦ 2
	学修基礎科目	福大生のためのキャリアデザイン データサイエンス・AI入門 2	アカデミックスキルズゼミⅠ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	アカデミックスキルズゼミⅢ 2	アカデミックスキルズゼミⅣ 2	アカデミックスキルズゼミⅤ 2	アカデミックスキルズゼミⅥ 2	アカデミックスキルズゼミⅦ 2	
			第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	※インターメディアエト・イングリッシュⅠ 1 ※インターメディアエト・イングリッシュⅡ 1	※インターメディアエト・イングリッシュⅢ 1 ※インターメディアエト・イングリッシュⅣ 1 アドバンスト・イングリッシュⅠ 1 アドバンスト・イングリッシュⅡ 1					
			△ドイツ語ⅠA 2 △ドイツ語ⅠB 2 △フランス語ⅠA 2 △フランス語ⅠB 2 △中国語ⅠA 2 △中国語ⅠB 2 △ロシア語ⅠA 2 △ロシア語ⅠB 2 △スペイン語ⅠA 2 △スペイン語ⅠB 2 △朝鮮語ⅠA 2 △朝鮮語ⅠB 2	海外英語研修 2 ドイツ語Ⅱ 2 フランス語Ⅱ 2 中国語Ⅱ 2 ロシア語Ⅱ 2 スペイン語Ⅱ 2						
			保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1 ※生涯スポーツ演習Ⅱ 1						
単位互換科目			他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目							
工学共通科目		必修科目	微分積分Ⅰ 2 微分積分Ⅱ 2 線形代数Ⅰ 2 線形代数Ⅱ 2 力学A 2 力学B 2 物理学実験 2							
			小計	14						
		選択科目	化学A 2 化学B 2 化学I 2	統計学実験A 2 統計学実験B 2 統計学実験C 2 微分積分Ⅲ 2 微分積分Ⅳ 2 関関力 2	基礎防災学 2					
			小計	6	16	2				
小計		20	16	2						
専門教育科目		必修科目	電気磁気学Ⅰ 2 電気磁気学Ⅱ 2 電気回路Ⅰ 2 電気回路Ⅱ 2 電気回路Ⅲ 2 電気回路Ⅳ 2 電気計測Ⅰ 2 電気計測Ⅱ 2 電気物性論Ⅰ 2 電気物性論Ⅱ 2 電気機器Ⅰ 2 電気機器Ⅱ 2 電気基礎実験Ⅰ 2 電気基礎実験Ⅱ 2	電気磁気学Ⅲ 2 電気磁気学Ⅳ 2 電気回路Ⅲ 2 電気回路Ⅳ 2 電気計測Ⅰ 2 電気計測Ⅱ 2 電気物性論Ⅰ 2 電気物性論Ⅱ 2 電気機器Ⅰ 2 電気機器Ⅱ 2 電気基礎実験Ⅰ 2 電気基礎実験Ⅱ 2	発変電工学Ⅰ 2 発変電工学Ⅱ 2 制御工学Ⅰ 2 制御工学Ⅱ 2 電力伝送工学Ⅰ 2 電力伝送工学Ⅱ 2 電気材料Ⅰ 2 電気材料Ⅱ 2 パワーエレクトロニクスⅠ 2 パワーエレクトロニクスⅡ 2 デジタル制御工学 2	卒業論文 3				
	小計		11	24	22	3				
	選択科目		コンピュータ基礎Ⅰ 2 コンピュータ基礎Ⅱ 2	情報処理Ⅰ 2 情報処理Ⅱ 2 電子回路Ⅰ 2 電子回路Ⅱ 2	高電圧工学 2 照明電熱工学 2 通信工学 2 数値解析 2 プログラム技法 2 電子工学Ⅰ 2 電子工学Ⅱ 2 電気法規及び施設管理 2 応用電気化学大意 2 ○電気工学実験Ⅰ 2 ○電気工学実験Ⅱ 2 総合工業論 2	電力システム工学 2 システム工学 2 電気機器設計学 2 電気設計製図 2 ○電気工学実験Ⅲ 2 技術者倫理・安全管理 2				
			小計	4	8	24	12			
小計	15	32	46	15						

(注) ○印の電気工学実験は3科目中、2科目以上を修得すること。

令和5年度入学生 (23台)

工学部 電気工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本文学史A 2 西洋史A 2 アジアの文学A 2 芸術A 2	哲学B 2 倫理学B 2 日本文学史B 2 西洋史B 2 アジアの文学B 2 芸術B 2	論理学A 2 宗教学A 2 宗東日本文学A 2 日本文学A 2 西日本文学A 2 日本教育史A 2	論理学B 2 宗教学B 2 宗東日本文学B 2 日本文学B 2 西日本文学B 2 西洋教育史A 2	政治学A 2 政治学B 2 商教論A 2 教育論A 2 地文化人類学A 2 地文化人類学B 2	政治学A 2 政治学B 2 商教論A 2 教育論A 2 地文化人類学A 2 地文化人類学B 2	政治学A 2 政治学B 2 商教論A 2 教育論A 2 地文化人類学A 2 地文化人類学B 2
		社会科学	法政学A 2 政治学B 2 政商学B 2 教心育理学A 2	法政学B 2 政治学A 2 経済社会学A 2 社会教育の原理・課程論B 2 心理学B 2	日本国憲法 2 経済社会学B 2 経社社会学B 2 地文化人類学A 2 文化人類学A 2	日本国憲法 2 経済社会学B 2 経社社会学B 2 地文化人類学A 2 文化人類学A 2	政治学A 2 政治学B 2 商教論A 2 教育論A 2 地文化人類学A 2 地文化人類学B 2	政治学A 2 政治学B 2 商教論A 2 教育論A 2 地文化人類学A 2 地文化人類学B 2	政治学A 2 政治学B 2 商教論A 2 教育論A 2 地文化人類学A 2 地文化人類学B 2
		自然科学	地球圏科学入門 2 自然科学入門 2	新しい地球観 2 新しい地球観と人間 2	ミクロの生物科学 2 自然地理学 2	ミクロの生物科学 2 自然地理学 2	ミクロの生物科学 2 自然地理学 2	ミクロの生物科学 2 自然地理学 2	ミクロの生物科学 2 自然地理学 2
		総合系列科目	福岡大学で考える現代社会 2						
	学修基礎科目	福大生のためのキャリアデザイン データサイエンス・AI入門 2	アカデミックスキルズゼミⅠ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか 2				
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ 1 ※インターメディアイト・イングリッシュⅡ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ 1 ※インターメディアイト・イングリッシュⅣ 1 アドバンスト・イングリッシュⅠ 1 アドバンスト・イングリッシュⅡ 1				
		第2	△[ドイ ツ 語ⅠA 2 ドイ ツ 語ⅠB 2 フ ラ ン ス 語ⅠA 2 フ ラ ン ス 語ⅠB 2 △[中 国 語ⅠA 2 中 国 語ⅠB 2 △[ロ シ ア 語ⅠA 2 ロ シ ア 語ⅠB 2 △[ス ペ イ ン 語ⅠA 2 ス ペ イ ン 語ⅠB 2 △[朝 鮮 語ⅠA 2 朝 鮮 語ⅠB 2	海 外 英 語 研 修 2 ドイ ツ 語Ⅱ 2 フ ラ ン ス 語Ⅱ 2 中 国 語Ⅱ 2 ロ シ ア 語Ⅱ 2 ス ペ イ ン 語Ⅱ 2 朝 鮮 語Ⅱ 2					
	保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1 ※生涯スポーツ演習Ⅱ 1							
	単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目							
	工学共通科目	必修科目	微分積分Ⅰ 2 微分積分Ⅱ 2 行列と行列式Ⅰ 2 行列と行列式Ⅱ 2 力学A 2 力学B 2 物理学実験 2						
小計		14							
選択科目		化学A 2 化学B 2 化図学Ⅰ 2	統計学実験A 2 統計学実験B 2 微分積分Ⅲ 2 微分積分Ⅳ 2 関数論学C 2	基礎防災学 2					
小計		6	16	2					
専門教育科目	必修科目	電気磁気学Ⅰ 2 電気磁気学Ⅱ 2 電気回路Ⅰ 2 電気回路Ⅱ 2 電気基礎工学Ⅰ 1 電気基礎工学Ⅱ 1	電気磁気学Ⅲ 2 電気磁気学Ⅳ 2 電気回路Ⅲ 2 電気回路Ⅳ 2 電気計測Ⅰ 2 電気計測Ⅱ 2 電気物性論Ⅰ 2 電気物性論Ⅱ 2 電気機器Ⅰ 2 電気機器Ⅱ 2 電気基礎実験Ⅰ 2 電気基礎実験Ⅱ 2	発変電工学Ⅰ 2 発変電工学Ⅱ 2 制御工学Ⅰ 2 制御工学Ⅱ 2 電力伝送工学Ⅰ 2 電力伝送工学Ⅱ 2 電気材料Ⅰ 2 電気材料Ⅱ 2 パワーエレクトロニクスⅠ 2 パワーエレクトロニクスⅡ 2 デジタル制御工学 2	卒業論文 3				
	小計	11	24	22	3				
	選択科目	コンピュータ基礎Ⅰ 2 コンピュータ基礎Ⅱ 2	情報処理Ⅰ 2 情報処理Ⅱ 2 電子回路Ⅰ 2 電子回路Ⅱ 2	高電圧工学 2 照明電熱工学 2 通信工学 2 数値解析 2 プログラム技法 2 電子工学Ⅰ 2 電子工学Ⅱ 2 電気法規及び施設管理 2 応用電気化学大意 2 ○電気工学実験Ⅰ 2 ○電気工学実験Ⅱ 2 総合工業論 2	電力システム工学 2 システム工学 2 電気機器設計学 2 電気設計製図 2 ○電気工学実験Ⅲ 2 技術者倫理・安全管理 2				
	小計	4	8	24	12				
計	15	32	46	15					

(注) ○印の電気工学実験は3科目中、2科目以上を修得すること。

令和4年度入学生(22台)

工学部 電気工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本文学A 2 西洋史A 2 アジアの文学A 2 芸術学A 2	哲学B 2 倫理学B 2 日本文学B 2 西洋史B 2 アジアの文学B 2 芸術学B 2	論理学A 2 宗教学A 2 東洋史A 2 日本文学A 2 西日本文学A 2 本邦教育史A 2	論理学B 2 宗教学B 2 東洋史B 2 日本文学B 2 西日本文学B 2 本邦教育史B 2	政治学A 2 政治学B 2 商学A 2 教育論A 2 地学A 2 文化人類学A 2	政治学B 2 商学B 2 教育論B 2 地学B 2 文化人類学B 2 マクロの生物科学 2	
		社会科学	法政学A 2 政治学B 2 政商学B 2 教育論A 2 心育学A 2	法政学B 2 経済学A 2 社会学A 2 教育の原理・課程論A 2 心理学B 2	日本国憲法 2 経済学B 2 社会学B 2 地文化人類学A 2 文化人類学A 2	政治学A 2 商学A 2 教育論A 2 地学A 2 文化人類学A 2 マクロの生物科学 2	政治学B 2 商学B 2 教育論B 2 地学B 2 文化人類学B 2 マクロの生物科学 2		
		自然科学	地球圏科学入門 2 自然科学入門 2 地球環境 2 文化と教育 2	新しい地球観 2 自然科学と人間 2 生命・健康と医療 2 現代を生きる 2	ミクロの生物科学 2 自然地理学 2 国際化と日本 2	マクロの生物科学 2 マクロの生物科学 2 国際化と日本 2			
		総合系列科目	福大生のためのキャリアデザイン データサイエンス・AI入門 2	アカデミックスキルズゼミⅠ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか 2			
	学修基礎科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ 1 ※インターメディアイト・イングリッシュⅡ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ 1 ※インターメディアイト・イングリッシュⅣ 1 アドバンスト・イングリッシュⅠ 1 アドバンスト・イングリッシュⅡ 1				
			第2	△ドイツ語ⅠA 2 △ドイツ語ⅠB 2 △フランス語ⅠA 2 △フランス語ⅠB 2 △中国語ⅠA 2 △中国語ⅠB 2 △ロシア語ⅠA 2 △ロシア語ⅠB 2 △スペイン語ⅠA 2 △スペイン語ⅠB 2 △朝鮮語ⅠA 2 △朝鮮語ⅠB 2	海外英語研修 2 ドイツ語Ⅱ 2 フランス語Ⅱ 2 中国語Ⅱ 2 ロシア語Ⅱ 2 朝鮮語Ⅱ 2				
				保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1 ※生涯スポーツ演習Ⅱ 1				
				単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目				
工学共通科目		必修科目		微分積分Ⅰ 2 微分積分Ⅱ 2 行列と行列式Ⅰ 2 行列と行列式Ⅱ 2 力学A 2 力学B 2 物理学実験 2					
				小計	14				
		選択科目		化学A 2 化学B 2 化学Ⅰ 2	統計学実験A 2 統計学実験B 2 微分積分Ⅲ 2 微分積分Ⅳ 2 関数論 2 力学C 2	基礎防災学 2			
			小計	6	16	2			
小計		20	16	2					
専門教育科目		必修科目	電気磁気学Ⅰ 2 電気磁気学Ⅱ 2 電気回路Ⅰ 2 電気回路Ⅱ 2 電気基礎工学Ⅰ 1 電気基礎工学Ⅱ 1	電気磁気学Ⅲ 2 電気磁気学Ⅳ 2 電気回路Ⅲ 2 電気回路Ⅳ 2 電気計測Ⅰ 2 電気計測Ⅱ 2 電気物性論Ⅰ 2 電気物性論Ⅱ 2 電気機器Ⅰ 2 電気機器Ⅱ 2 電気基礎実験Ⅰ 2 電気基礎実験Ⅱ 2	発変電工学Ⅰ 2 発変電工学Ⅱ 2 制御工学Ⅰ 2 制御工学Ⅱ 2 電力伝送工学Ⅰ 2 電力伝送工学Ⅱ 2 電気材料Ⅰ 2 電気材料Ⅱ 2 パワーエレクトロニクスⅠ 2 パワーエレクトロニクスⅡ 2 デジタル制御工学 2	卒業論文 3			
	小計		11	24	22	3			
	選択科目	コンピュータ基礎Ⅰ 2 コンピュータ基礎Ⅱ 2	情報処理Ⅰ 2 情報処理Ⅱ 2 電子回路Ⅰ 2 電子回路Ⅱ 2	高電圧工学 2 照明電熱工学 2 通信工学 2 数値解析 2 プログラム技法 2 電子工学Ⅰ 2 電子工学Ⅱ 2 電気法規及び施設管理 2 応用電気化学大意 2 ○電気工学実験Ⅰ 2 ○電気工学実験Ⅱ 2 総合工業論 2	電力システム工学 2 システム工学 2 電気機器設計学 2 電気設計製図 2 ○電気工学実験Ⅲ 2 技術者倫理・安全管理 2				
		小計	4	8	24	12			
小計	15	32	46	15					

(注) ○印の電気工学実験は3科目中、2科目以上を修得すること。

令和3年度入学生 (21台)

工学部 電気工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 年 次																		
		授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位											
共 通 教 育	総合 教 養 科 目	人文科学	哲学A 2	倫理学A 2	西史A 2	洋史A 2	アジアの文学A 2	哲学B 2	倫理学B 2	西史B 2	洋史B 2	アジアの文学B 2	論理学A 2	宗教学A 2	東洋史A 2	日本文学A 2	西文学A 2	西洋教育史 2		
		社会科学	法政学A 2	政治学B 2	商学B 2	教心学B 2	育理学A 2	法政学B 2	政治学B 2	商学A 2	教育論A 2	教育論B 2	文化人類学A 2	文化人類学B 2	日本国憲法 2	経済学B 2	社会学B 2	地理学A 2	文化人類学B 2	
		自然科学	地球科学入門 2	自然科学入門 2	地球環境 2	文化と教育 2	新しい地球観 2	自然科学と人間 2	生命・健康と医療 2	現代を生きる 2	ミクロの生物科学 2	自然地理学 2	国際化と日本 2	マクロの生物科学 2						
		総合系列科目	地球科学入門 2	自然科学入門 2	地球環境 2	文化と教育 2	新しい地球観 2	自然科学と人間 2	生命・健康と医療 2	現代を生きる 2	ミクロの生物科学 2	自然地理学 2	国際化と日本 2	マクロの生物科学 2						
	学修基礎科目	福大生のためのキャリアデザイン 2	アカデミックスキルズゼミⅠ 2							アカデミックスキルズゼミⅡ 2				福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか 2						
			第 1 年 次		第 2 年 次		第 3 年 次		第 4 年 次											
			授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位										
	育 科 目	外国 語 科 目	第 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ 1	アドバンスト・イングリッシュⅠ 1	アドバンスト・イングリッシュⅡ 1							
			第 2	△ドイツ語ⅠA 2	△ドイツ語ⅠB 2	△フランス語ⅠA 2	△フランス語ⅠB 2	△中国語ⅠA 2	△中国語ⅠB 2	△ロシア語ⅠA 2	△ロシア語ⅠB 2	△スペイン語ⅠA 2	△スペイン語ⅠB 2	△朝鮮語ⅠA 2	△朝鮮語ⅠB 2					
		保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1	※生涯スポーツ演習Ⅱ 1																
	単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目																		
工 学 共 通 科 目	必修 科 目	微分積分Ⅰ 2	微分積分Ⅱ 2	行列と行列式Ⅰ 2	行列と行列式Ⅱ 2	力学Ⅰ 2	力学Ⅱ 2	物理学Ⅰ 2	物理学Ⅱ 2											
		小計	6	14																
	選択 科 目	化学Ⅰ 2	化学Ⅱ 2	図学Ⅰ 2	図学Ⅱ 2	統計学Ⅰ 2	統計学Ⅱ 2	物理学Ⅰ 2	物理学Ⅱ 2	微分積分Ⅲ 2	微分積分Ⅳ 2	関数論Ⅰ 2	関数論Ⅱ 2	基礎防災学 2						
	小計	6	16	16	16	2	2													
専 門 教 育 科 目	必修 科 目	電気磁気学Ⅰ 2	電気磁気学Ⅱ 2	電気回路Ⅰ 2	電気回路Ⅱ 2	電気回路Ⅲ 2	電気回路Ⅳ 2	電気計測Ⅰ 2	電気計測Ⅱ 2	電気物性論Ⅰ 2	電気物性論Ⅱ 2	電気機器Ⅰ 2	電気機器Ⅱ 2	電気基礎実験Ⅰ 2	電気基礎実験Ⅱ 2	卒業論文 3				
		小計	11	24	24	22	3													
	選択 科 目	コンピュータ基礎Ⅰ 2	コンピュータ基礎Ⅱ 2	情報処理Ⅰ 2	情報処理Ⅱ 2	電子回路Ⅰ 2	電子回路Ⅱ 2	高電圧工学 2	照明電熱工学 2	通信工学 2	数値解析 2	プログラム技法 2	電子工学Ⅰ 2	電子工学Ⅱ 2	電気法規及び施設管理 2	応用電気化学大意 2	○電気工学実験Ⅰ 2	○電気工学実験Ⅱ 2	総合工業論 2	
	小計	4	8	24	24	12	15													
	小計	15	32	46	15															

(注) ○印の電気工学実験は3科目中、2科目以上を修得すること。

令和2年度入学生 (20台)

工学部 電気工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次										
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位			
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本文学史A 2 西洋史A 2 アジアの文学A 2 芸術A 2	哲学B 2 倫理学B 2 日本文学史B 2 西洋史B 2 アジアの文学B 2 芸術B 2	論理学A 2 宗教学A 2 宗東洋史A 2 日本文学A 2 西日本文学A 2 本洋教育史A 2	論理学B 2 宗教学B 2 宗東洋史B 2 日本文学B 2 西日本文学B 2 本洋教育史B 2	政治学A 2 政治学B 2 商教諭A 2 教育論A 2 心育理A 2 教育の原理・課程論A 2	政治学A 2 政治学B 2 商教諭A 2 教育論A 2 心育理A 2 教育の原理・課程論A 2	政治学A 2 政治学B 2 商教諭A 2 教育論A 2 心育理A 2 教育の原理・課程論A 2	政治学A 2 政治学B 2 商教諭A 2 教育論A 2 心育理A 2 教育の原理・課程論A 2		
		社会科学	法政学A 2 政治学B 2 政商学B 2 教心育理A 2	法政学B 2 政治学A 2 経済学A 2 社会学A 2 教育の原理・課程論B 2 心育理B 2	日本国憲法 2 経済学B 2 経社学B 2 社会学A 2 文化人類学A 2 文化人類学A 2	日本国憲法 2 経済学B 2 経社学B 2 社会学A 2 文化人類学A 2 文化人類学A 2	政治学A 2 政治学B 2 商教諭A 2 教育論A 2 心育理A 2 教育の原理・課程論A 2	政治学A 2 政治学B 2 商教諭A 2 教育論A 2 心育理A 2 教育の原理・課程論A 2	政治学A 2 政治学B 2 商教諭A 2 教育論A 2 心育理A 2 教育の原理・課程論A 2	政治学A 2 政治学B 2 商教諭A 2 教育論A 2 心育理A 2 教育の原理・課程論A 2		
	自然科学	地球圏科学入門 2 自然科学入門 2 地球環境 2 文化と教育 2	新しい地球観 2 自然科学と人間 2 生命・健康と医療 2 現代を生きる 2	ミクロの生物科学 2 自然地理学 2 国際化と日本 2	ミクロの生物科学 2 自然地理学 2 国際化と日本 2	マクロの生物科学 2 マクロの生物科学 2 国際化と日本 2 国際化と日本 2	マクロの生物科学 2 マクロの生物科学 2 国際化と日本 2 国際化と日本 2	マクロの生物科学 2 マクロの生物科学 2 国際化と日本 2 国際化と日本 2	マクロの生物科学 2 マクロの生物科学 2 国際化と日本 2 国際化と日本 2	マクロの生物科学 2 マクロの生物科学 2 国際化と日本 2 国際化と日本 2	マクロの生物科学 2 マクロの生物科学 2 国際化と日本 2 国際化と日本 2	
	総合系列科目	文化と教育 2	現代を生きる 2	国際化と日本 2	国際化と日本 2	国際化と日本 2	国際化と日本 2	国際化と日本 2	国際化と日本 2	国際化と日本 2	国際化と日本 2	
	学修基礎科目	福大生のためのキャリアデザイン 2	アカデミックスキルズゼミⅠ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	
			第1年次		第2年次		第3年次		第4年次			
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
	育外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	※インターメディアエト・イングリッシュⅠ 1 ※インターメディアエト・イングリッシュⅡ 1	※インターメディアエト・イングリッシュⅢ 1 ※インターメディアエト・イングリッシュⅣ 1 アドバンスト・イングリッシュⅠ 1 アドバンスト・イングリッシュⅡ 1							
			海外英語研修 2									
		第2	△[ドイ ツ 語Ⅰ A 2 ドイ ツ 語Ⅰ B 2 フ ラ ン ス 語Ⅰ A 2 フ ラ ン ス 語Ⅰ B 2 △[中 国 語Ⅰ A 2 中 国 語Ⅰ B 2 △[ロ シ ア 語Ⅰ A 2 ロ シ ア 語Ⅰ B 2 △[ス ペ イ ン 語Ⅰ A 2 ス ペ イ ン 語Ⅰ B 2 △[朝 鮮 語Ⅰ A 2 朝 鮮 語Ⅰ B 2	ドイ ツ 語Ⅱ 2 フ ラ ン ス 語Ⅱ 2 中 国 語Ⅱ 2 ロ シ ア 語Ⅱ 2 ス ペ イ ン 語Ⅱ 2 朝 鮮 語Ⅱ 2								
保健体育科目			※生涯スポーツ演習Ⅰ 1 ※生涯スポーツ演習Ⅱ 1									
単位互換科目			他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目									
工学共通科目			必修科目	微分積分Ⅰ 2 微分積分Ⅱ 2 行列と行列式Ⅰ 2 行列と行列式Ⅱ 2 力学A 2 力学B 2 物理実験 2								
				小計 14								
			選択科目	化学A 2 化学B 2 化学Ⅰ 2	統計学実験A 2 統計学実験B 2 微分積分Ⅲ 2 微分積分Ⅳ 2 関数論学C 2	基礎防災学 2						
				小計 6	16	2						
小計 20			16		2							
専門教育科目	必修科目	電気磁気学Ⅰ 2 電気磁気学Ⅱ 2 電気回路Ⅰ 2 電気回路Ⅱ 2 電気基礎工学Ⅰ 1 電気基礎工学Ⅱ 1	電気磁気学Ⅲ 2 電気磁気学Ⅳ 2 電気回路Ⅲ 2 電気回路Ⅳ 2 電気計測Ⅰ 2 電気計測Ⅱ 2 電気物性論Ⅰ 2 電気物性論Ⅱ 2 電気機器Ⅰ 2 電気機器Ⅱ 2 電気基礎実験Ⅰ 2 電気基礎実験Ⅱ 2	発変電工学Ⅰ 2 発変電工学Ⅱ 2 制御工学Ⅰ 2 制御工学Ⅱ 2 電力伝送工学Ⅰ 2 電力伝送工学Ⅱ 2 電気材料Ⅰ 2 電気材料Ⅱ 2 パワーエレクトロニクスⅠ 2 パワーエレクトロニクスⅡ 2 デジタル制御工学 2	卒業論文 3							
		小計 11	24	22	3							
		選択科目	コンピュータ基礎Ⅰ 2 コンピュータ基礎Ⅱ 2	情報処理Ⅰ 2 情報処理Ⅱ 2 電子回路Ⅰ 2 電子回路Ⅱ 2	高電圧工学 2 照明電熱工学 2 通信工学 2 数値解析 2 プログラム技法 2 電子工学Ⅰ 2 電子工学Ⅱ 2 電気法規及び施設管理 2 応用電気化学大意 2 ○電気工学実験Ⅰ 2 ○電気工学実験Ⅱ 2 総合工業論 2	電力システム工学 2 システム工学 2 電気機器設計学 2 電気設計製図 2 ○電気工学実験Ⅲ 2 技術者倫理・安全管理 2						
			小計 4	8	24	12						
		小計 15		32		46		15				

(注) ○印の電気工学実験は3科目中、2科目以上を修得すること。



平成31年度入学生 (19台)

工学部 電気工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 年 次								
		授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	
共 通 教 育	総合 教 養 科 目	人文 科 学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
			倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
			日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
			西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
			アジアの文学A	2	アジアの文学B	2	西本文学A	2	西本文学B	2
	社会 科 学	法学A	2	法学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2	
		政治学B	2	経済学A	2	社会学B	2	商学A	2	
		政商学B	2	社会学A	2	社会学B	2	教育論A	2	
		教育論B	2	教育の原理・課程論	2	心理学A	2	心理学B	2	
		教育心理学A	2	心理	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2	
自然 科 学	地球圏科学入門	2	新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2		
	自然科学入門	2	自然科学と人間	2	自然地理学	2				
	地球環境	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	[科学・技術・情報と社会]	2		
	文化と教育	2	現代を生きる	2						
学修 基 礎 科 目	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2		
教 育 科 目	第 1	第 1 年次		第 2 年次		第 3 年次		第 4 年次		
		授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	
	第 2	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1			アドバンスト・イングリッシュⅠ	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1			アドバンスト・イングリッシュⅡ	1			
		△[ドイッ語ⅠA]	2	海外英語研修	2					
		△[ドイッ語ⅠB]	2	ドイツ語Ⅱ	2					
		△[フランス語ⅠA]	2	フランス語Ⅱ	2					
		△[フランス語ⅠB]	2	中国語Ⅱ	2					
△[中国語ⅠA]	2	ロシア語Ⅱ	2							
△[中国語ⅠB]	2	朝鮮語Ⅱ	2							
△[ロシア語ⅠA]	2									
△[ロシア語ⅠB]	2									
△[スペイン語ⅠA]	2									
△[スペイン語ⅠB]	2									
△[朝鮮語ⅠA]	2									
△[朝鮮語ⅠB]	2									
保健 体 育 科 目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1								
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1								
単 位 互 換 科 目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目									
工 学 共 通 科 目	必 修 科 目	微分積分Ⅰ	2							
		微分積分Ⅱ	2							
		行列と行列式Ⅰ	2							
		行列と行列式Ⅱ	2							
		力学Ⅰ	2							
小計		14								
選 択 科 目	選 択 科 目	化学Ⅰ	2	統計学Ⅰ	2	基礎防災学	2			
		化学Ⅱ	2	化学実験Ⅰ	2					
		化学Ⅲ	2	化学実験Ⅱ	2					
		化学Ⅳ	2	微分積分Ⅲ	2					
		化学Ⅴ	2	微分積分Ⅳ	2					
小計		6		16		2				
小計		20		16		2				
専 門 教 育 科 目	必 修 科 目	電気磁気学Ⅰ	2	電気磁気学Ⅲ	2	発変電工学Ⅰ	2	卒 業 論 文	3	
		電気磁気学Ⅱ	2	電気磁気学Ⅳ	2	発変電工学Ⅱ	2			
		電気回路Ⅰ	2	電気回路Ⅲ	2	制御工学Ⅰ	2			
		電気回路Ⅱ	2	電気回路Ⅳ	2	制御工学Ⅱ	2			
		電気基礎Ⅰ	1	電気計測Ⅰ	2	電力伝送工学Ⅰ	2			
	電気基礎Ⅱ	1	電気計測Ⅱ	2	電力伝送工学Ⅱ	2				
			電気物性論Ⅰ	2	電気材料Ⅰ	2				
			電気物性論Ⅱ	2	電気材料Ⅱ	2				
			電気機器Ⅰ	2	パワーエレクトロニクスⅠ	2				
			電気機器Ⅱ	2	パワーエレクトロニクスⅡ	2				
		電気基礎実験Ⅱ	2	デジタル制御工学	2					
小計		11		24		22		3		
選 択 科 目	選 択 科 目	コンピュータ基礎Ⅰ	2	情報処理Ⅰ	2	高電圧工学	2	電力システム工学	2	
		コンピュータ基礎Ⅱ	2	情報処理Ⅱ	2	照明電熱工学	2	システム工学	2	
				電子回路Ⅰ	2	通信工学	2	電気機器設計学	2	
				電子回路Ⅱ	2	数値解析	2	電気設計製図	2	
						プログラム技法	2	○電気工学実験Ⅲ	2	
				電子工学Ⅰ	2	技術者倫理・安全管理	2			
				電子工学Ⅱ	2					
				電気法規及び施設管理	2					
				応用電気化学大意	2					
				○電気工学実験Ⅰ	2					
				○電気工学実験Ⅱ	2					
				総合工業論	2					
小計		4		8		24		12		
小計		15		32		46		15		

(注) ○印の電気工学実験は3科目中、2科目以上を修得すること。

平成30年度入学生 (18台)

工学部 電気工学科

\*印は必修  
△印は選択必修

		第 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 年 次																			
		授 業 科 目				単 位	授 業 科 目				単 位	授 業 科 目				単 位	授 業 科 目				単 位
共 通 教 育 科 目	総合教養科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2	
			倫理	学A	2	倫理	学B	2	宗教	学A	2	宗教	学B	2	宗教	学A	2	宗教	学B	2	
			西史	学A	2	西史	学B	2	東洋	学A	2	東洋	学B	2	東洋	学A	2	東洋	学B	2	
			西文	学A	2	西文	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2	
			中芸	学A	2	中芸	学B	2	西文	学A	2	西文	学B	2	西洋	学A	2	西洋	学B	2	
	社会科学	法政	学A	2	法政	学B	2	日経	学A	2	日経	学B	2	政治	学A	2	政治	学B	2		
		商治	学B	2	経済	学A	2	社会	学B	2	教育	学A	2	商教	学A	2	商教	学B	2		
		商心	学B	2	社教	学A	2	地文	学B	2	文化	学A	2	地文	学A	2	地文	学B	2		
		教育	学B	2	心育	学A	2	理人	学A	2	類学	学A	2	教育	学A	2	教育	学B	2		
		心論	学A	2	育原	学B	2	学論	学A	2	学論	学B	2	文化	学A	2	文化	学B	2		
自然科学	地球	学A	2	新し	学B	2	ミク	学A	2	マク	学B	2	地球	学A	2	地球	学B	2			
	自然	学A	2	しい	学B	2	ロの	学A	2	クロ	学B	2	自然	学A	2	自然	学B	2			
	環境	学A	2	地球	学B	2	生物	学A	2	科学	学B	2	環境	学A	2	環境	学B	2			
	地球	学A	2	観	学B	2	学	学A	2	学	学B	2	地球	学A	2	地球	学B	2			
	文化	学A	2	と	学B	2	自	学A	2	理	学B	2	地球	学A	2	地球	学B	2			
学修基盤科目	福大	学A	2	アカ	学B	2	アカ	学A	2	アカ	学B	2	福大	学A	2	福大	学B	2			
	生大	学A	2	カデ	学B	2	カデ	学A	2	カデ	学B	2	生大	学A	2	生大	学B	2			
	の	学A	2	ミ	学B	2	ミ	学A	2	ミ	学B	2	の	学A	2	の	学B	2			
	の	学A	2	ゼ	学B	2	ゼ	学A	2	ゼ	学B	2	の	学A	2	の	学B	2			
	の	学A	2	ミ	学B	2	ミ	学A	2	ミ	学B	2	の	学A	2	の	学B	2			
外 国 語 科 目	第1	※フ	1	※イ	1	※イ	1														
		レ	1	ン	1	ン	1														
		シ	1	ユ	1	ユ	1														
		ユ	1	ウ	1	ウ	1														
		ウ	1	ク	1	ク	1														
	第2	△ド	2	△ド	2	△ド	2														
		△イ	2	△イ	2	△イ	2														
		△フ	2	△フ	2	△フ	2														
		△中	2	△中	2	△中	2														
		△ロ	2	△ロ	2	△ロ	2														
保健体育科目	※生	1	※生	1																	
	涯	1	涯	1																	
	ス	1	ス	1																	
	ポ	1	ポ	1																	
	ー	1	ー	1																	
工 学 共 通 科 目	必修科目	微分	2	微分	2																
		積分	2	積分	2																
		行列	2	行列	2																
		力	2	力	2																
		物	2	物	2																
専 門 教 育 科 目	必修科目	電	2	電	2	電	2	電	2	卒	3										
		気	2	気	2	気	2	気	2	業											
		磁	2	磁	2	磁	2	磁	2	論											
		回	2	回	2	回	2	回	2	文											
		路	2	路	2	路	2	路	2												

(注) ○印の電気工学実験は3科目中、2科目以上を修得すること。

平成29年度入学生 (17台)

工学部 電気工学科

\*印は必修  
△印は選択必修

		第 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 年 次								
		授 業 科 目		単 位	授 業 科 目		単 位	授 業 科 目		単 位
共 通 教 育	総合教養科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
			理学A	2	理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
			西洋史A	2	西洋史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
			国文学A	2	国文学B	2	本邦文学A	2	本邦文学B	2
			西中芸学A	2	西中芸学B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2	
		法政商学B	2	経済社会学A	2	日経社会学B	2	政商学A	2	
		商教心理学B	2	社教心理学A	2	地文化人類学A	2	教心理学A	2	
		教育心理学A	2	社教心理学B	2	地文化人類学B	2	教心理学B	2	
		地球圏科学入門	2	新しい地球観	2	ミクロの生物学	2	マクロの生物学	2	
自然科学	自然科学入門	2	新しい地球観	2	ミクロの生物学	2	マクロの生物学	2		
	地球環境	2	生命・健康と医療	2	自然地理学	2				
	地球環境と教育	2	現代を生きる	2	国際化と日本	2	[科学・技術・情報と社会]	2		
	文化と教育	2	現代を生きる	2						
	学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミI	2	アカデミックスキルズゼミII	2	福岡大学学ふ・福岡大学でいかに学ぶか	2	
教 育	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次			
	授業科目		授業科目		授業科目		授業科目			
	第1	*フレッシュマン・イングリッシュI	1	*インターミディエイト・イングリッシュI	1	*インターミディエイト・イングリッシュIII	1			
		*フレッシュマン・イングリッシュII	1	*インターミディエイト・イングリッシュII	1	*インターミディエイト・イングリッシュIV	1			
	第2	△[ドイ ツ語 I A	2	海外英語研修	2	アドバンスト・イングリッシュI	1			
		△[イイ ツ語 I B	2			アドバンスト・イングリッシュII	1			
		△[フラ ス語 I A	2							
		△[フラ ス語 I B	2							
		△[中 国語 I A	2							
		△[中 国語 I B	2							
△[ロ シア語 I A		2								
△[ロ シア語 I B		2								
保健体育科目	*生涯スポーツ演習I	1								
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目									
工 学 共 通 科 目	必修科目	微分積分I	2							
		微分積分II	2							
		行列と行列式I	2							
		行列と行列式II	2							
		力学実験	2							
小計		14								
選 択 科 目	学A	化学	2	統計学実験	2	基礎防災学	2			
		学B	化学物理解	2						
		学I	微積分	2						
			微積分	2						
			微積分	2						
小計		6		16		2				
計		20		16		2				
専 門 教 育 科 目	必修科目	電気学I	2	電気学III	2	発変電工学I	2	卒業論文	3	
		磁気学II	2	電気学IV	2	発変電工学II	2			
		磁気回路I	2	電気回路III	2	制御工学I	2			
		磁気回路II	2	電気回路IV	2	制御工学II	2			
		電気工学入門I	1	電気計測I	2	電力伝送工学I	2			
電気工学入門II		1	電気計測II	2	電力伝送工学II	2				
			電気物性論I	2	電気材料I	2				
			電気物性論II	2	電気材料II	2				
			電気機器I	2	パワーエレクトロニクスI	2				
			電気機器II	2	パワーエレクトロニクスII	2				
		電気基礎実験I	2	デジタル制御工学	2					
小計		11		24		22		3		
選 択 科 目	コンピュータ基礎I	情報電子	2	処回路理I	2	高電圧工学	2	電力システム工学	2	
		情報電子	2	処回路理II	2	照明熱工学	2	システム工学	2	
				処回路理I	2	通信工学	2	電気機器設計	2	
				処回路理II	2	数値解析	2	電気設計製図	2	
						プログラム技法	2	○電気工学実験III	2	
小計		4		8		22		12		
計		15		32		44		15		

(注) ○印の電気工学実験は3科目中、2科目以上を修得すること。

令和6年度入学生(24台)

工学部 電子情報工学科

\*印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次									
		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目			
		単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位		
共通教育	総合教養科目	人文科学	哲学A 2	倫理学B 2	論理学A 2	宗教学B 2	西洋史A 2	東洋史B 2	国文学A 2	政治学B 2	
		社会科学	歴史A 2	西洋史B 2	東洋史A 2	国文学B 2	政治学A 2	宗教学A 2	倫理学B 2	教育学A 2	
		自然科学	地学A 2	自然科学入門 2	新しき地球観 2	ミクロの生物学 2	マクロの生物学 2	マクロの生物学 2	マクロの生物学 2	マクロの生物学 2	マクロの生物学 2
		総合系科目	福岡大学で考える現代社会 2	アカデミックスキルズゼミⅠ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	福岡大学冬学ふ・福岡大学でいっしょふか 2					
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ 1	アドバンスト・イングリッシュⅠ 1	アドバンスト・イングリッシュⅡ 1		
		第2	海外英語研修 2	海外英語研修 2	海外英語研修 2	海外英語研修 2	海外英語研修 2	海外英語研修 2	海外英語研修 2		
			△[ト] イタリヤ語Ⅰ 2	△[ト] フランス語Ⅰ 2	△[中] 中国語Ⅰ 2	△[ロ] ロシア語Ⅰ 2	△[ス] スペイン語Ⅰ 2	△[朝] 朝鮮語Ⅰ 2			
			△[ト] イタリヤ語Ⅱ 2	△[ト] フランス語Ⅱ 2	△[中] 中国語Ⅱ 2	△[ロ] ロシア語Ⅱ 2	△[ス] スペイン語Ⅱ 2	△[朝] 朝鮮語Ⅱ 2			
			△[ト] イタリヤ語Ⅲ 2	△[ト] フランス語Ⅲ 2	△[中] 中国語Ⅲ 2	△[ロ] ロシア語Ⅲ 2	△[ス] スペイン語Ⅲ 2	△[朝] 朝鮮語Ⅲ 2			
			△[ト] イタリヤ語Ⅳ 2	△[ト] フランス語Ⅳ 2	△[中] 中国語Ⅳ 2	△[ロ] ロシア語Ⅳ 2	△[ス] スペイン語Ⅳ 2	△[朝] 朝鮮語Ⅳ 2			
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1	※生涯スポーツ演習Ⅱ 1									
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目										
工学共通科目	必修科目	微分積分Ⅰ 2	微分積分Ⅱ 2	微分積分Ⅲ 2	微分積分Ⅳ 2	微分積分Ⅴ 2	微分積分Ⅵ 2	微分積分Ⅶ 2	微分積分Ⅷ 2	微分積分Ⅷ 2	
	選択科目	図学Ⅰ 2	化学Ⅰ 2	物理Ⅰ 2	力学Ⅰ 2	基礎防炎学Ⅰ 2	基礎防炎学Ⅱ 2	基礎防炎学Ⅲ 2	基礎防炎学Ⅳ 2	基礎防炎学Ⅳ 2	
	小計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	専門教育科目	必修科目	電子情報工学特別演習Ⅰ 1	電子情報工学特別演習Ⅱ 1	電子情報工学特別演習Ⅲ 1	電子情報工学特別演習Ⅳ 1	電子情報工学特別演習Ⅴ 1	電子情報工学特別演習Ⅵ 1	電子情報工学特別演習Ⅶ 1	電子情報工学特別演習Ⅷ 1	電子情報工学特別演習Ⅷ 1
		情報システムコース	データベースシステムⅠ 2	データベースシステムⅡ 2	データベースシステムⅢ 2	データベースシステムⅣ 2	データベースシステムⅤ 2	データベースシステムⅥ 2	データベースシステムⅦ 2	データベースシステムⅧ 2	データベースシステムⅧ 2
		小計	12	12	12	12	12	12	12	12	12
		選択科目	△数値計算Ⅰ 2	△制御工学Ⅰ 2	△計測工学Ⅰ 2	△制御工学Ⅱ 2	△計測工学Ⅱ 2	△制御工学Ⅲ 2	△計測工学Ⅲ 2	△制御工学Ⅳ 2	△計測工学Ⅳ 2
		小計	8	8	8	8	8	8	8	8	8
		電子通信コース	電子系のための情報処理Ⅰ 2	電子系のための情報処理Ⅱ 2	電子系のための情報処理Ⅲ 2	電子系のための情報処理Ⅳ 2	電子系のための情報処理Ⅴ 2	電子系のための情報処理Ⅵ 2	電子系のための情報処理Ⅶ 2	電子系のための情報処理Ⅷ 2	電子系のための情報処理Ⅷ 2
		情報コース	データベースシステムⅠ 2	データベースシステムⅡ 2	データベースシステムⅢ 2	データベースシステムⅣ 2	データベースシステムⅤ 2	データベースシステムⅥ 2	データベースシステムⅦ 2	データベースシステムⅧ 2	データベースシステムⅧ 2
小計		15	15	15	15	15	15	15	15	15	
選択科目		△画像処理Ⅰ 2	△画像処理Ⅱ 2	△画像処理Ⅲ 2	△画像処理Ⅳ 2	△画像処理Ⅴ 2	△画像処理Ⅵ 2	△画像処理Ⅶ 2	△画像処理Ⅷ 2	△画像処理Ⅷ 2	
小計		8	8	8	8	8	8	8	8	8	

(注) (1) 電子通信コースの学生は選択科目(全コース共通)及び選択科目(電子通信コース)の△印の科目のうち20単位以上修得すること。  
 (2) 情報コースの学生は選択科目(全コース共通)及び選択科目(情報コース)の△印のうち1科目以上修得すること。  
 (3) 情報システムの学生は選択科目(全コース共通)及び選択科目(情報システムコース)の△印のうち2科目以上修得すること。  
 (4) 情報システムコースの学生は選択科目(情報システムコース)の△印のうち2科目以上修得すること。

令和5年度入学生 (23台)

工学部 電子情報工学科

\*印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次																	
		授業科目			授業科目			授業科目			授業科目								
共通教育	総合教養科目	哲学	倫理	学A	2	哲学	倫理	学B	2	論	宗	理	学A	2	論	宗	理	学B	2
		日西	本	史A	2	日西	本	史B	2	東	日	本	史A	2	東	日	本	史B	2
外国語科目	第1	学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	学A	2
		学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	学A	2
保健体育科目	単位互換科目	学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	学A	2
		学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	学A	2
工学共通科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目																	
		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目																	
専門教育科目	必修科目	微分積分	2	微分積分	2	微分積分	2	微分積分	2	微分積分	2	微分積分	2	微分積分	2	微分積分	2	微分積分	2
		行列	2	行列	2	行列	2	行列	2	行列	2	行列	2	行列	2	行列	2	行列	2
	選択科目	図学	2	図学	2	図学	2	図学	2	図学	2	図学	2	図学	2	図学	2	図学	2
		小計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	必修科目	電子情報工学特別演習	1	電子情報工学特別演習	1	電子情報工学特別演習	1	電子情報工学特別演習	1	電子情報工学特別演習	1	電子情報工学特別演習	1	電子情報工学特別演習	1	電子情報工学特別演習	1	電子情報工学特別演習	1
		小計	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	選択科目	情報システムコース	4	情報システムコース	4	情報システムコース	4	情報システムコース	4	情報システムコース	4	情報システムコース	4	情報システムコース	4	情報システムコース	4	情報システムコース	4
		小計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	必修科目	電子通信コース	8	電子通信コース	8	電子通信コース	8	電子通信コース	8	電子通信コース	8	電子通信コース	8	電子通信コース	8	電子通信コース	8	電子通信コース	8
		小計	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
選択科目	情報システムコース	8	情報システムコース	8	情報システムコース	8	情報システムコース	8	情報システムコース	8	情報システムコース	8	情報システムコース	8	情報システムコース	8	情報システムコース	8	
	小計	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
必修科目	情報システムコース	8	情報システムコース	8	情報システムコース	8	情報システムコース	8	情報システムコース	8	情報システムコース	8	情報システムコース	8	情報システムコース	8	情報システムコース	8	
	小計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	

(注) (1) 電子通信コースの学生は選択科目（全コース共通）及び選択科目（電子通信コース）の△印の科目のうち20単位以上修得すること。  
 (2) 情報コースの学生は選択科目（全コース共通）及び選択科目（情報コース）の▲印のうち1科目以上修得すること。  
 (3) 情報コースの学生は選択科目（全コース共通）及び選択科目（情報コース）の4年次開講科目より6単位以上修得すること。  
 (4) 情報システムコースの学生は選択科目（情報システムコース）の△印のうち2科目以上修得すること。

令和4年度入学生(22台)

工学部 電子情報工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目			授業科目			授業科目			授業科目		
共通教育	総合教養科目	哲倫	理	学	哲倫	理	学	論	理	学	論	理	学
		A	A	A	B	B	B	A	A	A	B	B	B
外国語科目	第1	日西	日西	日西	日西	日西	日西	日西	日西	日西	日西	日西	日西
		A	A	A	B	B	B	A	A	A	B	B	B
保健体育科目	第2	地	自	自	新	し	い	地	球	観	ミ	ク	ロ
		A	A	A	自	命	・	健	康	と	医	学	理
単位互換科目	第1年次	授業科目			授業科目			授業科目			授業科目		
		単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目											
工学共通科目	必修科目	微分積分	行列	物理	積分	行列	式	積分	行列	式	積分	行列	式
	選択科目	図学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学
専門教育	必修科目	電子情報工学特別演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習
	選択科目	電子情報工学特別演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習	電子情報工学基礎演習
選択科目	電子通信コース	電子系のための情報処理	電子系のための情報処理	電子系のための情報処理	電子系のための情報処理	電子系のための情報処理	電子系のための情報処理	電子系のための情報処理	電子系のための情報処理	電子系のための情報処理	電子系のための情報処理	電子系のための情報処理	電子系のための情報処理
	情報コース	データベースシステム	データベースシステム	データベースシステム	データベースシステム	データベースシステム	データベースシステム	データベースシステム	データベースシステム	データベースシステム	データベースシステム	データベースシステム	データベースシステム

(注) (1) 電子通信コースの学生は選択科目(全コース共通)及び選択科目(電子通信コース)の△印の科目のうち20単位以上修得すること。  
 (2) 情報コースの学生は選択科目(全コース共通)及び選択科目(情報コース)の▲印のうち1科目以上修得すること。  
 (3) 情報コースの学生は選択科目(全コース共通)及び選択科目(情報コース)の4年次開講科目より6単位以上修得すること。  
 (4) 情報システムコースの学生は選択科目(情報システムコース)の△印のうち2科目以上修得すること。

令和3年度入学生 (21台)

工学部 電子情報工学科

\*印は必修  
△印は選択必修

Table with columns for subject categories (人文科学, 社会科学, 自然科学, 総合系科目, 学修基盤科目), years (第1-4年次), and specific subjects with unit counts. Includes sections for '共通教育' (General Education) and '専門教育' (Specialized Education).

(注) (1) 電子通信コースの学生は選択科目(全コース共通)及び選択科目(電子通信コース)の△印の科目のうち20単位以上修得すること。  
(2) 情報コースの学生は選択科目(全コース共通)及び選択科目(情報コース)の▲印のうち1科目以上修得すること。  
(3) 情報コースの学生は選択科目(全コース共通)及び選択科目(情報コース)の4年次開講科目より6単位以上修得すること。  
(4) 情報システムコースの学生は選択科目(情報システムコース)の△印のうち2科目以上修得すること。

令和2年度入学生(20台)

工学部 電子情報工学科

\*印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目			授業科目			授業科目			授業科目		
		単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	
共通教育	総合教養科目	人文科学	哲学A 2	哲学B 2	論理学A 2	論理学B 2	政治学A 2	政治学B 2	経済学A 2	経済学B 2	社会学A 2	社会学B 2	
		社会科学	歴史A 2	歴史B 2	東洋史A 2	東洋史B 2	西学A 2	西学B 2	文学A 2	文学B 2	芸術A 2	芸術B 2	
		自然科学	地学A 2	地学B 2	生物A 2	生物B 2	化学A 2	化学B 2	物理A 2	物理B 2	環境学A 2	環境学B 2	
		総合系科目	文化と教育 2	現代を生きる 2	アカデミックスキルズゼミI 2	アカデミックスキルズゼミII 2	福岡大学冬学・福岡大学での学び 2						
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI 1	※インターメディアイト・イングリッシュI 1	※インターメディアイト・イングリッシュII 1	※インターメディアイト・イングリッシュIII 1	※インターメディアイト・イングリッシュIV 1	アドバンスト・イングリッシュI 1	アドバンスト・イングリッシュII 1				
		第2	海外英語研修 2	英語I 2	英語II 2	英語III 2	英語IV 2						
			△「ト」イギリス 2	△「フ」フランス 2	△「中」中国語 2	△「ロ」ロシア語 2	△「ス」スペイン語 2	△「朝」韓国語 2					
			△「中」中国語 2	△「ロ」ロシア語 2	△「ス」スペイン語 2	△「朝」韓国語 2							
			△「ス」スペイン語 2	△「朝」韓国語 2									
			△「朝」韓国語 2										
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I 1	※生涯スポーツ演習II 1											
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目												
工学共通科目	必修科目	微分積分学I 2	微分積分学II 2	線形代数I 2	線形代数II 2	物理学I 2	物理学II 2	化学I 2	化学II 2	基礎防犯学 2	基礎防犯学II 2		
	選択科目	図学I 2	化学I 2	化学II 2	物理学I 2	物理学II 2	基礎防犯学 2	基礎防犯学II 2					
	小計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
	小計	16	12	12	6	6	6	6	6	6	6		
専門教育	必修科目	全コース共通	電気回路I 2	電気回路II 2	電子情報工学実験I 1	電子情報工学実験II 2	電子情報工学特別演習 1						
		専修コース	電子情報工学特論 2	電子回路I 2	電子回路II 2	電子回路III 2	電子回路IV 2	電子回路V 2	電子回路VI 2	電子回路VII 2	電子回路VIII 2		
		小計	12	7	2	2	2	2	2	2	2	2	
		情報コース	情報工学I 2	情報工学II 2	情報工学III 2	情報工学IV 2	情報工学V 2	情報工学VI 2	情報工学VII 2	情報工学VIII 2	情報工学IX 2	情報工学X 2	
	選択科目	情報システムコース	オートマトンと数理論 2	データ構造とアルゴリズムI 2	データ構造とアルゴリズムII 2	情報処理システム開発演習I 1	情報処理システム開発演習II 1	データベースシステム開発演習I 2	データベースシステム開発演習II 2	ネットワークシステム開発演習I 2	ネットワークシステム開発演習II 2	卒業論文 6	
		小計	12	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		全コース共通	△数値計算 2	△制御工学 2	△制御工学II 2	△制御工学III 2	△制御工学IV 2	△制御工学V 2	△制御工学VI 2	△制御工学VII 2	△制御工学VIII 2	△制御工学IX 2	
		小計	6	12	22	14	8	8	8	8	8	8	
		電子通信コース	△電子系のための情報処理 2	△集積回路プロセス 2	△通信工学I 2	△通信工学II 2	△通信工学III 2	△通信工学IV 2	△通信工学V 2	△通信工学VI 2	△通信工学VII 2	△通信工学VIII 2	△卒業論文 6
		小計	17	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
情報コース	オートマトンと数理論 2	データ構造とアルゴリズムII 2	データ構造とアルゴリズムIII 2	情報処理システム開発演習I 1	情報処理システム開発演習II 1	データベースシステム開発演習I 2	データベースシステム開発演習II 2	ネットワークシステム開発演習I 2	ネットワークシステム開発演習II 2	卒業論文 6			
小計	16	20	8	8	8	8	8	8	8	8			

(注) (1) 電子通信コースの学生は選択科目（全コース共通）及び選択科目（電子通信コース）の△印の科目のうち20単位以上修得すること。  
 (2) 情報コースの学生は選択科目（全コース共通）及び選択科目（情報コース）の▲印のうち1科目以上修得すること。  
 (3) 情報コースの学生は選択科目（全コース共通）及び選択科目（情報コース）の4年次開講科目より6単位以上修得すること。  
 (4) 情報システムコースの学生は選択科目（情報システムコース）の△印のうち2科目以上修得すること。



平成31年度入学生 (19台)

工学部 電子情報工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第 1 - 2 - 3 - 4 年 次																
		授 業 科 目				授 業 科 目				授 業 科 目				授 業 科 目				
		学	単	単	単	学	単	単	単	学	単	単	単	学	単	単	単	
共 通 教 育 科 目	総合教養科目	人文科学	哲学	2	歴史	2	論理	2	論理	2	論理	2	論理	2	論理	2	論理	2
		社会科学	政治	2	経済	2	政治	2	政治	2	政治	2	政治	2	政治	2	政治	2
		自然科学	地球	2	生命	2	地球	2	地球	2	地球	2	地球	2	地球	2	地球	2
		総合系科目	文化	2	現代	2	文化	2	文化	2	文化	2	文化	2	文化	2	文化	2
	外国語科目	第1	英語	1	英語	1	英語	1	英語	1	英語	1	英語	1	英語	1	英語	1
		第2	英語	2	英語	2	英語	2	英語	2	英語	2	英語	2	英語	2	英語	2
	保健体育科目	単位互換科目	体育	1	体育	1	体育	1	体育	1	体育	1	体育	1	体育	1	体育	1
		単位互換科目	単位互換	1	単位互換	1	単位互換	1	単位互換	1	単位互換	1	単位互換	1	単位互換	1	単位互換	1
	工 学 共 通 科 目	必修科目	微分	2	積分	2	微分	2	積分	2	微分	2	積分	2	微分	2	積分	2
		選択科目	図学	2	図学	2	図学	2	図学	2	図学	2	図学	2	図学	2	図学	2
小計			2		2		2		2		2		2		2		2	
必修科目		全コース共通	電気	2	回路	2	電気	2	回路	2	電子情報工学特別演習	1	電子情報工学特別演習	1	電子情報工学特別演習	1	電子情報工学特別演習	1
		専修コース	電子	2	回路	2	電子	2	回路	2	電子通信工学実験	2	電子通信工学実験	2	電子通信工学実験	2	電子通信工学実験	2
		情報コース	情報	2	システム	2	情報	2	システム	2	マイクログコンピュータ	4	マイクログコンピュータ	4	マイクログコンピュータ	4	マイクログコンピュータ	4
		小計		12		12		12		12		6		6		6		6
選択科目		電子通信コース	電子	2	回路	2	電子	2	回路	2	電子系のための情報処理	2	電子系のための情報処理	2	電子系のための情報処理	2	電子系のための情報処理	2
		情報コース	情報	2	システム	2	情報	2	システム	2	データベースシステム	2	データベースシステム	2	データベースシステム	2	データベースシステム	2
		小計		6		6		6		6		14		14		14		14
	電子通信コース	電子	2	回路	2	電子	2	回路	2	電子系のための情報処理	2	電子系のための情報処理	2	電子系のための情報処理	2	電子系のための情報処理	2	
情報コース	情報	2	システム	2	情報	2	システム	2	データベースシステム	2	データベースシステム	2	データベースシステム	2	データベースシステム	2	データベースシステム	2
	小計		17		17		17		17		28		28		28		28	
	専修コース	電子	2	回路	2	電子	2	回路	2	電子通信工学実験	2	電子通信工学実験	2	電子通信工学実験	2	電子通信工学実験	2	
	小計		16		16		16		16		20		20		20		20	
小計		10		10		10		10		8		8		8		8		

(注) (1) 電子通信コースの学生は選択科目 (全コース共通) 及び選択科目 (電子通信コース) の△印の科目のうち20単位以上修得すること。  
 (2) 情報コースの学生は選択科目 (全コース共通) 及び選択科目 (情報コース) の▲印のうち1科目以上修得すること。  
 (3) 情報コースの学生は選択科目 (全コース共通) 及び選択科目 (情報コース) の4年次開講科目より6単位以上修得すること。  
 (4) 情報システムコースの学生は選択科目 (情報システムコース) の△印のうち2科目以上修得すること。

平成30年度入学生 (18台)

工学部 電子情報工学科

※印は必修  
△印及び▲印は選択必修

		第1・2・3・4年次										
		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目				
		単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位			
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2	哲学B 2	論理学A 2	論理学B 2	東洋史A 2	東洋史B 2	政治学A 2	政治学B 2		
		社会科学	国文学A 2	国文学B 2	本邦文化A 2	本邦文化B 2	経済学A 2	経済学B 2	社会学A 2	社会学B 2		
		自然科学	地学A 2	地学B 2	環境学A 2	環境学B 2	物理学A 2	物理学B 2	化学A 2	化学B 2		
		総合系列科目	文化学A 2	文化学B 2	現代学A 2	現代学B 2	国際化A 2	国際化B 2	マクロの生物学 2	マクロの生物学 2		
	学修基礎科目	福大生のためのキャリアデザイン 2	アカデミックスキルズゼミ I 2	アカデミックスキルズゼミ II 2	アカデミックスキルズゼミ III 2	福開大学学術・福開大学でいかに学ぶか 2						
			第1年次		第2年次		第3年次		第4年次			
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI 1	※インターメディアイト・イングリッシュI 1	※インターメディアイト・イングリッシュII 1	※インターメディアイト・イングリッシュIII 1	※インターメディアイト・イングリッシュIV 1	アドバンスト・イングリッシュI 1	アドバンスト・イングリッシュII 1			
			△[ド] フラ イ ツ 語 I A 2	△[フ] ラ ン ス 語 I B 2	△[中] ロ 語 I A 2	△[中] ロ 語 I B 2	△[朝] シ ン ア 語 I A 2	△[朝] シ ン ア 語 I B 2	△[朝] シ ン ア 語 I A 2	△[朝] シ ン ア 語 I B 2		
		保健体育科目	※学生スポーツ演習II 1	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目								
単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目										
工学共通科目		必修科目	微分積分I 2	微分積分II 2	行列と行列式 2	物理実験 2						
			小計 14									
		選択科目	図学I 2	化学I 2	化学II 2	物理学I 2	物理学II 2	基礎防犯学 2	基礎防犯学 2	基礎防犯学 2	基礎防犯学 2	基礎防犯学 2
			小計 2	12								
		小計 16	12									
		専門教育科目	必修科目	全コース共通 電気回路I 2	電気回路II 2	電気回路III 2	電気回路IV 2	論理回路I 2	論理回路II 2	電子情報工学特別演習I 1	電子情報工学特別演習II 2	卒業論文I 2
	小計 12			7								
	情報システムコース		電通情報コース 電通情報I 2	電通情報II 2	電通情報III 2	電通情報IV 2	電子回路I 2	電子回路II 2	電子回路III 2	電子回路IV 2	工業数学実験 2	電子通信工学実験 2
			小計 12	12								
	情報システムコース		情報システムコース 情報システムI 2	情報システムII 2	情報システムIII 2	情報システムIV 2	計算機工学I 2	計算機工学II 2	計算機工学III 2	計算機工学IV 2	マイクログコンピュータ 2	オペレーティングシステム 2
小計 6			6									
情報システムコース	情報システムコース 情報システムI 2		情報システムII 2	情報システムIII 2	情報システムIV 2	オートマトンと数理論語II 2	オートマトンと数理論語III 2	オートマトンと数理論語IV 2	オートマトンと数理論語V 2	情報処理システム開発 2	マイクログコンピュータ 2	
	小計 12		12									
選択科目	全コース共通 △数値計算 2		△制御工学 2	△アナログ回路 2	△電子回路I 2	△電子回路II 2	△電子回路III 2	△電子回路IV 2	△電子回路V 2	△電子回路VI 2	△電子回路VII 2	
	小計 6		6									
電子通信コース	電子通信コース △電磁波理論 2	△電磁波理論II 2	△電磁波理論III 2	△電磁波理論IV 2	△電磁波理論V 2	△電磁波理論VI 2	△電磁波理論VII 2	△電磁波理論VIII 2	△電磁波理論IX 2	△電磁波理論X 2		
	小計 17	17										
情報システムコース	情報システムコース △オートマトンと数理論語I 2	△オートマトンと数理論語II 2	△オートマトンと数理論語III 2	△オートマトンと数理論語IV 2	△オートマトンと数理論語V 2	△オートマトンと数理論語VI 2	△オートマトンと数理論語VII 2	△オートマトンと数理論語VIII 2	△オートマトンと数理論語IX 2	△オートマトンと数理論語X 2		
	小計 16	16										
情報システムコース	情報システムコース △電通情報I 2	△電通情報II 2	△電通情報III 2	△電通情報IV 2	△電通情報V 2	△電通情報VI 2	△電通情報VII 2	△電通情報VIII 2	△電通情報IX 2	△電通情報X 2		
	小計 10	10										
小計	16		20		20		20		6			

(注) (1) 電子通信コースの学生は選択科目（全コース共通）及び選択科目（電子通信コース）の△印の科目のうち20単位以上修得すること。  
 (2) 情報システムコースの学生は選択科目（全コース共通）及び選択科目（情報システムコース）の▲印のうち1科目以上修得すること。  
 (3) 情報システムコースの学生は選択科目（全コース共通）及び選択科目（情報システムコース）の4年次開講科目より6単位以上修得すること。  
 (4) 情報システムコースの学生は選択科目（情報システムコース）の△印のうち2科目以上修得すること。

平成29年度入学生 (17台)

工学部 電子情報工学科

※印は必修  
△印及び▲印は選択必修

		第 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 年 次												
		授 業 科 目			授 業 科 目			授 業 科 目			授 業 科 目			
共 通 教 育 科 目	総合教養科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理学	学A	2	論理学	学B	2
		日本文学	学A	2	日本文学	学B	2	東洋文学	学A	2	東洋文学	学B	2	
		外国文学	学A	2	外国文学	学B	2	本邦文学	学A	2	本邦文学	学B	2	
		芸術	学A	2	芸術	学B	2	日本教育史	学A	2	日本教育史	学B	2	
		社会科学	法学	学A	2	法学	学B	2	経済学	学A	2	経済学	学B	2
		政治学	学A	2	政治学	学B	2	社会学	学A	2	社会学	学B	2	
		教育心理学	学A	2	教育心理学	学B	2	文化人類学	学A	2	文化人類学	学B	2	
		自然科学	地球科学入門	学A	2	地球科学入門	学B	2	ミクロの生物科学	学A	2	マクロの生物科学	学B	2
		総合系列科目	自然環境学	学A	2	自然環境学	学B	2	国際化と日本	学A	2	[科学・技術・情報と社会]	学B	2
		学修基礎科目	福大生のためのキャリアデザイン	学A	2	アカデミックスキルズゼミ I	学A	2	アカデミックスキルズゼミ II	学A	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	学B	2
		第 1 年 次			第 2 年 次			第 3 年 次			第 4 年 次			
		授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	
外 国 語 科 目	第 1	※フレッシュマン・イングリッシュ I	1	※インターメディアイト・イングリッシュ I	1	※インターメディアイト・イングリッシュ III	1							
		※フレッシュマン・イングリッシュ II	1	※インターメディアイト・イングリッシュ II	1	※インターメディアイト・イングリッシュ IV	1							
		△[下] フランス	2	海外英語研修	2									
		△[中] フランス	2	海外英語研修	2									
		△[上] フランス	2	海外英語研修	2									
		△[下] シンガポール	2	海外英語研修	2									
		△[中] シンガポール	2	海外英語研修	2									
		△[上] シンガポール	2	海外英語研修	2									
		△[下] シンガポール	2	海外英語研修	2									
		△[中] シンガポール	2	海外英語研修	2									
	△[上] シンガポール	2	海外英語研修	2										
	保健体育科目	※生涯スポーツ	1											
	単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目												
工 学 共 通 科 目	必修科目	微分積分	2											
		行列	2											
	小計	4												
	選択科目	図学	2	化学	2	基礎	2	防犯	2	統計	2			
				物理学	2	数理	2	統計	2					
	小計	2		12		6								
	必 修 科 目	電子通信コース	電気回路	2	論理回路	2	電子情報工学特別演習	1						
			電気回路	2	電子情報工学基礎演習	1								
		小計	12		5		1							
		情報システムコース	データ構造とアルゴリズム I	2	マイクログコンピュータ	2								
データ構造とアルゴリズム II			2	オペレーティングシステム	2									
小計		12		12		4								
選 択 科 目		電子通信コース	オートマトンと言語理論	2	データベースシステム	2								
			データ構造とアルゴリズム I	2	情報処理システム開発	2								
		データ構造とアルゴリズム II	2	オブジェクト指向プログラミング	2									
		データ構造とアルゴリズム III	2	プロジェクト型ソフトウェア開発演習	2									
	データ構造とアルゴリズム IV	2	オペレーティングシステム	2										
	データ構造とアルゴリズム V	2	計算機ネットワーク	2										
	データ構造とアルゴリズム VI	2	ネットワークシステム	2										
	データ構造とアルゴリズム VII	2	情報系のための確率・統計	2										
	データ構造とアルゴリズム VIII	2	情報系のための確率・統計	2										
	データ構造とアルゴリズム IX	2	情報工学実習 B	1										
小計	14		22		6									
情 報 コ ー ス	電子通信コース	△数値計算	2	△通信工学	2									
		△制御工学	2	▲計測工学	2									
	小計	6		12										
	情報システムコース	△デジタル電子回路	2	△電子系のための情報処理	2									
		△情報物理性	2	△集積回路工学	2									
	小計	19		28										
	小 計	電子通信コース	電気回路	2	オートマトンと言語理論	2	データベースシステム	2						
			電気回路	2	データ構造とアルゴリズム I	2	情報処理システム開発	2						
		小計	16		20									
		情報システムコース	電気回路	2	オートマトンと言語理論	2	データベースシステム	2						
電気回路			2	データ構造とアルゴリズム II	2	情報処理システム開発	2							
小計		16		20										
情報システムコース		電気回路	2	オートマトンと言語理論	2	データベースシステム	2							
		電気回路	2	データ構造とアルゴリズム III	2	情報処理システム開発	2							
小計		16		20										
情報システムコース		電気回路	2	オートマトンと言語理論	2	データベースシステム	2							
	電気回路	2	データ構造とアルゴリズム IV	2	情報処理システム開発	2								
小計	16		20											
情報システムコース	電気回路	2	オートマトンと言語理論	2	データベースシステム	2								
	電気回路	2	データ構造とアルゴリズム V	2	情報処理システム開発	2								
小計	16		20											
情報システムコース	電気回路	2	オートマトンと言語理論	2	データベースシステム	2								
	電気回路	2	データ構造とアルゴリズム VI	2	情報処理システム開発	2								
小計	16		20											
情報システムコース	電気回路	2	オートマトンと言語理論	2	データベースシステム	2								
	電気回路	2	データ構造とアルゴリズム VII	2	情報処理システム開発	2								
小計	16		20											
情報システムコース	電気回路	2	オートマトンと言語理論	2	データベースシステム	2								
	電気回路	2	データ構造とアルゴリズム VIII	2	情報処理システム開発	2								
小計	16		20											
情報システムコース	電気回路	2	オートマトンと言語理論	2	データベースシステム	2								
	電気回路	2	データ構造とアルゴリズム IX	2	情報処理システム開発	2								
小計	16		20											
情報システムコース	電気回路	2	オートマトンと言語理論	2	データベースシステム	2								
	電気回路	2	データ構造とアルゴリズム X	2	情報処理システム開発	2								
小計	16		20											

(注) (1) 電子通信コースの学生は選択科目（全コース共通）及び選択科目（電子通信コース）の△印の科目のうち20単位以上修得すること。  
 (2) 情報システムコースの学生は選択科目（全コース共通）及び選択科目（情報システムコース）の▲印のうち1科目以上修得すること。  
 (3) 情報システムコースの学生は選択科目（全コース共通）及び選択科目（情報システムコース）の4年次開講科目より6単位以上修得すること。  
 (4) 情報システムコースの学生は選択科目（情報システムコース）の△印のうち2科目以上修得すること。

令和6年度入学生(24台)

工学部 化学システム工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
共通教育科目	人文科学	哲倫理学A	2	哲倫理学B	2	論理教養学A	2	論理教養学B	2	
		日西史A	2	日西史B	2	宗東日西文A	2	宗東日西文B	2	
	社会科学	法政商学A	2	法政商学B	2	日本国憲法	2	政商教育学A	2	
		治政学B	2	経社教育論B	2	日本国憲法	2	政商教育学B	2	
	自然科学	地球科学入門	2	新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2	
		総合系科目	福岡大学で考える現代社会	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2
	教育	学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2
		学修基盤科目	データサイエンス・AI入門	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅠ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅡ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅢ	1
			※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅡ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅢ	1	アドバンスト・イングリッシュⅠ	1
第2		△ドイツ語ⅠA	2	海外英語研修	2					
		△ドイツ語ⅠB	2	ドイツ語Ⅱ	2					
		△フランス語ⅠA	2	フランス語Ⅱ	2					
		△フランス語ⅠB	2	フランス語Ⅱ	2					
		△ロシア語ⅠA	2	ロシア語Ⅱ	2					
		△ロシア語ⅠB	2	ロシア語Ⅱ	2					
保健体育科目		※生涯スポーツ演習Ⅰ	1							
単位互換科目		※生涯スポーツ演習Ⅱ	1							
工学共通科目	必修科目	微積分Ⅰ	2							
		線形代数Ⅰ	2							
	選択科目	微積分Ⅱ	2	統分積分Ⅳ	2	基礎防災学	2	数理統計Ⅰ	2	
		線形代数Ⅱ	2	関関力	2					
	小計	8		10		2		2		
小計	22		10		2		2			
専門教育科目	必修科目	両コース共通	1	化学工学演習Ⅰ	1	化学工学演習Ⅱ	3	化学工学演習Ⅲ	1	
		キヤリアデザイン	2	化学工学演習Ⅱ	4	化学工学演習Ⅲ	6	化学工学演習Ⅳ	1	
		基礎有機化学Ⅰ	2	化学工学演習Ⅲ	2	化学工学演習Ⅳ	2	化学工学特別講義	2	
		基礎有機化学Ⅱ	2	化学工学演習Ⅳ	2	化学工学特別講義	2	化学工学特別講義	4	
		基礎有機化学Ⅲ	2	化学工学演習Ⅳ	2	化学工学特別講義	2			
	選択科目	小計	13	19	17	8				
		化学工学コース	2	化学工学数学	2	伝熱工学	2	化学装置設計	2	
		分子工学コース	2	粉粒体工学	2	拡散分離工学Ⅰ	2			
		小計	4	4	12	2				
		分子工学コース	2	環境安全工学	2	無触媒プロセス工学Ⅰ	2	高分子化学	2	
選択科目	両コース共通	2	機器分析概論	2	機械的分離工学	2	エネルギー工学概論	2		
	工業無機材料	2	工業微生物学概論	2	[電医]工業化学	2				
	小計	4	6	10	2					
	化学工学コース	2	工業安全工学	2	無触媒プロセス工学Ⅱ	2	高分子化学	2		
	分子工学コース	2	工業安全工学	2	無触媒プロセス工学Ⅱ	2				
小計	4	6	10	2						

(注) (1) いずれのコースの学生も、両コース共通選択科目及び履修するコースの選択科目について3年次科目から4単位以上修得しなければならない。  
(2) [ ] 内は今年度休講。

令和5年度入学生 (23台)

工学部 化学システム工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	
共通教育科目	人文科学	哲倫理学A	2	哲倫理学B	2	論理教養学A	2	論理教養学B	2
		日西史A	2	日西史B	2	宗東日西文A	2	宗東日西文B	2
	社会科学	法政商学A	2	法政商学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2
		治学B	2	経社教育の原理・課程論	2	経済学B	2	政商教育論A	2
	自然科学	地球科学入門	2	新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2
		総合系科目	福岡大学で考える現代社会	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか
	学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2
		データサイエンス・AI入門	2						
	外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目	
専門教育科目	必修科目	微積分学Ⅰ	2	統分積分Ⅳ	2	基礎防災学	2	数理統計Ⅰ	2
		力学Ⅰ	2	力学Ⅱ	2				
	選択科目	微積分学Ⅱ	2	力学Ⅲ	2				
		力学Ⅳ	2						
	両コース共通	修学基礎学Ⅰ	1	化学工学演習Ⅰ	1	化学工学演習Ⅱ	3	化学工学演習Ⅲ	1
		工学基礎学Ⅱ	2	化学工学演習Ⅱ	4	化学工学演習Ⅲ	6	化学工学演習Ⅳ	1
	選択科目	グラフィックデザイン	2	機器分析概論	2	機械的分離工学	10	エネルギー工学概論	2
		工業無機材料	2	工業微生物学概論	2	[電医薬物]工学	2		
	両コース共通	修学基礎学Ⅰ	1	化学工学演習Ⅰ	1	化学工学演習Ⅱ	3	化学工学演習Ⅲ	1
		工学基礎学Ⅱ	2	化学工学演習Ⅱ	4	化学工学演習Ⅲ	6	化学工学演習Ⅳ	1
選択科目	グラフィックデザイン	2	機器分析概論	2	機械的分離工学	10	エネルギー工学概論	2	
	工業無機材料	2	工業微生物学概論	2	[電医薬物]工学	2			

(注) (1) いずれのコースの学生も、両コース共通選択科目及び履修するコースの選択科目について3年次科目から4単位以上修得しなければならない。  
(2) [ ] 内は今年度休講。

令和4年度入学生(22台)

工学部 化学システム工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次												
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
			倫理	学A	2	倫理	学B	2	教養	学A	2	教養	学B	2
		歴史	学A	2	歴史	学B	2	東洋	学A	2	東洋	学B	2	
		西学	学A	2	西学	学B	2	文芸	学A	2	文芸	学B	2	
	社会科学	法政	学A	2	法政	学B	2	政治	学A	2	政治	学B	2	
		商学	学A	2	商学	学B	2	教育	学A	2	教育	学B	2	
	自然科学	地球	学A	2	地球	学B	2	環境	学A	2	環境	学B	2	
		自然	学A	2	自然	学B	2	文化	学A	2	文化	学B	2	
		総合	学A	2	総合	学B	2	国際	学A	2	国際	学B	2	
		学修	学A	2	学修	学B	2	アカ	学A	2	アカ	学B	2	
教育科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次							
	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位		
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIV	1		
		第2	△ドイツ語I	2	海外英語研修	2								
保健体育科目	生涯	※生涯スポーツ演習I	1											
	単位	※生涯スポーツ演習II	1											
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目														
工学共通科目	必修科目	微分積分	学I	2										
		行列	学A	2										
	選択科目	微分積分	学II	2	統分積分	学C	2	基礎防災学	学	2	数理統計I	学	2	
		行列	学A	2	関数	学C	2							
小計		8		10		2		2		2				
小計		22		10		2		2		2				
専門教育科目	必修科目	修学	学I	1	化学工学	学I	4	化学工学	学II	3	化学工学	学III	1	
		基礎	学II	2	技術者	学II	2	化学工学	学III	6	化学工学	学IV	1	
		有機	学II	2	化学工学	学III	2	外語	学III	2	化学工学	特別	2	
		無機	学II	2	工学	学III	2	研究	学III	2	化学工学	講義	4	
	選択科目	化学工学	学II	2	応用	学III	2	地球	学III	2				
		基礎	学II	2	応用	学III	2							
	小計		13		19		17		8		2			
	選択科目	化学工学	学II	2	化学工学	学II	2	伝熱	学II	2	化学装置設計	学	2	
		工学	学II	2	工学	学II	2	拡散	学II	2				
		工学	学II	2	工学	学II	2	物質	学II	2				
工学		学II	2	工学	学II	2	輸送	学II	2					
小計		4		4		12		2		2				
選択科目	グラフィック	学II	2	環境	学II	2	無機	学II	2	高分子化学	学	2		
	工業	学II	2	工学	学II	2	有機	学II	2					
	無機	学II	2	工学	学II	2	工業	学II	2					
	材料	学II	2	工学	学II	2	応用	学II	2					
小計		4		6		10		2		2				
選択科目	工学	学II	2	環境	学II	2	機械	学II	2	エネルギー工学概論	学	2		
	工学	学II	2	工学	学II	2	電気	学II	2					
	工学	学II	2	工学	学II	2	医療	学II	2					
	工学	学II	2	工学	学II	2	工学	学II	2					
小計		4		6		10		2		2				
選択科目	化学工学	学II	2	化学工学	学II	2	伝熱	学II	2	化学装置設計	学	2		
	工学	学II	2	工学	学II	2	拡散	学II	2					
	工学	学II	2	工学	学II	2	物質	学II	2					
	工学	学II	2	工学	学II	2	輸送	学II	2					
小計		4		4		12		2		2				

(注) (1) いずれのコースの学生も、両コース共通選択科目及び履修するコースの選択科目について3年次科目から4単位以上修得しなければならない。  
(2) [ ] 内は今年度休講。

令和3年度入学生 (21台)

工学部 化学システム工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次												
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
			倫理	学A	2	倫理	学B	2	教養	学A	2	教養	学B	2
		西史	学A	2	日史	学B	2	東史	学A	2	東史	学B	2	
		日西	学A	2	西史	学B	2	東史	学A	2	東史	学B	2	
	社会科学	法政	学A	2	法政	学B	2	経社	学A	2	経社	学B	2	
		治政	学B	2	経社	学A	2	教育	学A	2	教育	学B	2	
	自然科学	地球	学A	2	新し	学A	2	ミク	学A	2	マク	学A	2	
		自然	学A	2	しい	学B	2	ロの	学B	2	クの	学B	2	
		地学	学B	2	地球	学A	2	生物	学A	2	生物	学B	2	
		環境	学B	2	と人	学B	2	科学	学A	2	科学	学B	2	
総合系列科目	文化	学A	2	現を	学A	2	国際	学A	2	(科学	学A	2		
	と教	学B	2	代を	学B	2	化と	学B	2	・技術	学B	2		
学修基盤科目	福大生	学A	2	アカ	学A	2	アカ	学A	2	福大	学A	2		
	のた	学B	2	デ	学B	2	デ	学B	2	学を	学B	2		
教育科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ		1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ		1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ		1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ		1	
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ		1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ		1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ		1	アドバンスト・イングリッシュⅠ		1	アドバンスト・イングリッシュⅡ
	第2	△ド	語	Ⅰ	2	海	研	2						
		△フ	語	Ⅰ	2	外	修	2						
		△ラ	語	Ⅰ	2	英		2						
		△中	語	Ⅰ	2	語		2						
		△中	語	Ⅰ	2	語		2						
		△ロ	語	Ⅰ	2	語		2						
		△ス	語	Ⅰ	2	語		2						
		△ス	語	Ⅰ	2	語		2						
保健体育科目	※生	演	Ⅰ	1										
	※生	演	Ⅱ	1										
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目													
工学共通科目	必修科目	微分	Ⅰ	2										
		積分	Ⅰ	2										
		行列	Ⅰ	2										
		基礎	Ⅰ	2										
選択科目	必修科目	微分	Ⅱ	2	統	計	2	基	2	数	2			
		積分	Ⅱ	2	分	分	2	礎	2	理	2			
		行列	Ⅱ	2	積	分	2	防	2	統	2			
		物理	Ⅱ	2	数	学	2	災	2	計	2			
小計	8		10		10		2		2					
専門教育科目	必修科目	修学	1	化	1	化	3	化	3	化	1			
		学基	2	学工	4	学工	6	学工	6	学工	1			
		礎機	2	術者	2	外	2	学工	2	学工	1			
		礎機	2	科倫	2	書講	2	学工	2	学工	2			
	選択科目	必修科目	学無	2	情報	2	研	2	卒	2	卒	2		
			有析	2	学工	2	究	2	業	2	業	2		
			学機	2	化用	2	地	2	特	2	特	2		
			算計	2	応化	2	球	2	別	2	別	2		
			法	2	流	2	環	2	講	2	講	2		
				2		2	境	2	発	2	義	2		
小計	13		19		17		8		2					
選択科目	必修科目	化学	2	化	2	伝	2	化	2	化	2			
		工学	2	学工	2	熱	2	学	2	学	2			
		数	2	学工	2	拡	2	工	2	工	2			
		学	2	数	2	散	2	学	2	学	2			
		学	2	学	2	移	2	工	2	工	2			
		学	2	学	2	動	2	学	2	学	2			
小計	4		4		12		2		2					
選択科目	必修科目	分子	2	工	2	無	2	高	2	高	2			
		工学	2	環	2	機	2	分	2	分	2			
		学	2	境	2	製	2	子	2	子	2			
		学	2	安	2	造	2	化	2	化	2			
		学	2	無	2	セ	2	学	2	学	2			
		学	2	機	2	ス	2	工	2	工	2			
小計	6		6		10		2		2					
選択科目	必修科目	グラフィック	2	機	2	機	2	エ	2	エ	2			
		デザイン	2	器	2	械	2	ネ	2	ネ	2			
		工業	2	子	2	的	2	ル	2	ル	2			
		無機	2	化	2	分	2	ギ	2	ギ	2			
		材料	2	学	2	離	2	ー	2	ー	2			
			2	概	2	工	2	工	2	工	2			
小計	4		6		10		2		2					
選択科目	必修科目	分子	2	工	2	無	2	高	2	高	2			
		工学	2	環	2	機	2	分	2	分	2			
		学	2	境	2	製	2	子	2	子	2			
		学	2	安	2	造	2	化	2	化	2			
		学	2	無	2	セ	2	学	2	学	2			
		学	2	機	2	ス	2	工	2	工	2			
小計	6		6		10		2		2					
選択科目	必修科目	分子	2	化	2	伝	2	化	2	化	2			
		工学	2	学工	2	熱	2	学	2	学	2			
		学	2	数	2	拡	2	工	2	工	2			
		学	2	学	2	散	2	学	2	学	2			
		学	2	学	2	移	2	工	2	工	2			
		学	2	学	2	動	2	学	2	学	2			
小計	4		4		12		2		2					

(注) (1) いずれのコースの学生も、両コース共通選択科目及び履修するコースの選択科目について3年次科目から4単位以上修得しなければならない。  
(2) [ ] 内は今年度休講。

令和2年度入学生 (20台)

工学部 化学システム工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
共通教育科目	人文科学	哲倫理学A	2	哲倫理学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2	
		西史A	2	西史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2	
	社会科学	法政商学A	2	法政商学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2	
		教育心理学A	2	教育心理学B	2	教育心理学A	2	教育心理学B	2	
	自然科学	地球科学入門	2	新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2	
	総合系科目	地球と環境	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	(科学・技術・情報と社会)	2	
	学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2	
			第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
			授業科目		授業科目		授業科目		授業科目	
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅠ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅡ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅢ	1
※フレッシュマン・イングリッシュⅡ			1	※インターミディエイト・イングリッシュⅡ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅢ	1	アドバンスト・イングリッシュⅠ	1	
第2		△[ド] イ ツ 語 I A	2	△[ド] イ ツ 語 II B	2					
		△[フ] ラ ンス 語 I A	2	△[フ] ラ ンス 語 II B	2					
		△[中] 中 国 語 I A	2	△[中] 中 国 語 II B	2					
		△[ロ] シ ア 語 I A	2	△[ロ] シ ア 語 II B	2					
		△[ス] ベ イ ン 語 I A	2	△[ス] ベ イ ン 語 II B	2					
		△[朝] 朝 鮮 語 I A	2	△[朝] 朝 鮮 語 II B	2					
		保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1						
		単位互換科目	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1						
他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目										
工学共通科目	必修科目	微積分 I A	2							
		力学 I A	2							
	小計	14								
	選択科目	微積分 II B	2	統分積分 I C	2	基礎防災学	2	数理統計 I	2	
小計	8									
小計	22									
専門教育科目	必修科目	修学基礎 I	1	化学工学演習Ⅰ	1	化学工学演習Ⅱ	3	化学工学演習Ⅲ	1	
		工学基礎 I	2	化学工学演習Ⅱ	4	化学工学演習Ⅲ	6	化学工学演習Ⅳ	1	
	両コース共通	工学基礎 II	2	化学工学演習Ⅲ	2	化学工学演習Ⅳ	2	化学工学特別講義	2	
		工学基礎 III	2	化学工学演習Ⅳ	2	化学工学特別講義	2	化学工学特別講義	4	
	選択科目	工学基礎 IV	2	化学工学演習Ⅳ	2	化学工学特別講義	2			
		工学基礎 V	2	化学工学演習Ⅳ	2	化学工学特別講義	2			
	選択科目	グラフィックデザイン I	2	化学工学演習Ⅳ	2	化学工学特別講義	2			
		グラフィックデザイン II	2	化学工学演習Ⅳ	2	化学工学特別講義	2			
	選択科目	工学基礎 VI	2	化学工学演習Ⅳ	2	化学工学特別講義	2			
		工学基礎 VII	2	化学工学演習Ⅳ	2	化学工学特別講義	2			
選択科目	工学基礎 VIII	2	化学工学演習Ⅳ	2	化学工学特別講義	2				
	工学基礎 IX	2	化学工学演習Ⅳ	2	化学工学特別講義	2				
小計	4									
小計	4									

(注) (1) いずれのコースの学生も、両コース共通選択科目及び履修するコースの選択科目について3年次科目から4単位以上修得しなければならない。  
(2) [ ] 内は今年度休講。



平成31年度入学生 (19台)

工学部 化学システム工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 年 次									
		授 業 科 目		単 位	授 業 科 目		単 位	授 業 科 目		単 位	
共 通 教 育 科 目	総合教養科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2	
			理学A	2	理学B	2	宗東日西文A	2	宗東日西文B	2	
			史学A	2	史学B	2	宗東日西文A	2	宗東日西文B	2	
			文学A	2	文学B	2	宗東日西文A	2	宗東日西文B	2	
	社会科学	法政商学A	2	法政商学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2	政治学B	2
		治学B	2	経済学A	2	日経社経学B	2	商教育論A	2	商教育論B	2
		教育論A	2	教育の原理・課程学B	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2	文化人類学B	2
		教育論B	2	新し地と観	2	ミクロの生物学	2	マクロの生物学	2		
	自然科学	地球科学入門	2	新しい地と観	2	ミクロの生物学	2	マクロの生物学	2		
	総合系科目	地球と環境	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	(科学・技術・情報と社会)	2		
学修基盤科目	文化と教育	2	現代を生きる	2							
	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2			
外 国 語 科 目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ		1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ		1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ		1	
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ		1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ		1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ		1	
	第2	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ		1	海外英語研修		2	アドバンスト・イングリッシュⅠ		1	
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ		1				アドバンスト・イングリッシュⅡ		1	
		△ドイツ語ⅠA	2	△ドイツ語ⅡA	2						
		△フランス語ⅠA	2	△フランス語ⅡA	2						
		△中国語ⅠA	2	△中国語ⅡA	2						
		△ロシア語ⅠA	2	△ロシア語ⅡA	2						
		△スペイン語ⅠA	2	△スペイン語ⅡA	2						
		△朝鮮語ⅠA	2	△朝鮮語ⅡA	2						
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ		1								
単位互換科目	※生涯スポーツ演習Ⅱ		1								
工 学 共 通 科 目	必修科目	微分積分Ⅰ	2								
		行列と行列式Ⅰ	2								
		基礎物理学A	2								
		基礎物理学B	2								
		基礎物理学実験	2								
	小計			14							
	選択科目	微分積分Ⅱ	2	統分積分Ⅳ	2	基礎防災学	2	数理統計Ⅰ	2		
		行列と行列式Ⅱ	2	関関物力	2						
		力学	2								
	小計			8			10	2			
計			22			10	2				
専 門 教 育 科 目	必修科目	修学基礎Ⅰ	1	化学工学演習Ⅰ	1	化学工学演習Ⅱ	3	化学工学演習Ⅲ	1		
		工学基礎Ⅱ	2	化学工学演習Ⅱ	4	化学工学演習Ⅲ	6	化学工学演習Ⅳ	1		
		基礎と演習Ⅰ	2	化学工学演習Ⅲ	2	化学工学演習Ⅳ	2	化学工学特別講義	2		
		基礎と演習Ⅱ	2	化学工学演習Ⅳ	2	化学工学特別講義	2	化学工学特別講義	4		
		基礎と演習Ⅲ	2	化学工学演習Ⅳ	2	化学工学特別講義	2				
	小計			13			17	8			
	選択科目	化学工学コース	2	化学工学数学	2	伝熱工学	2	化学装置設計	2		
		分子工学コース	2	粉粒体工学	2	拡散分離工学Ⅰ	2				
		両コース共通	2			輸送現象工学	2				
		両コース共通	2			化学プロセス工学	2				
両コース共通		2			プロセスシステム工学	2					
小計			4			12	2				
選択科目	グラフィックデザイン	2	工業無機材料	2	機械的分離工学	2	エネルギー工学概論	2			
	工業無機材料	2	機器分析概論	2	[電気医療物化]	2					
			工業微生物学概論	2	工業通論	2					
					工業学論	2					
					工業学論	2					
小計			4			10	2				
選択科目	化学工学コース	2	工業無機材料	2	無機プロセス工学Ⅰ	2	高分子化学	2			
	分子工学コース	2	工業無機材料	2	無機プロセス工学Ⅱ	2					
	両コース共通	2			工業材料工学	2					
	両コース共通	2			工業材料工学Ⅱ	2					
	両コース共通	2			工業材料工学Ⅲ	2					
小計			6			10	2				
選択科目	化学工学コース	2	工業無機材料	2	無機プロセス工学Ⅳ	2	高分子化学	2			
	分子工学コース	2	工業無機材料	2	無機プロセス工学Ⅴ	2					
	両コース共通	2			無機プロセス工学Ⅵ	2					
	両コース共通	2			無機プロセス工学Ⅶ	2					
	両コース共通	2			無機プロセス工学Ⅷ	2					
小計			6			10	2				
選択科目	化学工学コース	2	工業無機材料	2	伝熱工学	2	化学装置設計	2			
	分子工学コース	2	工業無機材料	2	拡散分離工学Ⅰ	2					
	両コース共通	2			輸送現象工学	2					
	両コース共通	2			化学プロセス工学	2					
	両コース共通	2			プロセスシステム工学	2					
小計			4			12	2				

(注) (1) いずれのコースの学生も、両コース共通選択科目及び履修するコースの選択科目について3年次科目から4単位以上修得しなければならない。  
(2) [ ] 内は今年度休講。

平成30年度入学生 (18台)

工学部 化学システム工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2
		社会科学	政治学A	2	経済学A	2	社会学A	2	政治学B	2
		自然科学	地球科学入門	2	新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2
		総合系科目	地球と環境	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	(科学・技術・情報と社会)	2
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターミディエイト・イングリッシュI	1	※インターミディエイト・イングリッシュIII	1	※インターミディエイト・イングリッシュIV	1
		第2	△ドイツ語IA	2	△フランス語IA	2	△中国語IA	2	△ロシア語IA	2
	保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1							
		※生涯スポーツ演習II	1							
	単位互換科目		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目							
	工学共通科目	必修科目	微積分	2	微積分	2	基礎防災学	2	数理統計I	2
力学			2	力学	2					
選択科目		微積分	2	統計	2					
小計		8	10	2	2					
専門教育科目	必修科目	化学工学演習I	1	化学工学演習II	1	化学工学演習III	1	化学工学演習IV	1	
		化学工学演習II	3	化学工学演習III	3	化学工学演習IV	3	化学工学特別講義	4	
		化学工学演習III	2	化学工学演習IV	2	化学工学特別講義	2			
		化学工学演習IV	2	化学工学特別講義	2					
	小計	13	19	17	8					
	選択科目	化学工学コース	2	化学工学コース	2	伝熱工学	2	化学装置設計	2	
		分子工学コース	2	分子工学コース	2	無機材料工学	2	高分子化学	2	
	選択科目	両コース共通	グラフィックデザイン	2	機器分析	2	機械的分離工学	2	エネルギー工学概論	2
		分子工学コース								
	小計	4	6	8	2					
4		6	10	2						

(注) (1) いずれのコースの学生も、両コース共通選択科目及び履修するコースの選択科目について3年次科目から4単位以上修得しなければならない。  
(2) [ ] 内は今年度休講



令和6年度入学生(24台)

工学部 社会デザイン工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次													
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位						
共通科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2	哲学B 2	論理学A 2	論理学B 2	宗教学A 2	宗教学B 2	東洋史A 2	東洋史B 2	東洋文学A 2	東洋文学B 2	西洋文学A 2	西洋文学B 2	西学教育史 2
		社会科学	政治学A 2	政治学B 2	経済学A 2	経済学B 2	社会学A 2	社会学B 2	教育の原理・課程論 2	教育心理学A 2	教育心理学B 2	文化人類学A 2	文化人類学B 2	マクロの生物科学 2	
		自然科学	地球科学入門 2	自然科学入門 2	新しい地球観 2	自然科学と人間 2	ミクロの生物科学 2	自然地理学 2							
		総合系列科目	福岡大学で考える現代社会 2												
		学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン データサイエンス・AI入門 2		アカデミックスキルズゼミⅠ 2		アカデミックスキルズゼミⅡ 2								福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか 2
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1		※インターメディアイト・イングリッシュⅠ 1		※インターメディアイト・イングリッシュⅢ 1		※インターメディアイト・イングリッシュⅣ 1		アドバンスト・イングリッシュⅠ 1		アドバンスト・イングリッシュⅡ 1		
			※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1		※インターメディアイト・イングリッシュⅡ 1										
		第2	△ドイツ語ⅠA 2		ドイツ語Ⅱ 2										
			△フランス語ⅠA 2		フランス語Ⅱ 2										
			△中国語ⅠA 2		中国語Ⅱ 2										
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1														
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目														
工学共通科目	必修科目	微積分Ⅰ 2		物理学実験 2											
		微積分Ⅱ 2													
	線形代数Ⅰ 2														
	線形代数Ⅱ 2														
小計		14		2											
選択科目	図物理学A 2		化学実験 2		基礎防災学 2										
	微積分Ⅲ 2		微積分Ⅳ 2												
小計		4		8											
小計		18		10											
専門教育科目	必修科目	建設景観学 2		静定構造力学及び演習 3		橋梁工学 2		卒業論文 4							
		建設材料学 2		不静定構造力学及び演習 3		河川工学 2									
		環境工学概論 2		基礎水理学及び演習 3		地盤工学 2									
		測量実習 2		応用水理学及び演習 3		都市計画 2									
		社会デザインの力学基礎 2		基礎地盤力学及び演習 3		環境アセスメント 2									
		工業数学 2		応用地盤力学及び演習 3		構造・空間デザイン演習 2									
		社会デザインとの出会い 1		社会基盤計画学 2		材料・地盤実験 2									
				交通計画学 2		キャリアデザイン 2									
				コンクリート工学 2		キャリア演習 1									
				鉄筋コンクリート 2		技術者倫理 2									
小計		15		35		19		4							
選択科目	選択科目					耐震工学・地震防災 2									
						水資源工学 2									
						防災・環境地盤工学 2									
						景観デザイン論 2									
						建設マネジメント 2									
						廃棄物資源循環工学 2									
						実践測量実習 1									
						建設CAD 2									
						社会基盤の維持管理 2									
						工業火薬学 2									
小計		15		35		40		4							

(注) (1) [ ]内は今年度休講。

令和5年度入学生 (23台)

工学部 社会デザイン工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通科目	総合教養科目	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	人文科学	日西本史A	2	日西本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
	社会学	社会学A	2	社会学B	2	日本教育史	2	西洋教育史	2
	自然科学	地球科学入門	2	新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2
	総合系列科目	福岡大学で考える現代社会							2
	学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2
		データサイエンス・AI入門	2						
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1	
※フレッシュマン・イングリッシュⅡ			1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1		
第2		△ドイツ語ⅠA	2	ドイツ語Ⅱ	2				
△ドイツ語ⅠB		2	フランス語Ⅱ	2					
△フランス語ⅠA		2	中国語Ⅱ	2					
△フランス語ⅠB		2	ロシア語Ⅱ	2					
△中国語ⅠA		2	スペイン語Ⅱ	2					
△中国語ⅠB		2	朝鮮語Ⅱ	2					
△ロシア語ⅠA		2							
△ロシア語ⅠB		2							
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1							
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1							
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目								
工学共通科目	必修科目	微分積分Ⅰ	2	物理学実験	2				
		微分積分Ⅱ	2						
	行列と行列式Ⅰ	2							
	行列と行列式Ⅱ	2							
小計		14		2					
選択科目	図物理学A	2	化学実験	2	基礎防災学	2			
		2	微分積分Ⅲ	2					
小計		4		8		2			
計		18		10		2			
専門教育科目	必修科目	建設景観学	2	静定構造力学及び演習	3	橋梁工学	2	卒業論文	4
		建設材料学	2	不静定構造力学及び演習	3	河川工学	2		
	環境工学概論	2	基礎水理学及び演習	3	地盤工学	2			
	測量実習	2	応用水理学及び演習	3	都市計画	2			
	社会デザインの力学基礎	2	基礎地盤力学及び演習	3	環境アセスメント	2			
	工業数学	2	応用地盤力学及び演習	3	構造・空間デザイン演習	2			
	社会デザインとの出会い	1	社会基盤計画学	2	材料・地盤実験	2			
			交通計画学	2	キャリアデザイン	2			
			コンクリート工学	2	キャリア演習	1			
			鉄筋コンクリート	2	技術者倫理	2			
小計		15		35		19	4		
選択科目									
小計									
計		15		35		40	4		

(注) (1) [ ] 内は今年度休講。

令和4年度入学生(22台)

工学部 社会デザイン工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次																																																					
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位																																														
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2	哲学B 2	論理学A 2	論理学B 2	宗教学A 2	宗教学B 2	東洋史A 2	東洋史B 2	東洋文学A 2	東洋文学B 2	西洋文学A 2	西洋文学B 2	西学教育史 2																																								
		社会科学	政治学A 2	政治学B 2	経済学A 2	経済学B 2	社会学A 2	社会学B 2	教育の原理・課程論 2	教育の原理・課程論 2	文化人類学A 2	文化人類学B 2	マクロの生物科学 2	マクロの生物科学 2																																									
		自然科学	地球科学入門 2	地球科学入門 2	自然科学入門 2	自然科学入門 2	生命・健康と医療 2	生命・健康と医療 2	国際化と日本 2	国際化と日本 2	〔科学・技術・情報と社会〕 2	〔科学・技術・情報と社会〕 2																																											
		総合系列科目	地球環境文化と教育 2	地球環境文化と教育 2	現代教育 2	現代教育 2																																																	
		学修基礎科目	福大生のためのキャリアデザイン データサイエンス・AI入門 2	福大生のためのキャリアデザイン データサイエンス・AI入門 2	アカデミックスキルズゼミⅠ 2	アカデミックスキルズゼミⅠ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	アカデミックスキルズゼミⅢ 2	アカデミックスキルズゼミⅢ 2	アカデミックスキルズゼミⅣ 2	アカデミックスキルズゼミⅣ 2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか 2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか 2																																									
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1																																													
		第2	△ドイツ語ⅠA 2	△ドイツ語ⅠB 2	△フランス語ⅠA 2	△フランス語ⅠB 2	△中国語ⅠA 2	△中国語ⅠB 2	△ロシア語ⅠA 2	△ロシア語ⅠB 2	△スペイン語ⅠA 2	△スペイン語ⅠB 2	△朝鮮語ⅠA 2	△朝鮮語ⅠB 2																																									
		海外英語研修 2	海外英語研修 2																																																				
		保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1																																																			
		単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目																																																				
工学共通科目	必修科目	微分積分Ⅰ 2	微分積分Ⅱ 2	行列と行列式Ⅰ 2	行列と行列式Ⅱ 2	力学A 2	力学B 2	物理学実験 2	物理学実験 2																																														
	選択科目	図物理学A 2	図物理学A 2	化学実験 2	化学実験 2	微分積分Ⅲ 2	微分積分Ⅳ 2	基礎防災学 2	基礎防災学 2																																														
	小計	14	14	8	8	2	2	2	2																																														
	計	18	18	10	10	2	2	2	2																																														
専門教育科目	必修科目	建設景観学 2	建設景観学 2	建設材料学 2	建設材料学 2	環境工学概論 2	環境工学概論 2	測量実習 2	測量実習 2	社会デザインの力学基礎 2	社会デザインの力学基礎 2	工業数学 2	工業数学 2	社会デザインとの出会い 1																																									
	選択科目			静定構造力学及び演習 3	静定構造力学及び演習 3	不静定構造力学及び演習 3	不静定構造力学及び演習 3	基礎水理学及び演習 3	基礎水理学及び演習 3	応用水理学及び演習 3	応用水理学及び演習 3	基礎地盤力学及び演習 3	基礎地盤力学及び演習 3	応用地盤力学及び演習 3	応用地盤力学及び演習 3	社会基盤計画学 2	社会基盤計画学 2	交通計画学 2	交通計画学 2	コンクリート工学 2	コンクリート工学 2	鉄筋コンクリート 2	鉄筋コンクリート 2	建設施工学 2	建設施工学 2	地球環境工学 2	地球環境工学 2	上下水道学 2	上下水道学 2	水理・環境実験 2	水理・環境実験 2	情報処理演習 1	情報処理演習 1	耐震工学・地震防災 2	耐震工学・地震防災 2	水資源工学 2	水資源工学 2	防災・環境地盤工学 2	防災・環境地盤工学 2	景観デザイン論 2	景観デザイン論 2	建設マネジメント 2	建設マネジメント 2	廃棄物資源循環工学 2	廃棄物資源循環工学 2	実践測量実習 1	実践測量実習 1	建設CAD 2	建設CAD 2	社会基盤の維持管理 2	社会基盤の維持管理 2	工業火薬学 2	工業火薬学 2	総合工業論 2	総合工業論 2
	小計	15	15	35	35	19	19	4	4																																														
	計	15	15	35	35	40	40	4	4																																														

(注) (1) [ ]内は今年度休講。

令和3年度入学生 (21台)

工学部 社会デザイン工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次																																			
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位																												
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2	哲学B 2	論理学A 2	論理学B 2	宗教学A 2	宗教学B 2	東洋史A 2	東洋史B 2	東洋文学A 2	東洋文学B 2	西洋文学A 2	西洋文学B 2	西アジアの文学A 2	西アジアの文学B 2	芸術A 2	芸術B 2	日本教育史 2	西洋教育史 2																	
		社会科学	政治学A 2	政治学B 2	経済学A 2	経済学B 2	社会学A 2	社会学B 2	憲法 2	商学A 2	商学B 2	教育論A 2	教育論B 2	文化人類学A 2	文化人類学B 2	政治学A 2	政治学B 2	社会学A 2	社会学B 2	文化人類学A 2	文化人類学B 2																
		自然科学	地球科学入門 2	自然科学入門 2	新しい地球観 2	自然科学と人間 2	ミクロの生物科学 2	自然地理学 2	国際化と日本 2	マクロの生物科学 2																											
		総合系列科目	地球環境文化と教育 2	生命・健康と医療 2	現代を生きる 2																																
		学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン 2	アカデミックスキルズゼミⅠ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2																																
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ 1	アドバンスト・イングリッシュⅠ 1	アドバンスト・イングリッシュⅡ 1																									
		第2	△[ドイツ語ⅠA 2	△[ドイツ語ⅠB 2	△[フランス語ⅠA 2	△[フランス語ⅠB 2	△[中国語ⅠA 2	△[中国語ⅠB 2	△[ロシア語ⅠA 2	△[ロシア語ⅠB 2	△[スペイン語ⅠA 2	△[スペイン語ⅠB 2	△[朝鮮語ⅠA 2	△[朝鮮語ⅠB 2																							
		保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1	※生涯スポーツ演習Ⅱ 1																																	
		単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目																																		
		工学共通科目	必修科目	微分積分Ⅰ 2	微分積分Ⅱ 2	行列と行列式Ⅰ 2	行列と行列式Ⅱ 2	力学A 2	力学B 2	力学C 2	力学計 2	物理学実験 2																									
選択科目	図物理学A 2	化学実験 2	微分積分Ⅲ 2	微分積分Ⅳ 2	基礎防災学 2																																
専門教育科目	必修科目	建設景観学 2	建設材料学 2	環境工学概論 2	測量学 2	測量実習 2	社会デザインの力学基礎 2	工業数学 2	社会デザインとの出会い 1	静定構造力学及び演習 3	不静定構造力学及び演習 3	基礎水理学及び演習 3	応用水理学及び演習 3	基礎地盤力学及び演習 3	応用地盤力学及び演習 3	社会基盤計画学 2	交通計画学 2	コンクリート工学 2	鉄筋コンクリート 2	建設施工学 2	地球環境工学 2	上下水道学 2	水理・環境実習 2	情報処理演習 1	橋梁工学 2	河川工学 2	地盤工学 2	都市計画 2	環境アセスメント 2	構造・空間デザイン演習 2	材料・地盤実験 2	キャリアデザイン 2	キャリア演習 2	技術者倫理 2	卒業論文 4		
選択科目	耐震工学・地震防災 2	水資源工学 2	防災・環境地盤工学 2	景観デザイン論 2	建設マネジメント 2	廃棄物資源循環工学 2	実践測量実習 1	建設CAD 2	社会基盤の維持管理 2	工業火薬学 2	総合工業論 2																										
小計		15								35																19										4	
小計																																					40

(注) (1) [ ]内は今年度休講。

令和2年度入学生 (20台)

工学部 社会デザイン工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次																																			
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位																												
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2	哲学B 2	論理学A 2	論理学B 2	宗教学A 2	宗教学B 2	東洋史A 2	東洋史B 2	東洋文学A 2	東洋文学B 2	西洋文学A 2	西洋文学B 2	西学教育史 2																						
		社会科学	政治学A 2	政治学B 2	経済学A 2	経済学B 2	社会学A 2	社会学B 2	憲法 2	商学A 2	商学B 2	教育論A 2	教育論B 2	文化人類学A 2	文化人類学B 2																						
		自然科学	地球科学入門 2	新しい地球観 2	自然科学入門 2	自然科学と人間 2	ミクロの生物科学 2	自然地理学 2	国際化と日本 2	マクロの生物科学 2																											
		総合系列科目	地球環境文化と教育 2	生命・健康と医療 2	現代教育 2																																
		学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン 2	アカデミックスキルズゼミⅠ 2			アカデミックスキルズゼミⅡ 2			福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか 2																											
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ 1	アドバンスト・イングリッシュⅠ 1	アドバンスト・イングリッシュⅡ 1																									
		第2	△ドイツ語ⅠA 2	△ドイツ語ⅠB 2	△フランス語ⅠA 2	△フランス語ⅠB 2	△中国語ⅠA 2	△中国語ⅠB 2	△ロシア語ⅠA 2	△ロシア語ⅠB 2	△スペイン語ⅠA 2	△スペイン語ⅠB 2	△朝鮮語ⅠA 2	△朝鮮語ⅠB 2																							
		海外英語研修 2																																			
		保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1	※生涯スポーツ演習Ⅱ 1																																	
		単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目																																		
工学共通科目	必修科目	微分積分Ⅰ 2	微分積分Ⅱ 2	行列と行列式Ⅰ 2	行列と行列式Ⅱ 2	力学A 2	力学B 2	物理学実験 2																													
	選択科目	図物理学A 2		化学実験 2	微分積分Ⅲ 2	微分積分Ⅳ 2			基礎防災学 2																												
	小計	14				8			2																												
	小計	18				10			2																												
専門教育科目	必修科目	建設景観学 2	建設材料学 2	環境工学概論 2	測量学 2	測量実習 2	社会デザインの力学基礎 2	工業数学 2	社会デザインとの出会い 1	静定構造力学及び演習 3	不静定構造力学及び演習 3	基礎水理学及び演習 3	応用水理学及び演習 3	基礎地盤力学及び演習 3	応用地盤力学及び演習 3	社会基盤計画学 2	交通計画学 2	コンクリート工学 2	鉄筋コンクリート 2	建設施工学 2	地球環境工学 2	上下水道学 2	水理・環境実験 2	情報処理演習 1	橋梁工学 2	河川工学 2	地盤工学 2	都市計画 2	環境アセスメント 2	構造・空間デザイン演習 2	材料・地盤実験 2	キャリアデザイン 2	キャリア演習 2	技術者倫理 2	卒業論文 4		
	小計	15					35					19					4																				
	選択科目									耐震工学・地震防災 2	水資源工学 2	防災・環境地盤工学 2	景観デザイン論 2	建設マネジメント 2	廃棄物資源循環工学 2	実践測量実習 1	建設CAD 2	社会基盤の維持管理 2	工業火薬学 2	総合工業論 2																	
小計	15					35					19					4																					
小計	15					35					40					4																					

(注) (1) [ ]内は今年度休講。



平成31年度入学生 (19台)

工学部 社会デザイン工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 年 次								
		授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	
共 通 教 育 科 目	総合 教 養 科 目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理哲学A	2	論理哲学B	2
			倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
			日西本 洋史A	2	日西本 洋史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
			アジアの文 学A	2	アジアの文 学B	2	本洋文 学A	2	本洋文 学B	2
			芸術A	2	芸術B	2	日西文 学A	2	日西文 学B	2
	社会科学	法学A	2	法学B	2	日本教 育史	2	西洋教 育史	2	
		政治学B	2	経済学A	2	憲法	2	政治学A	2	
		商学B	2	社会学A	2	経済学B	2	商学A	2	
		教育論B	2	教育の原理・課程論	2	社会学B	2	教育論A	2	
		心理学A	2	心理	2	地理学A	2	地理学B	2	
自然科学	地球科学入門	2	新しい地球観	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2		
	自然科学入門	2	自然科学与人間	2	マクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2		
	総合系列科目	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	〔科学・技術・情報と社会〕	2		
	学修基盤科目	2	現代を生きる	2						
外 国 語 科 目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIV	1			
	第2	△[ドイツ語I A]	2	△[ドイツ語II]	2	アドバンスト・イングリッシュI	1			
		△[フランス語I A]	2	△[フランス語II]	2	アドバンスト・イングリッシュII	1			
		△[フランス語I B]	2	△[中国語I A]	2					
		△[中国語I B]	2	△[中国語II]	2					
		△[ロシア語I A]	2	△[ロシア語II]	2					
		△[ロシア語I B]	2	△[スペイン語I A]	2					
		△[スペイン語I B]	2	△[スペイン語II]	2					
		△[朝鮮語I A]	2	△[朝鮮語II]	2					
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1								
	※生涯スポーツ演習II	1								
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目									
工 学 共 通 科 目	必修科目	微分積分I	2	物理学実験	2					
		微分積分II	2							
		行列と行列式I	2							
		行列と行列式II	2							
		力学A	2							
小計		14		2						
選 択 科 目	[図物]理	図物理	2	化学実験	2	基礎防災学	2			
			2	微分積分III	2					
			2	微分積分IV	2					
小計		6		8						
計		20		10						
専 門 教 育 科 目	必修科目	建設景観学	2	静定構造力学及び演習	3	橋梁工学	2	卒業論文	4	
		建設材料学	2	不静定構造力学及び演習	3	河川工学	2			
		環境工学概論	2	基礎水理学	2	地盤工学	2			
		測量実習	2	基礎水理学演習	1	都市計画	2			
		社会デザインの力学基礎	2	応用水理学	2	環境アセスメント	2			
		工業数学	2	応用水理学演習	1	構造・空間デザイン演習	2			
		社会デザインとの出会い	1	基礎地盤力学及び演習	3	材料・地盤実験	2			
				応用地盤力学及び演習	3	キャリアデザイン	2			
				社会基盤計画学	2	キャリア演習	1			
				交通計画学	2	技術者倫理	2			
				コンクリート工学	2					
				鉄筋コンクリート	2					
				建設施工学	2					
				地球環境工学	2					
				上下水道学	2					
		水理・環境実習	1							
小計		15		35		19		4		
選 択 科 目		耐震工学・地震防災	2							
		水資源工学	2							
		防災・環境地盤工学	2							
		景観デザイン論	2							
		建設マネジメント	2							
		廃棄物資源循環工学	2							
		実践測量実習	1							
		建設CAD	2							
		社会基盤の維持管理	2							
		工業火薬学	2							
小計						21				
計		15		35		40		4		

(注) (1) [ ] 内は今年度休講。

平成30年度入学生 (18台)

工学部 社会デザイン工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次																																			
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位																												
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2	哲学B 2	論理学A 2	論理学B 2	宗教学A 2	宗教学B 2	東洋史A 2	東洋史B 2	日本文学A 2	日本文学B 2	西洋文学A 2	西洋文学B 2	日本教育史A 2	西洋教育史A 2	政治学A 2	商学A 2	教育論A 2	地理学B 2	文化人類学A 2	文化人類学B 2															
		社会科学	法政学A 2	法政学B 2	政治学B 2	商教論B 2	心学A 2	地球科学入門A 2	自然科学入門A 2	地球環境学A 2	文化と教育A 2	福大生のためのキャリアデザインA 2	経済学A 2	社会原論A 2	教育原論B 2	新しい地球観A 2	自然科学と人間A 2	生命・健康と医療A 2	現代を生きるA 2	アカデミックスキルズゼミⅠA 2	アカデミックスキルズゼミⅡA 2	アカデミックスキルズゼミⅢA 2	アカデミックスキルズゼミⅣA 2	マクロの生物科学A 2	国際化と日本A 2	〔科学・技術・情報と社会〕A 2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶかA 2										
		自然科学	地球科学入門B 2	自然科学入門B 2	地球環境学B 2	文化と教育B 2	福大生のためのキャリアデザインB 2	経済学B 2	社会原論B 2	教育原論A 2	新しい地球観B 2	自然科学と人間B 2	生命・健康と医療B 2	現代を生きるB 2	アカデミックスキルズゼミⅠB 2	アカデミックスキルズゼミⅡB 2	アカデミックスキルズゼミⅢB 2	アカデミックスキルズゼミⅣB 2	マクロの生物科学B 2	国際化と日本B 2	〔科学・技術・情報と社会〕B 2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶかB 2															
		総合系列科目	地球環境学B 2	文化と教育B 2	福大生のためのキャリアデザインB 2	経済学B 2	社会原論B 2	教育原論A 2	新しい地球観B 2	自然科学と人間B 2	生命・健康と医療B 2	現代を生きるB 2	アカデミックスキルズゼミⅠB 2	アカデミックスキルズゼミⅡB 2	アカデミックスキルズゼミⅢB 2	アカデミックスキルズゼミⅣB 2	マクロの生物科学B 2	国際化と日本B 2	〔科学・技術・情報と社会〕B 2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶかB 2																	
	学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザインA 2	アカデミックスキルズゼミⅠA 2	アカデミックスキルズゼミⅡA 2	アカデミックスキルズゼミⅢA 2	アカデミックスキルズゼミⅣA 2	マクロの生物科学A 2	国際化と日本A 2	〔科学・技術・情報と社会〕A 2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶかA 2																											
			第1年次		第2年次		第3年次		第4年次																												
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位																											
	専攻科目	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1																										
			第2	△[ドイツ語ⅠA 2]	△[ドイツ語ⅠB 2]	△[フランス語ⅠA 2]	△[フランス語ⅠB 2]	△[中国語ⅠA 2]	△[中国語ⅠB 2]	△[ロシア語ⅠA 2]	△[ロシア語ⅠB 2]	△[スペイン語ⅠA 2]	△[スペイン語ⅠB 2]	△[朝鮮語ⅠA 2]	△[朝鮮語ⅠB 2]																						
		保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1	※生涯スポーツ演習Ⅱ 1																																	
単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目																																			
工学共通科目		必修科目	微分積分Ⅰ 2	微分積分Ⅱ 2	行列と行列式Ⅰ 2	行列と行列式Ⅱ 2	力学A 2	力学B 2	力学C 2	力学D 2	物理学実験 2																										
		選択科目	図物理学Ⅰ 2	図物理学Ⅱ 2	図物理学Ⅲ 2	図物理学Ⅳ 2	化学実験 2	微分積分Ⅲ 2	微分積分Ⅳ 2	基礎防災学 2																											
		小計	14																																		
		計	20																																		
専門教育科目		必修科目	建設景観学 2	建設材料学 2	環境工学概論 2	測量実習 2	社会デザインの力学基礎 2	工業数学 2	社会デザインとの出会い 1	静定構造力学及び演習 3	不静定構造力学及び演習 3	基礎水理学 2	基礎水理学演習 1	応用水理学 2	応用水理学演習 1	基礎地盤力学及び演習 3	応用地盤力学及び演習 3	社会基盤計画学 2	交通計画学 2	コンクリート工学 2	鉄筋コンクリート工学 2	建設施工学 2	地球環境工学 2	上下水道学 2	水理・環境実験 2	情報処理演習 1	橋梁工学 2	河川工学 2	地盤工学 2	都市計画 2	環境アセスメント 2	構造・空間デザイン演習 2	材料・地盤実験 2	キャリアデザイン 2	キャリア演習 1	技術者倫理 2	卒業論文 4
			小計	15									35									19		4													
	選択科目		耐震工学・地震防災 2	水資源工学 2	防災・環境地盤工学 2	景観デザイン論 2	建設マネジメント 2	廃棄物資源循環工学 2	実践測量実習 1	建設CAD 2	社会基盤の維持管理 2	工業火薬学 2																									
			小計	15									35									19		4													
			計	30									70									38		8													

(注) (1) [ ] 内は、今年度休講。

平成29年度入学生 (17台)

工学部 社会デザイン工学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 年次												
		授 業 科 目		単 位	授 業 科 目		単 位	授 業 科 目		単 位				
共 通 教 育 科 目	総合教養科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論 理 学	学A	2	論 理 学	学B	2
			倫 理 学	学A	2	倫 理 学	学B	2	宗 教 学	学A	2	宗 教 学	学B	2
			日 本 史	学A	2	日 本 史	学B	2	東 洋 史	学A	2	東 洋 史	学B	2
			西 洋 史	学A	2	西 洋 史	学B	2	日 本 文 学	学A	2	日 本 文 学	学B	2
			中 国 文 学	学A	2	中 国 文 学	学B	2	西 洋 文 学	学A	2	西 洋 文 学	学B	2
	自然科学	社会科学	法 政 治	学A	2	法 政 治	学B	2	日 本 教 育 史	学A	2	西 洋 教 育 史	学A	2
			商 教 育 論	学B	2	商 教 育 論	学B	2	日 本 教 育 憲 法	学A	2	政 治 学	学A	2
			地 球 圏 科 学 入 門	学A	2	地 球 圏 科 学 入 門	学B	2	日 本 教 育 憲 法	学B	2	商 教 育 学	学A	2
			自 然 科 学 入 門	学A	2	自 然 科 学 入 門	学B	2	日 本 教 育 憲 法	学B	2	商 教 育 学	学A	2
			地 球 環 境 科 学 入 門	学A	2	地 球 環 境 科 学 入 門	学B	2	日 本 教 育 憲 法	学B	2	商 教 育 学	学A	2
総合系列科目	学修基礎科目	地 球 環 境 科 学 入 門	学A	2	地 球 環 境 科 学 入 門	学B	2	日 本 教 育 憲 法	学B	2	商 教 育 学	学A	2	
		福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イ ン	学A	2	福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イ ン	学B	2	日 本 教 育 憲 法	学B	2	商 教 育 学	学A	2	
外 国 語 科 目	第 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ		1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ		1	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ		1	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ		1	
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ		1	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ		1	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ		1	アドバンスト・イングリッシュⅠ		1	
		※フレッシュマン・イングリッシュⅢ		1	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ		1	アドバンスト・イングリッシュⅡ		1				
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ		1	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ		1							
		海外英語研修		2	海外英語研修		2							
	第 2	△[ドイ ツ 語Ⅰ]	A	2	△[ドイ ツ 語Ⅱ]	B	2							
		△[ドイ ツ 語Ⅲ]	A	2	△[ドイ ツ 語Ⅳ]	B	2							
		△[フ ラ ン ス 語Ⅰ]	A	2	△[フ ラ ン ス 語Ⅱ]	B	2							
		△[中 国 語Ⅰ]	A	2	△[中 国 語Ⅱ]	B	2							
		△[中 国 語Ⅲ]	A	2	△[中 国 語Ⅳ]	B	2							
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ		1	※生涯スポーツ演習Ⅰ		1								
	※生涯スポーツ演習Ⅱ		1	※生涯スポーツ演習Ⅱ		1								
単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目												
工 学 共 通 科 目	必修科目	微 分 積 分Ⅰ	2	物 理 学 実 験	2									
		微 分 積 分Ⅱ	2											
		行 列 と 行 列 式Ⅰ	2											
		行 列 と 行 列 式Ⅱ	2											
		力 学Ⅰ	2											
小計			14			2								
選 択 科 目	[図 物 理 学Ⅰ]	化 学Ⅰ	2	化 学Ⅰ	2									
		化 学Ⅱ	2	化 学Ⅱ	2									
		物 理 学Ⅰ	2	化 学 実 験Ⅰ	2									
				化 学 実 験Ⅱ	2									
				微 分 積 分Ⅲ	2									
小計			6			10								
計				20			12							
専 門 教 育 科 目	必修科目	建 設 景 観 学	2	静 定 構 造 力 学 及 び 演 習	3	橋 梁 工 学	2	卒 業 論 文		4				
		建 設 材 料 学	2	不 静 定 構 造 力 学 及 び 演 習	3	河 川 工 学	2							
		環 境 工 学 概 論	2	基 礎 水 理 学	2	地 盤 工 学	2							
		測 量 実 習	2	基 礎 水 理 学 演 習	1	都 市 計 画	2							
		社 会 デ ザ イ ン の 力 学 基 礎	2	応 用 水 理 学	2	環 境 ア セ ス メ ン ト	2							
	工 業 数 学	2	応 用 水 理 学 演 習	1	構 造 ・ 空 間 デ ザ イ ン 演 習	2								
	社 会 デ ザ イ ン と の 出 会 い	1	基 礎 地 盤 力 学 及 び 演 習	3	材 料 ・ 地 盤 実 験	2								
			応 用 地 盤 力 学 及 び 演 習	3	キ ャ リ ア デ ザ イ ン	2								
			社 会 基 盤 計 画 学	2	キ ャ リ ア 演 習	1								
			交 通 計 画 学	2	技 術 者 倫 理	2								
小計			15			35								
選 択 科 目		耐 震 工 学 ・ 地 震 防 災	2											
		水 資 源 工 学	2											
		防 災 ・ 環 境 地 盤 工 学	2											
		景 観 デ ザ イ ン 論	2											
		建 設 マ ネ ジ メ ン ト	2											
小計			15			35								
計				35			38							

(注) (1) [ ] 内は、今年度休講。

令和6年度入学生 (24台)

工学部 建築学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次									
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日西史A 2 アジアの文学A 2 芸術A 2	哲学B 2 倫理学B 2 日西史B 2 アジアの文学B 2 芸術B 2	論理学A 2 宗教学A 2 東洋史A 2 日本文学A 2 西洋文学A 2 日本教育史 2	論理学B 2 宗教学B 2 東洋史B 2 日本文学B 2 西洋文学B 2 西洋教育史 2	社会科学	政治学B 2 商学B 2 教育論B 2 心理学A 2	経済学A 2 社会学A 2 教育の原理・課程論 2 心理學B 2	日経済学B 2 社会学B 2 社会学A 2 文化人類学A 2	政治学A 2 商学A 2 教育論A 2 文化人類学B 2
		自然科学	地球圏科学入門 2 自然科学入門 2	新しい地球観 2 自然科学と人間 2	ミクロの生物科学 2 自然地理学 2	マクロの生物科学 2					
		総合系列科目	福岡大学で考える現代社会 2								
		学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン データサイエンス・AI入門 2	アカデミックスキルズゼミⅠ 2	アカデミックスキルズゼミⅡ 2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか 2					
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次						
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	※インターメディアエト・イングリッシュⅠ 1 ※インターメディアエト・イングリッシュⅡ 1	※インターメディアエト・イングリッシュⅢ 1 ※インターメディアエト・イングリッシュⅣ 1 アドバンスト・イングリッシュⅠ 1 アドバンスト・イングリッシュⅡ 1						
			海外英語研修 2								
		第2	△ [ドイツ語ⅠA 2 ドイツ語ⅠB 2 フランス語ⅠA 2 フランス語ⅠB 2 △ [中国語ⅠA 2 中国語ⅠB 2 △ [ロシア語ⅠA 2 ロシア語ⅠB 2 △ [スペイン語ⅠA 2 スペイン語ⅠB 2 △ [朝鮮語ⅠA 2 朝鮮語ⅠB 2	ドイツ語Ⅱ 2 フランス語Ⅱ 2 中国語Ⅱ 2 ロシア語Ⅱ 2 朝鮮語Ⅱ 2							
			保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1 ※生涯スポーツ演習Ⅱ 1							
			単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目							
工学共通科目			必修科目	図学Ⅰ 2 図学Ⅱ 2							
			小計	4							
			選択科目	微分積分Ⅰ 2 微分積分Ⅱ 2 線形代数Ⅰ 2 線形代数Ⅱ 2 力学A 2 力学B 2 力学C 2	統計学Ⅰ 2 化学実験Ⅰ 2 化学実験Ⅱ 2 物理学実験 2						
			小計	16	8						
			小計	20	8						
専門教育科目	必修科目	静定構造力学Ⅰ 2 建築設計概論 2 建築環境学概論 2 情報処理演習 1	静定構造力学Ⅱ 2 不静定構造力学Ⅰ 2 建築構造材料 2 建築仕上材料 2 建築設計基礎 3 建築設計演習A 3 建築計画Ⅰ 2 建築計画Ⅱ 2 意匠論Ⅰ 2 建築環境学基礎 2 建築構造法 2 建築総合実験 2	建築法規 2 空気調和設備 2 都市計画Ⅰ 2 都市計画Ⅱ 2 建築設計計画 2 建築生産 2 建築学特別演習 1 耐震工学 2 建築設計演習B 3 建築の構造Ⅰ 2 建築の構造Ⅱ 2	卒業計画画 6 技術者倫理 2						
		小計	7	26	22	8					
		選択科目	構造力学演習Ⅰ 2 構造形実習Ⅰ 1 構造形実習Ⅱ 1	構造力学演習Ⅱ 1 構造力学演習Ⅲ 1 建築光環境 2 △建築史概論 2 建築CAD 2 プログラミング基礎 2 測量実習 2 建築キャリアデザイン 1 建築情報 2	不静定構造力学Ⅱ 2 建築材料性能計画 2 建築音環境 2 建築衛生設備 2 建築実務演習 2 建築構造設計 2 意匠論Ⅱ 2 総合設計演習A 3 木質構造 2 日本建築史 2 △近代建築史 2 ランドスケープデザイン論 2 総合工業論 2	建築マネジメント 2 建築構造設計演習 2 建築の防災と維持保全 2 総合設計演習B 3					
	小計	4	15	27	9						

(注) 専門教育科目・選択科目の△印のうち1科目以上修得すること。



令和4年度入学生(22台)

工学部 建築学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合教養科目	哲倫日西ア芸	2	哲倫日西ア芸	2	論宗東日西本	2	論宗東日西本	2	
		理本洋の文	2	理本洋の文	2	教東日西本	2	教東日西本	2	
		学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	
		学B	2	学A	2	学A	2	学B	2	
		学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	
	社会科学	法政商教心	2	法経社教心	2	日経社地文	2	西政商教地文	2	
		治育理	2	済会育の理	2	本教育憲	2	本教育憲	2	
		学B	2	学A	2	学B	2	学A	2	
		学B	2	学A	2	学B	2	学A	2	
		学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	
自然科学	地球圏科学入門	2	新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2		
	自然環境	2	自然科と健康	2	国際化と日本	2	[科学・技術・情報と社会]	2		
総合系列科目	地球環境と教育	2	現代を生きる	2						
	文化と教育	2	アカデミックスキルズゼミI	2	アカデミックスキルズゼミII	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2		
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIV	1	
		※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1	アドバンスト・イングリッシュI	1	アドバンスト・イングリッシュII	1	
		※フレッシュマン・イングリッシュIII	1							
		※フレッシュマン・イングリッシュIV	1							
	第2	△[ド] イ ツ 語 I A	2	△[フ] ラ ン ス 語 II A	2					
		△[ラ] ラ ン ス 語 I B	2	△[中] ロ ス ベ イ 語 II B	2					
		△[中] ロ ス ベ イ 語 I A	2	△[朝] ス イ 鮮 語 II	2					
		△[ス] シ ン ア ン 語 I A	2							
		△[ス] シ ン ア ン 語 I B	2							
		△[ス] シ ン ア ン 語 I A	2							
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1								
	※生涯スポーツ演習II	1								
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目									
工学共通科目	必修科目	微分積分学I	2	物理学実験	2					
		微分積分学II	2							
	小計	10		2						
	選択科目	微分積分学A	2	統計学実学C	2					
		微分積分学B	2							
	小計	10		6						
	必修科目	全コース共通	建築学概論I	2	構造力学の基礎I	2	建築法規と管理	2	卒業計画	6
			建築学概論II	2	構造力学の基礎II	2	都市環境と基礎	2	技術者倫理	2
			建築学概論III	3	構造力学の基礎III	2	鉄骨構造の基礎	2		
			建築学概論IV	3	構造力学の基礎IV	3	鉄骨構造の基礎	2		
建築学概論V			2	構造力学の基礎V	2	鉄骨コンクリート構造の基礎	2			
建築学概論VI			2	構造力学の基礎VI	2	建築生産管理	2			
建築学概論VII			1	構造力学の基礎VII	2	建築学特別演習	1			
小計			17	24	15					
総合コース			都市設計III	2	都市設計III	2	地域計画	2		
			都市設計II	3						
小計			11							
許諾コース	都市設計I	2	都市設計I	2						
	都市設計II	3								
小計			12							
構造コース	鉄骨構造の設計法	2	鉄骨構造の設計法	2						
	鉄骨構造の設計法	2								
小計			18							
選択科目	全コース共通	構造力学演習I	2	構造力学演習II	2	建築材料性能計画	2	建築防災	2	
		構造力学演習II	1	構造力学演習III	2	建築音環境	2	総合設計II	3	
		建築学概論I	2	建築学概論II	2	建築衛生設備	2			
		建築学概論II	2	建築学概論III	2	建築実務演習	2			
		建築学概論III	2	建築学概論IV	2	建築基礎構造	2			
		建築学概論IV	2	建築学概論V	2	建築構造設計	2			
		建築学概論V	2	建築学概論VI	2	建築構造設計	2			
		建築学概論VI	2	建築学概論VII	2	建築構造設計	2			
		建築学概論VII	1	建築学概論VIII	2	建築構造設計	2			
		小計	3	18	18					
総合コース	鉄骨構造の設計法	2	鉄骨構造の設計法	2	地域計画	2				
	鉄骨構造の設計法	2								
小計			19							
設計・計画コース	鉄骨構造の設計法	2	鉄骨構造の設計法	2						
	鉄骨構造の設計法	2								
小計			18							
構造コース	都市設計III	2	都市設計III	2	地域計画	2				
	都市設計II	3								
小計			12							

(注) (1) [ ]内は今年度休講。

令和3年度入学生 (21台)

工学部 建築学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次																
		授業科目				授業科目				授業科目				授業科目				
共通教育科目	総合教養科目	哲倫日西ア芸	理本洋の文	学A	2	哲倫日西ア芸	理本洋の文	学B	2	論宗東日西日本	理教洋文憲	学A	2	論宗東日西本	理教洋文憲	学A	2	
		学B	2	学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	学A	2	学B	2	学A	2	
外国語科目	第1	第1年次				第2年次				第3年次				第4年次				
		授業科目				授業科目				授業科目				授業科目				
保健体育科目	単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目																
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目																
工学共通科目	必修科目	微分積分学Ⅰ	2	物理学実験	2													
		微分積分学Ⅱ	2															
	小計	10			2													
	選択科目	微分積分学Ⅱ	2	統計学Ⅰ	2													
		微分積分学Ⅲ	2	統計学Ⅱ	2													
	小計	10			6													
	必修科目	全コース共通	建築学概論Ⅰ	2	構造力学Ⅰ	2	基礎Ⅱ	2	建築法規	2	環境管理	2	卒業者計画	6				
			建築学概論Ⅱ	2	構造力学Ⅱ	2	基礎Ⅲ	2	都市環境	2	建築管理	2	技術者倫理	2				
			建築学概論Ⅲ	2	構造力学Ⅲ	2	基礎Ⅳ	2	都市環境	2	建築管理	2						
			建築学概論Ⅳ	2	構造力学Ⅳ	2	基礎Ⅴ	2	都市環境	2	建築管理	2						
建築学概論Ⅴ			2	構造力学Ⅴ	2	基礎Ⅵ	2	都市環境	2	建築管理	2							
建築学概論Ⅵ			2	構造力学Ⅵ	2	基礎Ⅶ	2	都市環境	2	建築管理	2							
建築学概論Ⅶ			2	構造力学Ⅶ	2	基礎Ⅷ	2	都市環境	2	建築管理	2							
建築学概論Ⅷ			2	構造力学Ⅷ	2	基礎Ⅸ	2	都市環境	2	建築管理	2							
建築学概論Ⅸ			2	構造力学Ⅸ	2	基礎Ⅹ	2	都市環境	2	建築管理	2							
小計			17			24							8					
選択科目	総合コース	都市設計Ⅰ	2	都市設計Ⅱ	2	都市設計Ⅲ	2	都市設計Ⅳ	2	都市設計Ⅴ	2	地域計画Ⅰ	2					
		都市設計Ⅵ	2	都市設計Ⅶ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	地域計画Ⅱ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2							
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2							
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2							
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2							
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2							
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2							
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2							
		小計	11			11							2					
選択科目	総合コース	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		小計	11			11							2					
選択科目	総合コース	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		小計	11			11							2					
選択科目	総合コース	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2	都市設計Ⅷ	2					
		小計	11			11							2					

(注) (1) [ ] 内は今年度休講。

令和2年度入学生(20台)

工学部 建築学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合教養科目	哲倫理学A	2	哲倫理学B	2	論宗東日西	2	論宗東日西	2	
		哲倫理学B	2	哲倫理学A	2	論宗東日西	2	論宗東日西	2	
		哲倫理学A	2	哲倫理学B	2	論宗東日西	2	論宗東日西	2	
		哲倫理学B	2	哲倫理学A	2	論宗東日西	2	論宗東日西	2	
		哲倫理学A	2	哲倫理学B	2	論宗東日西	2	論宗東日西	2	
	社会科学	法政商教心	2	法政商教心	2	法政商教心	2	法政商教心	2	
		法政商教心	2	法政商教心	2	法政商教心	2	法政商教心	2	
		法政商教心	2	法政商教心	2	法政商教心	2	法政商教心	2	
		法政商教心	2	法政商教心	2	法政商教心	2	法政商教心	2	
		法政商教心	2	法政商教心	2	法政商教心	2	法政商教心	2	
自然科学	地球圏科学入門	2	地球圏科学入門	2	地球圏科学入門	2	地球圏科学入門	2		
	地球圏科学入門	2	地球圏科学入門	2	地球圏科学入門	2	地球圏科学入門	2		
総合系列科目	地球環境と教育	2	地球環境と教育	2	地球環境と教育	2	地球環境と教育	2		
	地球環境と教育	2	地球環境と教育	2	地球環境と教育	2	地球環境と教育	2		
学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	福大生のためのキャリアデザイン	2	福大生のためのキャリアデザイン	2	福大生のためのキャリアデザイン	2		
	福大生のためのキャリアデザイン	2	福大生のためのキャリアデザイン	2	福大生のためのキャリアデザイン	2	福大生のためのキャリアデザイン	2		
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアエイト・イングリッシュI	1	※インターメディアエイト・イングリッシュIII	1	※インターメディアエイト・イングリッシュIV	1	
		※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアエイト・イングリッシュII	1	※インターメディアエイト・イングリッシュIV	1	アドバンスト・イングリッシュI	1	
		※フレッシュマン・イングリッシュIII	1			アドバンスト・イングリッシュII	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュIV	1							
	第2	△[ド] イ ツ 語 I A	2	△[ド] イ ツ 語 II A	2					
		△[フ] ラ ン ス 語 I A	2	△[フ] ラ ン ス 語 II A	2					
		△[中] ロ 国 語 I A	2	△[中] ロ 国 語 II A	2					
		△[ス] シ ン ア 語 I A	2	△[ス] シ ン ア 語 II A	2					
		△[ス] シ ン ア 語 I B	2	△[ス] シ ン ア 語 II B	2					
		△[ス] シ ン ア 語 I B	2	△[ス] シ ン ア 語 II B	2					
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1								
	※生涯スポーツ演習II	1								
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目									
工学共通科目	必修科目	微分積分学I	2	物理学実験	2					
		微分積分学II	2							
	小計	10		2						
	選択科目	微分積分学A	2	統計学実験C	2					
		微分積分学B	2							
	小計	10		6						
	必修科目	全コース共通	建築学概論I	2	構造力学の基礎I	2	建築法規	2	環境工学	2
			建築学概論II	2	構造力学の基礎II	2	建築法規	2	環境工学	2
			建築学概論III	3	構造力学の基礎III	3	建築法規	2	環境工学	2
			建築学概論IV	3	構造力学の基礎IV	3	建築法規	2	環境工学	2
建築学概論V			2	構造力学の基礎V	2	建築法規	2	環境工学	2	
建築学概論VI			2	構造力学の基礎VI	2	建築法規	2	環境工学	2	
建築学概論VII			1	構造力学の基礎VII	1	建築法規	2	環境工学	2	
建築学概論VIII			1	構造力学の基礎VIII	1	建築法規	2	環境工学	2	
建築学概論IX			1	構造力学の基礎IX	1	建築法規	2	環境工学	2	
建築学概論X			1	構造力学の基礎X	1	建築法規	2	環境工学	2	
小計	17	24	15	8						
選択科目	総合コース	都市設計III	2	都市設計III	2	地域計画II	2			
		建築設計II	2	建築設計II	2					
	小計			11	2					
	許諾コース	都市設計III	2	都市設計III	2	都市設計III	2			
		建築設計III	2	建築設計III	2	建築設計III	2			
	小計			12						
	構造コース	鉄骨構造の設計法	2	鉄骨構造の設計法	2	鉄骨構造の設計法	2			
		鉄骨構造の設計法	2	鉄骨構造の設計法	2	鉄骨構造の設計法	2			
	小計			18						
	選択科目	全コース共通	構造力学演習I	2	構造力学演習II	2	建築材料性能計画	2	建築防犯II	2
構造力学演習II			1	構造力学演習III	2	建築材料性能計画	2	建築防犯II	3	
構造力学演習III			2	構造力学演習IV	2	建築材料性能計画	2	建築防犯II	2	
構造力学演習IV			2	構造力学演習V	2	建築材料性能計画	2	建築防犯II	2	
構造力学演習V			2	構造力学演習VI	2	建築材料性能計画	2	建築防犯II	2	
構造力学演習VI			2	構造力学演習VII	2	建築材料性能計画	2	建築防犯II	2	
構造力学演習VII			2	構造力学演習VIII	2	建築材料性能計画	2	建築防犯II	2	
構造力学演習VIII			2	構造力学演習IX	2	建築材料性能計画	2	建築防犯II	2	
構造力学演習IX			2	構造力学演習X	2	建築材料性能計画	2	建築防犯II	2	
構造力学演習X			2	構造力学演習XI	2	建築材料性能計画	2	建築防犯II	2	
小計	3	18	18	5						
選択科目	総合コース	鉄骨構造の設計法	2	鉄骨構造の設計法	2	鉄骨構造の設計法	2			
		鉄骨構造の設計法	2	鉄骨構造の設計法	2	鉄骨構造の設計法	2			
	小計			19						
	設計・計画コース	鉄骨構造の設計法	2	鉄骨構造の設計法	2	鉄骨構造の設計法	2	地域計画II	2	
		鉄骨構造の設計法	2	鉄骨構造の設計法	2	鉄骨構造の設計法	2			
	小計			18	2					
	構造コース	都市設計III	2	都市設計III	2	都市設計III	2			
		建築設計III	2	建築設計III	2	建築設計III	2			
	小計			12						

(注) (1) [ ]内は今年度休講。



平成31年度入学生 (19台)

工学部 建築学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 年 次																	
		授 業 科 目				授 業 科 目				授 業 科 目				授 業 科 目					
学 科	教 育 科 目	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位		
		共 通 教 育 科 目	総合教養科目	哲倫日西ア芸	2	哲倫日西ア芸	2	論宗東日西日本	2	論宗東日西日本	2	論宗東日西日本	2	論宗東日西日本	2	論宗東日西日本	2	論宗東日西日本	2
人文科学	2			人文科学	2	人文科学	2	人文科学	2	人文科学	2	人文科学	2	人文科学	2	人文科学	2	人文科学	2
社会科学	2			社会科学	2	社会科学	2	社会科学	2	社会科学	2	社会科学	2	社会科学	2	社会科学	2	社会科学	2
自然科学	2			自然科学	2	自然科学	2	自然科学	2	自然科学	2	自然科学	2	自然科学	2	自然科学	2	自然科学	2
総合系列科目	2			総合系列科目	2	総合系列科目	2	総合系列科目	2	総合系列科目	2	総合系列科目	2	総合系列科目	2	総合系列科目	2	総合系列科目	2
外国語科目	第1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	第2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	保健体育科目		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目																
	工学共通科目		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
専 門 教 育 科 目	必修科目	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
	選択科目	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

(注) (1) [ ] 内は今年度休講。

平成30年度入学生 (18台)

工学部 建築学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次															
		授業科目			授業科目			授業科目			授業科目						
共通教育科目	総合教養科目	哲倫学A	理本学A	学西中法A	単位	哲倫学B	理本学B	学西中法B	単位	論東理学A	教東理学A	学東理学A	単位	論東理学B	教東理学B	学東理学B	単位
		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI			1	※インターメディアエイト・イングリッシュI			1	※インターメディアエイト・イングリッシュIII			1	※インターメディアエイト・イングリッシュIV			1
		※フレッシュマン・イングリッシュII			1	※インターメディアエイト・イングリッシュII			1	アドバンスト・イングリッシュI			1	アドバンスト・イングリッシュII			1
保健体育科目	第2	△[ド]	△[イ]	△[ツ]	単位	海外英語研修			2								
		2	2	2	2	海外英語研修			2								
単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち工学部教授会が適当と認める科目															
工学共通科目	必修科目	微分積分学I	単位	物理学実験			2										
		2	2	物理学実験			2										
小計		10			2												
選択科目	微分積分学II	単位	統計学実習			2											
		2	統計学実習			2											
小計		10			6												
計		20			8												
専門教育科目	必修科目	建築概論I	単位	基礎工学I			2	建築法規			2	卒業設計					
		2	2	基礎工学I			2	建築法規			2	卒業設計					
小計		16			25			14			8						
選択科目	総合コース	都市設計III	単位	地域計画			2										
		2	地域計画			2											
小計		11			2												
構造コース	都市設計III	単位	総合設計I			2											
		2	総合設計I			2											
小計		11			3												
設計計画コース	都市設計III	単位	近代建築論II			2											
		2	近代建築論II			2											
小計		18			12												
選択科目	総合コース	構造力学演習I	単位	建築材料性能計画			2	建築防炎			2						
		2	2	建築材料性能計画			2	建築防炎			2						
小計		4			17			16			2						
設計計画コース	総合コース	構造力学演習II	単位	総合設計II			2										
		2	総合設計II			2											
小計		16			3												
構造コース	設計計画コース	構造力学演習II	単位	地域計画			2										
		2	地域計画			2											
小計		18			19			3			2						
小計		12			12			2			3						

(注) (1) [ ] 内は今年度休講。

平成29年度入学生 (17台)

工学部 建築学科

※印は必修  
△印は選択必修

		第 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 年 次																
		授 業 科 目				授 業 科 目				授 業 科 目				授 業 科 目				
学 科	専 攻	哲 倫 理 学 A	倫 理 学 A	西 史 A	西 史 A	西 史 A	西 史 A	西 史 A	西 史 A	西 史 A	西 史 A	西 史 A	西 史 A	西 史 A	西 史 A	西 史 A		
		共 通 教 育 科 目	総 合 教 養 科 目	哲 倫 理 学 B	倫 理 学 B	西 史 B	西 史 B	西 史 B	西 史 B	西 史 B	西 史 B	西 史 B	西 史 B	西 史 B	西 史 B	西 史 B	西 史 B	西 史 B
法 政 商 教 育 学 A	法 政 商 教 育 学 B			法 政 商 教 育 学 A	法 政 商 教 育 学 B	法 政 商 教 育 学 A	法 政 商 教 育 学 B	法 政 商 教 育 学 A	法 政 商 教 育 学 B	法 政 商 教 育 学 A	法 政 商 教 育 学 B	法 政 商 教 育 学 A	法 政 商 教 育 学 B	法 政 商 教 育 学 A	法 政 商 教 育 学 B	法 政 商 教 育 学 A	法 政 商 教 育 学 B	
地 球 圏 科 学 入 門	地 球 圏 科 学 入 門			地 球 圏 科 学 入 門	地 球 圏 科 学 入 門	地 球 圏 科 学 入 門	地 球 圏 科 学 入 門	地 球 圏 科 学 入 門	地 球 圏 科 学 入 門	地 球 圏 科 学 入 門	地 球 圏 科 学 入 門	地 球 圏 科 学 入 門	地 球 圏 科 学 入 門	地 球 圏 科 学 入 門	地 球 圏 科 学 入 門	地 球 圏 科 学 入 門	地 球 圏 科 学 入 門	
地 文 化 と 環 境 育 成	地 文 化 と 環 境 育 成			地 文 化 と 環 境 育 成	地 文 化 と 環 境 育 成	地 文 化 と 環 境 育 成	地 文 化 と 環 境 育 成	地 文 化 と 環 境 育 成	地 文 化 と 環 境 育 成	地 文 化 と 環 境 育 成	地 文 化 と 環 境 育 成	地 文 化 と 環 境 育 成	地 文 化 と 環 境 育 成	地 文 化 と 環 境 育 成	地 文 化 と 環 境 育 成	地 文 化 と 環 境 育 成	地 文 化 と 環 境 育 成	
福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イン	福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イン			福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イン	福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イン	福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イン	福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イン	福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イン	福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イン	福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イン	福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イン	福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イン	福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イン	福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イン	福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イン	福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イン	福 大 生 の た め の キ ャ リ ア デ ザ イン	
外 国 語 科 目	第 1		※ フレッシュマン・イングリッシュ I	※ フレッシュマン・イングリッシュ II	※ フレッシュマン・イングリッシュ III	※ フレッシュマン・イングリッシュ IV	※ インターメディアイト・イングリッシュ I	※ インターメディアイト・イングリッシュ II	※ インターメディアイト・イングリッシュ III	※ インターメディアイト・イングリッシュ IV	アドバンスト・イングリッシュ I	アドバンスト・イングリッシュ II						
	第 2		△ [ド] フ	△ [ラ] フ	△ [中] ロ	△ [ロ] ス	△ [ス] ベ	△ [ベ] 朝	△ [朝] 鮮	△ [鮮] 語	△ [語] 学	△ [学] 語	△ [語] 学	△ [学] 語	△ [語] 学	△ [学] 語	△ [語] 学	
	保 健 体 育 科 目		※ 生 涯 ス ポ ー ツ 演 習 I	※ 生 涯 ス ポ ー ツ 演 習 II														
	単 位 互 換 科 目		他 大 学 ( 短 期 大 学 を 含 む 。 ) の 授 業 科 目 の う ち 工 学 部 教 授 会 が 適 当 と 認 め る 科 目															
	工 学 共 通 科 目		必 修 科 目	微 分 積 分 I	行 列 行 列 式 I	物 理 学 実 験												
専 門 教 育 科 目	必 修 科 目	小 計	10	10	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
		選 択 科 目	微 分 積 分 II	行 列 行 列 式 II	統 計 学 実 験 C													
		小 計	10	10	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
		全 コー ス 共 通	建 築 学 概 論 I	建 築 学 概 論 II	構 造 力 学 の 基 礎 I	構 造 力 学 の 基 礎 II	建 築 法 規 備 考	建 築 法 規 備 考	建 築 法 規 備 考	建 築 法 規 備 考	建 築 法 規 備 考	建 築 法 規 備 考	建 築 法 規 備 考	建 築 法 規 備 考	建 築 法 規 備 考	建 築 法 規 備 考	建 築 法 規 備 考	
		小 計	16	16	25	25	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	
	選 択 科 目	全 コー ス 共 通	構 造 形 学 演 習 I	構 造 形 学 演 習 II	建 築 材 料 性 能 計 画	建 築 材 料 性 能 計 画	建 築 材 料 性 能 計 画	建 築 材 料 性 能 計 画	建 築 材 料 性 能 計 画	建 築 材 料 性 能 計 画	建 築 材 料 性 能 計 画	建 築 材 料 性 能 計 画	建 築 材 料 性 能 計 画	建 築 材 料 性 能 計 画	建 築 材 料 性 能 計 画	建 築 材 料 性 能 計 画	建 築 材 料 性 能 計 画	
		小 計	4	4	15	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
		設 計 計 画 コー ス	地 震 工 学 概 論	地 震 工 学 概 論	地 震 工 学 概 論	地 震 工 学 概 論	地 震 工 学 概 論	地 震 工 学 概 論	地 震 工 学 概 論	地 震 工 学 概 論	地 震 工 学 概 論	地 震 工 学 概 論	地 震 工 学 概 論	地 震 工 学 概 論	地 震 工 学 概 論	地 震 工 学 概 論	地 震 工 学 概 論	
		小 計			19	19	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
		小 計			12	12	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

(注) (1) [ ] 内は今年度休講。

# 福岡大学成績考査規程

第1条 福岡大学学則（以下「学則」という。）に定める試験の実施及び成績考査については、学則第35条から第39条までに定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

第2条 試験は、次の各号のいずれかの方法によるものとする。

- (1) 試験時に筆記により行うもの
- (2) 教務委員会が認めた方法により行うもの

第2条の2 各授業科目の成績の評価は、試験により行う。ただし、平素の学習状況を考慮することができる。

- 2 前項本文の規定にかかわらず、教授会等において、演習、演習及び論文、実習、実験、実技その他これに準ずるものと認められた授業科目又はその開講期間内に適正な成績評価を行うことが可能であると認められた授業科目の成績については、試験によらず、これを評価することができる。
- 3 開講期間が通年の授業科目の成績評価を行うときは、各学期の成績を考慮する。
- 4 授業科目を履修し、合格の成績評価を得た学生には、その授業科目所定の単位を与える。ただし、各学期の授業料等納入金又は各授業科目の受講料を納入していないときは、当該各学期又は当該各授業科目についての成績評価を行わない。

第3条 次の各号のいずれかに該当する場合には、試験を受けることができない。

- (1) 試験を受けようとする授業科目をその学年において登録していないとき。
- (2) 受験中に学生証を所持していないとき。
- (3) 試験開始後20分以上遅刻したとき。

2 前項の規定により、試験を受けなかった授業科目は無効とする。

第3条の2 医学部医学科の時間制の授業科目については、出席時間数が授業を行った時間数の3分の2に満たない場合、原則として試験を受けることができない。

2 医学部看護学科の専門基礎科目及び専門教育科目の講義・演習科目については、出席回数が実施授業回数の3分の2に満たない場合、原則として試験を受けることができない。その場合、当該授業科目の成績評語は放棄とし、追試験の対象としない。また、専門教育科目の実習科目については、出席回数が実施授業回数の4分の3に満たない場合、原則として成績評価を受けることができない。その場合も当該科目の成績評語は放棄とする。

第4条 成績評価は評点をもって行い、成績通知は評点又は秀(A)、優(B)、良(C)、可(D)、不可(F)、放棄(H)の成績評語をもって行う。ただし、教務委員会が認める授業科目（評点による成績評価を行わない授業科目に限る。）については、評点及び成績評語によらず、合否のみにより成績評価及び成績通知を行うことができる。

2 次の各号に掲げる成績評語は、当該各号に定める評点等を基準に区分する。

- (1) 秀(A) 100点から90点まで
- (2) 優(B) 89点から80点まで
- (3) 良(C) 79点から70点まで
- (4) 可(D) 69点から60点まで
- (5) 不可(F) 59点以下
- (6) 放棄(H) 試験放棄又は成績評価不能

3 第1項本文の規定により成績評価を行う授業科目は、前項の成績標語が秀(A)、優(B)、良(C)及び可(D)であるものを合格とし、不可(F)であるものを不合格とする。

4 履修した授業科目のうち、第1項本文の規定により成績評価を行うものについては、評点等に応じ、次に掲げる GP 評点を与える。

- (1) 100点から90点まで=4.0
- (2) 89点から80点まで=3.0
- (3) 79点から70点まで=2.0

(4) 69点から60点まで=1.0

(5) 59点以下及び試験放棄又は成績評価不能=0.0

5 履修した評点により成績評価を行う各授業科目のGP評点に当該各授業科目の単位数を乗じて算出した値の総和を履修登録した授業科目の総単位数で除した値を、GPA評価とする。ただし、福岡大学(以下「本学」という。)における授業科目の履修により修得したものとみなして単位を認定した授業科目及び合否のみにより成績評価を行う授業科目については、GPA評価の対象としない。

第5条 受験中に不正行為を行った者に対しては、当該期間(前期又は後期)に完結する全授業科目及び通年で実施する全授業科目を放棄とみなす。

2 前項で放棄とみなした科目については、追試験の対象としない。

第5条の2 受験中に答案を持ち出した者に対しては、その受験科目を放棄とみなす。

2 前項で放棄とみなした科目については、追試験の対象としない。

第6条 病気その他やむを得ない理由によって定期試験を受験することができなかった者に対しては、本人の願出により追試験を行うことがある。

2 追試験の願出は、所定の書式により、病気の場合には医師の診断書を、病気以外のやむを得ない理由の場合には証明書を添え、定期試験終了後5日以内に学生課に提出しなければならない。

第7条 追試験は、定期試験終了後本学が定める日に1回だけ行う。

第8条 追試験を受験した者の評価は、80点を限度とする。ただし、情状によりこの制限を免除し、又は緩和することがある。

第9条 合格点の成績評価を得た授業科目は、再履修することができない。

第10条 授業科目の再履修により合格点を得た場合は、その合格点をもって以前の不合格点に代える。

第11条 追試験の受験料は1科目につき2,000円とする。ただし、情状によりこれを減額又は免除することがある。

2 いったん納めた受験料は、これを返還しない。

第12条 次の者に対しては、本人の願出により当該年度に受験した定期試験の授業科目について、学年末に再試験を行うことがある。

(1) 第4年次以上(薬学部は第6年次以上)の卒業見込者にして、既得単位数と新たに登録した単位数との和が卒業に必要な単位数に達し、かつ、その必要単位数のうち8単位以内の不合格点を得た者(後期の追試験の結果、不合格点を得た者を除く。)

(2) 教職課程、博物館学芸員課程、社会教育主事課程及び日本語教員課程資格取得を目的とする場合、第4年次以上の卒業見込者にして、既得単位数と新たに登録した単位数との和が各課程の資格取得に必要な単位数に達し、かつ、その必要単位数のうち各課程につき4単位以内の不合格点を得た者。(当該学科の卒業に必要な単位数に算入しない科目に限る。)ただし、後期の追試験の結果、不合格点を得た者を除く。

(3) 理学部の第2年次生にして、不合格の成績評価を得た者(後期の追試験の結果、不合格点を得た者を除く。)

(4) 医学部医学科の学生にして、不合格の成績評価を得た者。ただし、単位制の授業科目については、15単位以内とする。第3学年及び第4学年の専門教育科目については、その学年の授業科目数の60パーセント以内とする。(追試験の結果、不合格点を得た授業科目を含む。)

(5) 医学部看護学科の第1年次生から第3年次生については、次のとおりとする。

ア 第1年次生及び第2年次生にして、不合格の成績評価を得た者で、再試験により、進級の見込みのある者。ただし、各年次8単位以内とする。(各年次の後期の追試験の結果、不合格点を得た授業科目を除く。)

イ 第3年次生にして、前期に開講する専門基礎科目及び専門教育科目について不合格の成績評価を得た者で、再試験により、第3年次後期に開講する看護学実習科目の履修見込みのある者。ただし、8単位以内(前期の追試験の結果、不合格点を得た授業科目を除く。)とし、本項柱書きの規定にかかわらず再試験は前期末に実施する。

(6) 薬学部の第1年次生から第5年次生にして不合格の成績評価を得た者で、再試験により、進級の見

込みのある者（後期の追試験の結果、不合格点を得た者を除く。）

第13条 再試験の願出は、前条第1号については、卒業に必要な最小限度の単位数（8単位以内）、同条第2号については、各課程の資格取得に必要な最小限度の単位数（4単位以内）とし、成績発表後所定の期日までに、願書を各学部等の教務担当事務課（室）に提出しなければならない。

2 理学部学生の再試験の願出は、前条第3号については、8単位以内とし、成績発表後所定の期日までに願書を教務三課に提出しなければならない。

3 医学部医学科学生の再試験の願出は、成績発表後所定の期日までに、願書を医学部事務課に提出しなければならない。

4 医学部看護学科学生の再試験の願出は、前条第5号アについては、成績発表後所定の期日までに、同号イについては、別途定める日までに願書を看護学科事務室に提出しなければならない。

5 薬学部学生の再試験の願出は、前条第1号については、卒業に必要な最小限度の単位数（8単位以内）、同条第6号については、進級に必要な最小限度の単位数（8単位以内かつ4科目以内）とし、成績発表後所定の期日までに願書を教務三課に提出しなければならない。ただし、同号の第3年次生については、共通教育科目の再試験は行わない。また、専門教育科目については、再試験の結果、上位年次に進級できない者は、その再試験を無効とする。

第14条 再試験の得点は、60点を限度とする。

第15条 再試験の受験料は1単位につき1,000円とする。ただし、医学部医学科の時間制の専門教育科目は、1科目につき4,000円とする。

2 いったん納めた受験料は、これを返還しない。

#### 附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

## 福岡大学における既修得単位等の取扱いに関する規程

第1条 福岡大学学則（以下「学則」という。）第34条の3第1項又は第34条の4第1項（学則第34条の3第4項又は第34条の4第6項により準用される場合を含む。）により修得したものとみなすことのできる単位及び学則第34条の3の2第1項又は第34条の4第2項（学則第34条の3の2第4項又は第34条の4第6項により準用される場合を含む。）により認定することのできる単位の取扱いについては、学則第34条の3から第34条の4の2までに定めるほか、この規程による。

2 この規程は、学則第33条第2項の規定により授業時間の履修をもって単位の修得に代える授業科目について、これを準用する。

第2条 学則第34条の3の2の規定により、本学において単位を認定することのできる学修は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 大学の専攻科における学修

(2) 高等専門学校課程における学修で、教務委員会において大学教育に相当する水準を有すると認められたもの

(3) 専修学校の専門課程のうち修業年限が2年以上のものにおける学修で、教務委員会において大学教育に相当する水準を有すると認められたもの

(4) 教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第6条別表第三備考第4号の規定により文部科学大臣の認定を受けて大学、短期大学等が行う講習又は公開講座における学修で、教務委員会において大学教育に相当する水準を有すると認められたもの

(5) 社会教育法（昭和24年法律第207号）第9条の5の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学、短期大学その他の教育機関が行う社会教育主事の講習における学修で、教務委員会において大学教育に相当する水準を有すると認められたもの

(6) 図書館法（昭和25年法律第118号）第6条の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学又は短期大学が行う司書及び司書補の講習における学修で、教務委員会において大学教育に相当する水準を有すると認められたもの

(7) 学校図書館法（昭和28年法律第185号）第5条第3項の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学又は短期大学が行う司書教諭の講習における学修で、教務委員会において大学教育に相当する水準を有すると認められたもの

(8) 青少年及び成人の学習活動に係る知識・技能審査事業の認定に関する規則（平成12年文部省令第25号）又は技能審査の認定に関する規則（昭和42年文部省告示第237号）による文部科学大臣の認定を受けた技能審査の合格に係る学修で、教務委員会において大学教育に相当する水準を有すると認められたもの

(9) アメリカ合衆国の営利を目的としない法人であるエデュケーショナル・テスト・サービスが英語の能力を判定するために実施するトフル及びトイック又は次に掲げる要件を備えた知識及び技能に関する審査であってこれらと同等以上の社会的評価を有するものにおける成果に係る学修で、教務委員会において大学教育に相当する水準を有すると認められたもの

ア 審査を行うものが国又は民法（明治29年法律第89号）第34条の規定による法人その他の団体であること。

イ 審査の内容が、学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する大学の目的に照らし適切なものであること。

ウ 審査が全国的な規模において、毎年1回以上行われるものであること。

エ 審査の実施方法が、適切かつ公正であること。

2 前項に基づいて当該学修をもって単位を認定する授業科目が共通教育科目である場合については、教授会に先立って、教務委員会の議を経るものとする。

第3条 学則第34条の3第1項又は第34条の3の2第1項（学則第34条の3第4項又は第34条の3の2第4項により準用される場合を含む。）の規定に基づく単位の取扱いを受けようとする者は、各年度にお

いて1月20日までに単位修得申請書（所定書式）に学業成績証明書（高等専門学校、専修学校専門課程等にあつては授業科目等の内容を明記したものを添付すること。）等を添えて、教務部長に提出すべきものとする。ただし、本学との協定等により学生が他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）において履修した授業科目について修得した単位を本学における授業科目の履修により修得したものとみなす場合及び本学との協定等により学生が外国の大学又は短期大学において行った学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を認定する場合については、この限りではない。

2 学則第34条の4第1項又は第2項（学則第34条の4第6項により準用される場合を含む。）の規定に基づく単位の取扱いを受けようとする者は、入学した年度の4月20日までに単位修得申請書（所定書式）に学業成績証明書（高等専門学校、専修学校専門課程等にあつては授業科目等の内容を明記したものを添付すること。）等を添えて、教務部長に提出すべきものとする。

第4条 教務部長は、学則第34条の3第3項、第34条の3の2第3項及び第34条の4第5項に定める場合（学則第34条の3第4項、第34条の3の2第4項又は第34条の4第6項により準用される場合を含む。）には教務委員会の議を経たうえで、前条に基づく申請書を申請者である学生が所属する学部の教授会に回付するものとする。

第5条 学則第34条の3第1項又は第34条の4第1項（学則第34条の3第4項又は第34条の4第6項により準用される場合を含む。）により単位を修得したものとみなす場合及び学則第34条の3の2第1項又は第34条の4第2項（学則第34条の3の2第4項又は第34条の4第6項により準用される場合を含む。）により単位を認定する場合に、教授会は、本学におけるいずれの授業科目について単位を取得したものとみなし、又は認定するのかを特定しなければならない。ただし、他の大学又は短期大学（以下この条において「他大学等」という。）との協定に基づき、学生が他大学等で開講された授業科目（本学及び他大学等において共同で開講する授業科目を含む。）の修得単位の取扱いについては、この限りでない。

2 前項に基づいて本学におけるいずれの授業科目について単位を修得したものとみなし、又は認定するのかを特定するにあつては、学生が他の大学若しくは短期大学において修得した授業科目の授業時間数又は学生が行った短期大学若しくは高等専門学校の専攻科における学修又はその他別に定める学修（学則第34条の3の2第4項により準用される場合にあつては、本学との協定等により学生が外国の大学又は短期大学において行った学修）の時間数を考慮すべきものとする。

第6条 学科履修規程第5条によって定められた当該年度において履修できる単位数を超えて、学則第34条の3第1項及び第34条の3の2第1項（学則第34条の3第4項又は第34条の3の2第4項により準用される場合を含む。）により単位を修得したものとみなし、又は単位を認定することはできないものとする。

第7条 学則第34条の4第2項（学則第34条の4第6項により準用される場合を含む。）により単位の認定を受けようとする者は、その対象となる学修が学則第34条の4第1項（学則第34条の4第6項により準用される場合を含む。）に規定する本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位として認定されていないことの証明書等を提出しなければならない。

第8条 編入学及び転入学の場合に、学則第34条の4第1項及び第2項（学則第34条の4第6項により準用される場合を含む。）により単位を修得したものとみなし、又は認定することのできる単位数については、教務委員会の申合せによって定めるものとする。

第9条 学則第34条の3第1項又は第34条の4第1項（学則第34条の3第4項又は第34条の4第6項により準用される場合を含む。）により単位を修得したものとみなされた本学における授業科目及び学則第34条の3の2第1項又は第34条の4第2項（学則第34条の3の2第4項又は第34条の4第6項により準用される場合を含む。）により単位を認定された本学における授業科目は、特待生の選考にあつて考慮しない。

#### 附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。



# 福岡大学における単位互換等の取扱いに関する規程

(趣 旨)

第1条 福岡大学学則（以下「学則」という。）第34条の3に基づき、本学が他の大学又は短期大学（以下「他大学等」という。）との協定により、本学及び他大学等で開講し、履修ができると認められた授業科目（本学及び他大学等において共同で開講する授業科目を含む。以下「単位互換科目等」という。）を履修し、修得した単位を学生が所属する本学の学部及び他大学等において認定する単位互換の取扱い、並びに学則第53条に定める特別聴講学生の取扱いその他必要な事項について、別に定めある場合を除き、この規程による。

(定 義)

第2条 この規程における用語の定義は、次の各号に定める。

(1) 単位互換科目履修生とは、本学に在籍する2年次以上の学部学生で、単位互換科目等の履修を志願し、他大学等においてその履修が許可された者をいう。

(2) 特別聴講学生とは、他大学等に在籍する学生で、本学における単位互換科目等の履修を志願し、本学がその履修を許可した者をいう。

(他大学等における単位互換科目等の決定)

第3条 単位互換科目履修生が受講できる単位互換科目等は、教務委員会が適当と認める授業科目とする。

2 前項の授業科目が単位互換科目履修生が所属する学部において共通教育科目以外の科目である場合は、当該学部教授会で審議し、所定の時期までに単位互換科目等として決定するものとする。

3 第1項の授業科目が単位互換科目履修生が所属する学部において共通教育科目である場合は、当該学部教授会のほか、教務委員会においても審議し、所定の時期までに単位互換科目等として決定するものとする。

(履修登録単位数)

第4条 単位互換科目履修生の履修登録単位数については、各年度8単位以内、合計20単位（共通教育科目8単位、共通教育科目以外の科目12単位）以内を限度とし、別に定める。

2 前項の履修登録単位数は、1年間に履修する単位数に含めるものとする。

(手 続)

第5条 単位互換科目履修生として単位互換科目等の履修を志願する学生は、所定の期日までに科目履修願を教務部長に提出しなければならない。

(許 可)

第6条 教務部長は、前条の学生を他大学等に通知し、履修の許可を得なければならない。

2 学長は、他大学等から履修を許可された学生を単位互換科目履修生として許可する。

(履修の時期及び期間)

第7条 単位互換科目履修生として履修する時期及び期間は、協定で定めた時期及び期間とする。

(授 業 料)

第8条 単位互換科目履修生は協定に基づき、他大学等における授業料を免除する。

(単位の認定)

第9条 単位互換科目履修生が履修した単位互換科目等の単位については、教務委員会の議を経て、当該学部教授会で認定する。

2 前項の認定は、前期集中講義科目及び前期完結科目については後期に、後期集中講義科目、後期完結科目及び通年科目については翌年度の前期に行う。ただし、卒業する学期において履修した科目の単位は認定しない。

3 単位互換科目履修生が履修できる単位互換科目等の認定を実施する学部、学科その他必要な事項については、別に定める。

(単位互換科目履修生の責務)

第10条 単位互換科目履修生は、この規程のほか、履修が許可された他大学等の諸規則を遵守しなければならない。

ならない。

(履修許可の取消)

第11条 学長は、単位互換科目履修生が次の各号のいずれかに該当するときは、他大学等と協議した上で、教授会の議を経てその許可を取り消すことができる。

(1) 成績不振等で成業の見込みがないと認められるとき。

(2) 単位互換科目履修生としてふさわしくない行為があると認められるとき。

(受入の時期)

第12条 特別聴講学生として受入れる時期及び期間は、協定で定めた学期又は学年の始めとする。

(本学における単位互換科目等の決定)

第13条 特別聴講学生が受講できる単位互換科目等は、これを開講する学部の教授会で審議し、所定の時期までに単位互換科目等として決定した科目とする。ただし、本学における共通教育科目を単位互換科目等とする場合は、教務委員会において審議し、決定する。

2 前項の単位互換科目等は、原則として講義科目に限るものとする。ただし、特別な事情がある場合は、この限りでない。

(受入の手続)

第14条 特別聴講学生として単位互換科目等の履修を志願する学生は、所定の期日までに在籍する他大学等を通じて所定の事項を記載した書類を教務部長に提出しなければならない。

(受講の許可)

第15条 前条の学生については、受講を希望する単位互換科目等の担当者及び開講する学部の教授会が了承し、本学の教育に支障のない範囲において、学長が特別聴講学生として許可し、学生が在籍する他大学等へ通知する。

(成績評価)

第16条 特別聴講学生の成績評価は、福岡大学の成績考査規程の定めるところにより行う。

(選考料等)

第17条 特別聴講学生は協定に基づき、本学における選考料及び授業料を免除する。ただし、本学の定めるところにより、教材費その他必要な費用は徴収することができる。

(特別聴講学生証)

第18条 特別聴講学生には、特別聴講学生証を交付する。

2 特別聴講学生が登校するときは、特別聴講学生証を常に携帯しなければならない。

(取 消)

第19条 特別聴講学生が次の各号のいずれかに該当する場合は、履修の許可を取り消す。

(1) 他大学等に在籍しなくなったとき。

(2) 本学の学則等に違反したとき。

(規程の準用)

第20条 この規程に定めるもののほか、特別聴講学生の取扱いについて必要な場合は、学則その他学内規程を準用する。

(そ の 他)

第21条 この規程に定めのない事項については、本学と他大学等との協定に基づき協議する。

附 則

この規程は、令和3年12月1日から施行する。

## 福岡大学転部・転科に関する規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、福岡大学学則第23条の2第3項の規定に基づき、転部・転科に関して必要な事項を定める。

(転部・転科年次及び在学期間)

第2条 転部・転科は、原則として当該学部の第2年次又は第3年次として許可し、その時期は学年の始めとする。

2 転部・転科をした学生の在学期間は、本学入学後、原則として通算8年を超えることはできない。ただし、医学部医学科及び薬学部については、原則として通算12年を超えることはできない。

(選 考)

第3条 転部・転科は、選考の上、決定する。

2 選考の方法は、別に定める。

(志願手続)

第4条 転部・転科を志願する者は、所定の期日までに必要な書類を学長に提出しなければならない。

(合否判定及び単位認定)

第5条 選考試験の合否の判定及び既に修得した授業科目の単位の認定は、教授会の議を経て、学長がこれを行う。

(許 可)

第6条 選考試験に合格した者は、別に定める納付金を予定の期日までに納付しなければならない。

2 学長は、前項の手続きを完了した者に転部・転科を許可する。

3 転部・転科を許可された者の授業料等納入金は、別に定める。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

# 福岡大学授業料その他諸納入金規程

第1条 福岡大学（以下「本学」という。）の学生から徴収する授業料等納入金及び受講料並びに本学の科目等履修生及び研究生から徴収する受講料等については、特に定めがある場合を除き、この規程による。

第2条 授業料等納入金の額は、福岡大学学則又は福岡大学大学院学則の定めるところによる。

2 前項の授業料等納入金の納入は、分割して行うものとし、納入期日は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める日とする。ただし、第1期分納入時に全納することを妨げない。

(1) 第1期分 毎年5月31日まで（新入生は、別に定める。）

(2) 第2期分 毎年10月31日まで

第3条 教職課程科目、博物館学芸員課程科目、社会教育主事課程科目、日本語教員課程科目であって、その修得単位を卒業要件単位に算入することのできない授業科目の受講料は、福岡大学学則又は福岡大学大学院学則の定めるところによりこれを徴収する。

2 科目等履修生及び研究生の受講料等は、福岡大学学則又は福岡大学大学院学則の定めるところによりこれを徴収する。

3 実習又は研修など特別の費用を必要とする授業科目などの実習・研修費等は、別表第1の定めるところによりこれを徴収する。

第4条 学生が退学届を受受理され、又は退学を命じられたときは、その納期分の授業料等納入金について、これを徴収する。

2 停学を命ぜられたときは、停学中の授業料等納入金について、これを徴収する。

第5条 休学する場合は、別表第2に定めるところにより在籍料を徴収する。ただし、学長が特に必要と認めるときは、減額することがある。

2 前項ただし書に規定する在籍料の減額は、別に定めるところにより、所定の手続を経て、学長がこれを決定する。

3 休学する場合の授業料及び教育充実費については、次のとおり取り扱うものとする。

(1) 通年休学の場合は、授業料及び教育充実費の全額を徴収しない。

(2) 前期又は後期のみ休学の場合は、授業料及び教育充実費の年額の2分の1を徴収することとし、過納の場合は、その額を返還する。

(削 除)

第6条 前条に定めるもののほか、休学が学資の負担者の罹患、罹災その他やむを得ない事情による学資の調達困難を理由とするときは、在籍料、授業料及び教育充実費の額を減免することができる。

2 前項の減免を受けようとする者は、必要な証明書等を添えて、所定の減免願を学生課に提出しなければならない。

3 第1項の減免の許否は、学生部委員会の議を経て学長がこれを決定する。

第7条 再入学の場合は、再入学年度の入学金を納入しなければならない。

第8条 除籍を受けた者が再入学を願い出るときは、除籍を受けた納期分の授業料等納入金等で未払いの分はこれを納入しなければならない。

第9条 学生が他の学部への転部、他の学科への転科又は他の研究科への転研究科により異動する場合の授業料等納入金については、次のとおり取り扱うものとする。

(1) 入学金は、入学年度における異動先の学部、学科又は研究科の当該金額から入学時の学部、学科又は研究科の当該金額を減じた額を徴収する。ただし、過納の場合は、これを返還しない。

(2) 授業料及び教育充実費は、入学年度における異動先の学部、学科又は研究科の当該金額を徴収する。

第10条 諸証明書の発行を受ける者は、領収書を各所管課（室）に提出しなければならない。

第11条 諸証明書の発行手数料等は、別表第3の定めるところによりこれを徴収する。

2 追試験、再試験及び補助試験の手数料は、別表第4の定めるところによりこれを徴収する。

第12条 授業料等納入金、受講料、在籍料、手数料等の金額及び納入期日は、経済情勢その他の変動により改めることがある。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

VI. 諸 規 程

別表第1 実習・研修費等（第3条第3項）

種 別	金 額 (単位 円)	納 期
海 外 研 修 費	実 費	指 定 期 間 内
学 外 実 習 費	実 費	
病 院 実 習 費	40,000	
教育実習費・養護実習費	実 費	
博 物 館 実 習 費	6,000	
社 会 教 育 実 習 費	6,000	
介 護 等 体 験 費	10,000	
考 古 学 実 習 費	30,000	
臨 床 心 理 学 実 習 費	30,000	

別表第2 在籍料（第5条第1項）

(単位 円)

学 部		区 分	通年休学	前期又は後期休学
人 文 学 部	法 学 部		240,000	120,000
経 済 学 部	商 学 部			
商 学 部 第 二 部		60,000		
理 学 部	工 学 部		360,000	180,000
医 学 部	医 学 科		1,200,000	600,000
	看 護 学 科		360,000	180,000
薬 学 部			480,000	240,000
ス ポ ー ツ 科 学 部			300,000	150,000



## 令和6年度 学費等納入金表

人文・法・経済・商学部

納入期限	第1期	5月27日
	第2期	10月27日

(注) 1. 金融機関が休業日の場合は、翌営業日となります。  
 2. 新入生の第1期分は、入学時に納入していただきます。  
 (単位 円)

# 学費等納入金一覧表

区分	合計	学生納付金			委託徴収金						小計		
		入学金	授業料	教充費	育費	小計	父後援会費	有信会費	学友会入会金	学友会費		学生健康保険 互助組合入会金	学生健康保険 互助組合費
6年度 入学 (1年)	1,126,710	190,000	730,000	180,000	1,100,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
	671,710	190,000	365,000	90,000	645,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
5年度 入学 (2年)	935,610		730,000	180,000	910,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	480,610		365,000	90,000	455,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
4年度 入学 (3年)	935,610		730,000	180,000	910,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	480,610		365,000	90,000	455,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
3年度 入学 (4年)	936,110		730,000	180,000	910,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
	481,110		365,000	90,000	455,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
6年度 編・転 学士入学 (3年)	1,135,210	190,000	730,000	180,000	1,100,000	8,500	15,000	1,000	5,610	100	3,000	2,000	35,210
	680,210	190,000	365,000	90,000	645,000	8,500	15,000	1,000	5,610	100	3,000	2,000	35,210
5年度 編・転 学士入学 (4年)	944,610		730,000	180,000	910,000	8,500	15,000		5,610		3,000	2,500	34,610
	489,610		365,000	90,000	455,000	8,500	15,000		5,610		3,000	2,500	34,610

1. 学友会費には、学生手帳代210円が含まれています。  
 2. 5年次生以上の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口にて照会して下さい。  
 3. 転部および学士入学（本学卒）の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口にて照会して下さい。

# 令和6年度 学費等納入金表

納入	第1期	5月27日
期限	第2期	10月27日

- (注) 1. 金融機関が休業日の場合は、翌営業日となります。  
 2. 新入生の第1期分は、入学時に納入していただきます。  
 (単位 円)

## 商学部第二部

区分	合計	学生納付金			委託徴収金						小計		
		入学金	授業料	教充費	育費	小計	父後援会費	有信会費	学友会入会金	学友会費		学生健康保険 互助組合入会金	学生健康保険 互助組合費
6年度 入学 (1年)	472,370	60,000	310,000	80,000	450,000	7,500	7,500	300	2,970	100	3,000	1,000	22,370
	277,370	60,000	155,000	40,000	255,000	7,500	7,500	300	2,970	100	3,000	1,000	22,370
5年度 入学 (2年)	411,970		310,000	80,000	390,000	7,500	7,500		2,970		3,000	1,000	21,970
	216,970		155,000	40,000	195,000	7,500	7,500		2,970		3,000	1,000	21,970
4年度 入学 (3年)	411,970		310,000	80,000	390,000	7,500	7,500		2,970		3,000	1,000	21,970
	216,970		155,000	40,000	195,000	7,500	7,500		2,970		3,000	1,000	21,970
3年度 入学 (4年)	412,470		310,000	80,000	390,000	7,500	7,500		2,970		3,000	1,500	22,470
	217,470		155,000	40,000	195,000	7,500	7,500		2,970		3,000	1,500	22,470
6年度 編・転 学士入学 (3年)	480,870	60,000	310,000	80,000	450,000	7,500	15,000	300	2,970	100	3,000	2,000	30,870
	285,870	60,000	155,000	40,000	255,000	7,500	15,000	300	2,970	100	3,000	2,000	30,870
5年度 編・転 学士入学 (4年)	420,970		310,000	80,000	390,000	7,500	15,000		2,970		3,000	2,500	30,970
	225,970		155,000	40,000	195,000	7,500	15,000		2,970		3,000	2,500	30,970

1. 学友会費には、学生手帳代210円が含まれています。  
 2. 5年次生以上の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口にて照会して下さい。  
 3. 転部および学士入学(本学卒)の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口にて照会して下さい。



# 令和6年度 学費等納入金表

納入	第1期	5月27日
期限	第2期	10月27日

(注) 1. 金融機関が休業日の場合は、翌営業日となります。  
 2. 新入生の第1期分は、入学時に納入していただきます。  
 (単位 円)

## 理・工学部

区分	合計	学生納付金			委託徴収金					小計		
		入学金	授業料	教育充実費	父後援会費	有信会費	学友会入会金	学友会費	学生健康保険互助組合入会金		学生健康保険互助組合費	卒業記念アルバム代
6年度入学(1年)	1,646,710	240,000	1,000,000	380,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
	956,710	240,000	500,000	190,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
5年度入学(2年)	1,405,610		1,000,000	380,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	715,610		500,000	190,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
4年度入学(3年)	1,405,610		1,000,000	380,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	715,610		500,000	190,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
3年度入学(4年)	1,406,110		1,000,000	380,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
	716,110		500,000	190,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
6年度編入・転入学(3年)	1,655,210	240,000	1,000,000	380,000	8,500	15,000	1,000	5,610	100	3,000	2,000	35,210
	965,210	240,000	500,000	190,000	8,500	15,000	1,000	5,610	100	3,000	2,000	35,210
5年度編入・転入学(4年)	1,414,610		1,000,000	380,000	8,500	15,000		5,610		3,000	2,500	34,610
	724,610		500,000	190,000	8,500	15,000		5,610		3,000	2,500	34,610

1. 学友会費には、学生手帳代210円が含まれています。  
 2. 5年次生以上の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口にて照会して下さい。  
 3. 転部および学士入学(本学卒)の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口にて照会して下さい。

# 令和6年度 学費等納入金表

納入	第1期	5月27日
期限	第2期	10月27日

## 医学部医学科

- (注) 1. 金融機関が休業日の場合は、翌営業日となります。  
 2. 新入生の第1期分は、入学時に納入していただきます。  
 (単位 円)

区分	合計	学生納付金				委託徴収金						小計	
		入学金	特別教育 充実費	授業料	教育 充実費	小計	父 後援会費	有 信会費	学 友 会 入 会 金	学 友 会 費	学 生 健 康 保 険 互 助 組 合 入 会 金		学 生 健 康 保 険 互 助 組 合 費
6年度 入学 (1年)	年額	1,000,000	3,000,000	3,912,000	688,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
	第1期	1,000,000	3,000,000	1,956,000	344,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
5年度 入学 (2年)	年額		3,000,000	3,912,000	688,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第1期		3,000,000	1,956,000	344,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
4年度 入学 (3年)	年額		3,000,000	3,912,000	688,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第1期		3,000,000	1,956,000	344,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
3年度 入学 (4年)	年額			3,912,000	688,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
	第1期			1,956,000	344,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
2年度 入学 (5年)	年額			3,912,000	688,000	8,500	7,500		5,610		3,000		17,110
	第1期			1,956,000	344,000	8,500	7,500		5,610		3,000		17,110
元年度 入学 (6年)	年額			3,912,000	688,000	8,500	7,500		5,610		3,000		17,110
	第1期			1,956,000	344,000	8,500	7,500		5,610		3,000		17,110

1. 学友会費には、学生手帳代210円が含まれています。  
 2. 7年次生以上の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口にて照会して下さい。

## 令和6年度 学費等納入金表

納入期限	第1期	5月27日
納入期限	第2期	10月27日

- (注) 1. 金融機関が休業日の場合は、翌営業日となります。  
 2. 新入生の第1期分は、入学時に納入していただきます。  
 (単位 円)

### 医学部看護学科

区分	合計	学生納付金			委託徴収金					小計			
		入学金	授業料	教育充実費	小計	父後援会費	有信会費	学友会入会金	学友会費		学生健康保険互助組合入会金	学生健康保険互助組合費	卒業記念アルバム代
6年度 入学 (1年)	年額	270,000	1,040,000	470,000	1,780,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
	第1期	270,000	520,000	235,000	1,025,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
5年度 入学 (2年)	年額		1,040,000	470,000	1,510,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第1期		520,000	235,000	755,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
4年度 入学 (3年)	年額		1,040,000	470,000	1,510,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第1期		520,000	235,000	755,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
3年度 入学 (4年)	年額		1,040,000	470,000	1,510,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
	第1期		520,000	235,000	755,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110

1. 学友会費には、学生手帳代210円が含まれています。  
 2. 5年次生以上の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口にて照会して下さい。

# 令和6年度 学費等納入金表

納入	第1期	5月27日
期限	第2期	10月27日

- (注) 1. 金融機関が休業日の場合は、翌営業日となります。  
 2. 新入生の第1期分は、入学時に納入していただきます。  
 (単位 円)

## 薬学部

区分	合計	学生納付金			委託徴収金						小計	
		入学金	授業料	教育充実費	父後援会費	有信会費	学友会入会金	学友会費	学生健康保険互助組合入会金	学生健康保険互助組合費		卒業記念アルバム代
6年度 入学 (1年)	年額	400,000	1,350,000	290,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
	第1期	400,000	675,000	145,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
5年度 入学 (2年)	年額		1,350,000	720,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第1期		675,000	360,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
4年度 入学 (3年)	年額		1,350,000	720,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第1期		675,000	360,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
3年度 入学 (4年)	年額		1,350,000	720,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
	第1期		675,000	360,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
2年度 入学 (5年)	年額		1,350,000	720,000	8,500	7,500		5,610		3,000		17,110
	第1期		675,000	360,000	8,500	7,500		5,610		3,000		17,110
元年度 入学 (6年)	年額		1,350,000	720,000	8,500	7,500		5,610		3,000		17,110
	第1期		675,000	360,000	8,500	7,500		5,610		3,000		17,110
	第2期		675,000	360,000	8,500	7,500		5,610		3,000		17,110

1. 学友会費には、学生手帳代210円が含まれています。
2. 7年次以上の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口にて照会して下さい。
3. 転部および学士入学（本学卒）の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口にて照会して下さい。

# 令和6年度 学費等納入金表

納入期限	第1期	5月27日
	第2期	10月27日

(注) 1. 金融機関が休業日の場合は、翌営業日となります。  
 2. 新入生の第1期分は、入学時に納入していただきます。  
 (単位 円)

## スポーツ科学部

区分	合計	学生納付金			委託徴収金						小計	
		入学金	授業料	教育充実費	父後援会費	有信会費	学友会入会金	学友会費	学生健康保険互助組合入会金	学生健康保険互助組合費		卒業記念アルバム代
6年度入学(1年)	1,476,710	300,000	800,000	350,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
	901,710	300,000	400,000	175,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
5年度入学(2年)	1,175,610		800,000	350,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	600,610		400,000	175,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
4年度入学(3年)	1,175,610		800,000	350,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	600,610		400,000	175,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
3年度入学(4年)	1,176,110		800,000	350,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
	601,110		400,000	175,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
6年度編・転学士入学(3年)	1,485,210	300,000	800,000	350,000	8,500	15,000	1,000	5,610	100	3,000	2,000	35,210
	910,210	300,000	400,000	175,000	8,500	15,000	1,000	5,610	100	3,000	2,000	35,210
5年度編・転学士入学(4年)	1,184,610		800,000	350,000	8,500	15,000		5,610		3,000	2,500	34,610
	609,610		400,000	175,000	8,500	15,000		5,610		3,000	2,500	34,610

1. 学友会費には、学生手帳代210円が含まれています。  
 2. 5年次生以上の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口にて照会して下さい。  
 3. 転部および学士入学(本学卒)の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口にて照会して下さい。